

平成 2 1 年度

植物防疫事業年報

平成 2 2 年 3 月

京都府病虫害防除所

京都府亀岡市余部町和久成 9

TEL 0771-23-9512

はじめに

病虫害防除所の事業実施に当たりまして、農家や関係機関の皆様にはご指導、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。このたび、本年度に発表しました病虫害発生予報、注意報、月報や毎月の巡回調査結果等をまとめ、平成21年度病虫害防除所植物防疫年報として発行いたしましたので皆様の業務の資料となれば幸いです。

さて、21年の気象は、概して、気温の変動が大きく、冬が多雨・多照・冬後半の高温傾向、春の少雨そして梅雨明けが8月3日と遅かったため、7月の顕著な日照不足と8月の低温傾向また、9月の少雨・多照と11月の多雨・日照不足、9月下旬の台風第18号による大雨・強風がありました。

一方、病虫害の発生状況ですが、水稻では、斑点米カメムシの発生が7月中旬から認められ、防除ニュースで注意を促したところです。セジロウンカ・トビイロウンカの発生も多く、山城で坪枯れ症状の発生が認められました。また、果樹ではハダニ類の発生が豆類ではサヤムシガの発生が目立ちました。茶の害虫では10月に行った巡回調査でカンザワハダニの発生が多く、防除所ニュースで注意を促したところです。野菜では、ネギアザミウマの発生が多く、11月にはトマト苗にトマト黄化葉巻病の発生が見られ、タバココナジラミの防除を呼びかけました。

京都府では、農産物の安心・安全な農産物の生産と農薬に依存しない環境にやさしい農業の展開を推進しているところであり、病虫害発生予察事業の重要性が更に高くなっております。そのため、引き続き迅速な発生予察情報の提供と精度の向上に努めて参りたいと考えています。今後とも、防除所業務に対してご理解とご支援を関係者の皆様をお願いいたします。

京都府病虫害防除所長

樫本 紀博

目 次

病虫害防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
------------	---

業務の概要

I 農作物病虫害発生予察事業の実施	
(I) 発生予察事業の実施概要	2
1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病虫害の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9
(II) 病虫害の発生予察と発生状況	11
1 発生予察調査の結果	11
1) 巡回調査の結果	11
(1)水稲 (2)麦類 (3)黒大豆 (4)小豆 (5)カンキツ (6)ナシ (7)ブドウ	
(8)カキ (9)茶樹 (10)キュウリ (11)トマト (12)ナス (13)トウガラシ	
(14)キャベツ (15)ダイコン (16)カブ (17)ミズナ・ミブナ	
(18)ホウレンソウ (19)ネギ	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	49
(1)予察灯の調査結果 (2)誘引剤トラップの調査結果 (3)黄色水盤の調査結果	
2 病虫害発生予察情報の内容	66
3 対象病虫害の発生状況	76
II 重要病虫害侵入警戒調査の実施	81
III 調査・試験の結果	82
1 タバココナジラミ類の地理的分布	82
2 丹後地域における茶赤焼病の発生状況と防除対策	84
3 チャにおけるミカントゲコナジラミの分布調査	86
4 ホウレンソウケナガコナダニ被害現地調査(予備調査)	88
5 京都府でのプラタナスグンバイによる被害分布	90
6 夏期におけるプラタナスグンバイによる被害と樹皮裏虫数の関係	92
7 プラタナスグンバイに対するチアメトキサム剤の効果試験	94
8 チアメトキサム剤処理後の緑化樹葉中のチアメトキサム、クロチアニジンの 残留調査	96
9 病虫害防除所が発信する情報の活用状況	98
IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施	100
V 情報提供サービスの実施	
(I) 情報提供の概要	100
(II) 情報の内容と利用の状況	101
1 病虫害テレホンサービス	
2 病虫害防除所ホームページ	
VI 病虫害調査協力員の活動状況	104
VII 会議・講演・研修等の実施	105
VIII 普及センター等との連携の推進	107
参考資料	
平成21年の気象の概要及び半旬別気象表・グラフ	108

病虫害防除所の概要

I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）、丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。

II 所管業務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関すること。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関すること。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関すること。
- 4 情報提供サービスの実施に関すること。
- 5 農薬指導・取締に関すること。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関すること。
- 7 病虫害の診断・指導に関すること。

III 体制

(I) 京都府における調査機関等

職名	京都府病虫害防除所				協力機関名
	所長	主査	主任研究員	計	
人数	1人	1人	3人	5人	農林センター、茶業研究所 丹後農業研究所、農業大学校 農産課

(II) 病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同組合	農業共済組合	農業者	その他	計	備考
設置人数	—	23人	—	—	—	23人	

業 務 の 概 要

I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

(I) 発生予察事業の実施概要

1 調査地点及び施設

1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町和久成 (農林センター[亀岡])	防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部 (丹後農業研究所)	防除所
	〃	京田辺市薪	防除所
	麦	亀岡市余部町和久成 (農林センター[亀岡])	防除所
	大 豆	亀岡市余部町和久成 (農林センター[亀岡])	防除所
果 樹 茶 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部 (丹後農業研究所)	防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部 (丹後農業研究所)	防除所
	カ キ	京都市西京区大枝	防除所
	茶 樹	宇治市白川 (茶業研究所)	茶 研
	〃	京丹後市弥栄町黒部 (丹後農業研究所)	防除所
野 菜	キュウリ	京都市伏見区深草	防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	防除所
	ナ ス	京田辺市興戸	防除所
	〃	京都市西京区大原野	防除所
	キャベツ	京都市南区吉祥院	防除所
	ダイコン	木津川市梅谷	防除所
	ホウレンソウ	久御山町坊之池	防除所
	ネ ギ	京都市伏見区淀	防除所

2) 予察灯等の設置

(1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪	乾式日別予察灯 (60W) (BL) フェロモントラップ	別表のとおり ハスモンヨトウ、カメムシ類、 タバコガ、オオタバコガ	防除所 防除所

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当 者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯(60W) (BL) フェロモントラップ 黄色水盤	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 カメムシ類、タバコガ、オオ タバコガ アブラムシ類	防除所 防除所 農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	農 大
京丹後市弥栄町黒 部 (丹後農研)	乾式日別予察灯(60W) (BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 カメムシ類、タバコガ、オオ タバコガ、チャノホソガ、チ ャノコカクモンハマキ	防除所 防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対 象 害 虫 名
60W (白熱灯)	ウンカ・ヨ コバイ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロ ヨコバイ
	カメムシ類	アオクサカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ 、イチモンジカメムシ、イネクロカメムシ、クモヘリカメム シ、シラホシカメムシ、マルカメムシ、アカヒゲホソミドリ カスミカメ、アカスジカスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノメイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラック ライト (蛍光灯)	コガネムシ 類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカビロウド コガネ
	カメムシ類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ
	蛾 類	ナカジロシタバ、ゴマフボクトウ

3) 巡回調査地点

(1) 水稻 (30地区/30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市西京区大原野 京都市伏見区向島 久御山町佐古 八幡市内里 精華町祝園 木津川市加茂町大野	亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町宮田 南丹市美山町島 南丹市八木町氷所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里 京都市右京区京北下弓削町	綾部市石原町 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野 町今西中 福知山市大江町 河守 舞鶴市丸田	宮津市日置 与謝野町加悦 伊根町本庄上 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町芦原

* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

(2) 麦 (5地区/10か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	亀岡市河原林町、亀岡市本梅町平松、綾部市私市、福知山市半田、南丹市美山町	—

(3) 豆類 (大豆：4地区/8か所、小豆：4地区/8か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	京丹波町富田、京丹波町安栖里、福知山市夜久野町大油子	京丹後市久美浜町品田
小豆	—	南丹市園部町若森、綾部市私市、福知山市半田、舞鶴市三日市	—

* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町で、小豆は価格対策加入産地に設置。

(4) 果樹 (10地区/19か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	12	八幡市内里	—	京丹後市網野町俵野、京丹後市久美浜町平田、京丹後市久美浜町大井、京丹後市久美浜町浦明

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	10	京都市山科区勸修寺	福知山市三和町大身	—
カキ	5	京都市西京区大枝	—	—

* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町に設置。

(5) 茶樹 (15地区/30か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、宇治市伊勢田、宇治市五ヶ庄、城陽市上津屋、京田辺市飯岡、宇治田原町湯屋谷、宇治田原町南、木津川市加茂町例幣、木津川市和東町石寺、木津川市和東町湯船、木津川市和東町杣田	綾部市小西町 福知山市土舞鶴市志高	京丹後市久美浜町 永留

(6) 野菜 (34地区/61か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地区
キュウリ	9	[露地] 京都市伏見区深草、宇治田原町禅定寺 [施設] 京都市伏見区向島、久御山町東一口、八幡市内里	—	—
トマト	6	京都市伏見区向島、久御山町東一口、八幡市内里、八幡市岩田	亀岡市篠町	—
ナス	8	京都市西京区大原野、久御山町坊之池、八幡市岩田、八幡市野尻、京田辺市興戸	—	—
トウガラシ	6	精華町祝園	南丹市園部町仁江、京丹波町須知、舞鶴市三日市、舞鶴市地頭	—
キャベツ	6	京都市南区吉祥院、京都市西京区牛ヶ瀬	—	—
ダイコン	3	木津川市梅谷	—	—
カブ	4	—	亀岡市篠町、京都市右京区京北矢代中町	—
ミズナ	3	—	京都市右京区京北下熊田町、京都市右京区京北田貫町、京丹波町安栖里、京丹波町角	—
ミブナ	2	—	南丹市日吉町田原、南丹市日吉町殿田	—

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地区
ホウレンソウ	4	京都市西京区牛ヶ瀬、久御山町坊之池	—	—
ネギ	8	京都市西京区牛ヶ瀬、京都市南区吉祥院、京都市伏見区淀	—	—

* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の市町村で、国及び府の価格対策に加入している産地を主体に、京野菜生産・施設化アップ運動に係る府共販拡大品目の導入産地に設置。

2 調査対象病害虫の種類

作物		指定病害虫	指定外病害虫
普通作物	水稲	いもち病、紋枯病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ	苗立枯病、馬鹿苗病、籾枯細菌病、白葉枯病、縞葉枯病、イネクロカメムシ、フタオビコヤガ、イチモンジセセリ、イネドロオイムシ、スクミリンゴガイ、コバネイナゴ
	麦類	うどんこ病、赤かび病	
	大豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、葉焼病、モザイク病、フタスジヒメハムシ、ハダニ類、サヤムシガ類
	小豆		モザイク病、さび病、炭そ病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、オオタバコガ
果樹等	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類、カメムシ類	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナシ	黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、ハダニ類、カメムシ類	赤星病、うどんこ病、アブラムシ類
	ブドウ	べと病	フタテンヒメヨコバイ、ハダニ類
	カキ	カキノヘタムシガ、カメムシ類	炭そ病、うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ

作物		指定病虫害	指定外病虫害
果樹等	茶樹	炭そ病、カンザワハダニ、ハマキムシ類	もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ、ツماغロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ
野菜	キュウリ	べと病、うどんこ病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	斑点細菌病、炭そ病、褐斑病、モザイク病、アザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ
	トマト	疫病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	葉かび病、うどんこ病、モザイク病、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類
	ナス	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	褐色腐敗病、すすかび病、褐色円星病、アザミウマ類、ハダニ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類
	トウガラシ		うどんこ病、斑点病、モザイク病、アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、タバコガ
	キャベツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	べと病、ヨトウガ、モンシロチョウ、ウワバ類
	ダイコン	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病、ハイマダラノメイガ
	カブ		軟腐病、べと病、黒斑病、白斑病、白さび病、アブラムシ類、コナガ、ハモグリバエ類
	ミズナ ミブナ		コナガ、キスジノミハムシ
	ハウレンソウ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、ヨトウガ、シロオビノメイガ
ネギ	さび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ	

参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物

1 指定有害動物（55種類）

- (1) いちご、きく、キャベツ、きゅうり、さといも、すいか、だいこん、大豆、たまねぎ、トマト、なす、にんじん、ねぎ、はくさい、ピーマン、レタス、ばれいしょ及びほうれんそうのアブラムシ類
- (2) イネミズゾウムシ
- (3) カキノヘタムシガ
- (4) かき、かんきつ、キウイフルーツ、なし、びわ及びもものカメムシ類
- (5) カンシャコバネナガカメムシ
- (6) 大豆の吸実性カメムシ類
- (7) コナガ
- (8) コブノメイガ
- (9) すもも、なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
- (10) セジロウンカ
- (11) ツマグロヨコバイ
- (12) トビイロウンカ
- (13) ニカメイガ
- (14) ハスモンヨトウ
- (15) おうとう、かき、かんきつ、茶、なし、もも及びりんごのハダニ類
- (16) かき、かんきつ、茶、なし、ぶどう、もも及びりんごのハマキムシ類
- (17) 斑点米カメムシ類
- (18) ヒメトビウンカ

2 指定有害植物（30種類）

- (1) いちご、きゅうり、トマト、なす及びレタスのはいいろかび病菌
- (2) いねいもち病菌
- (3) いねもんがれ病菌
- (4) かんきつかいよう病菌
- (5) かんきつこくてん病菌
- (6) かんきつそうか病菌
- (7) きくしろさび病菌
- (8) キャベツ及びレタスのきんかく病菌
- (9) キャベツくろぐされ病菌
- (10) きゅうり、なす及びピーマンのうどんこ病菌
- (11) きゅうりべと病菌
- (12) たまねぎ及びねぎのさび病菌
- (13) 茶たんそ病菌
- (14) トマト及びばれいしょの疫病菌
- (15) なしくろほし病菌
- (16) なしこくはん病菌
- (17) ぶどうべと病菌
- (18) むぎあかかび病菌類
- (19) むぎうどんこ病菌類
- (20) ももせんこうさいきん病菌
- (21) りんごはんでんらくよう病菌

3 発生予察情報等の概要

種 類	発 表 時 期	発 表 内 容	主 な 提 供 方 法 ・ 提 供 先 (提 供 数)
予 報	2月～10月の各月1回	本誌のⅠの(Ⅱ)の2に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信 (約60) 広域振興局・普及センター・研究機関 ・J P P ネット送信 (一) 国・他府県関係 ・電子メール送信 (約60) 市町村・その他 ・F A X 送信 (約80) 市町村・農業協同組合・その他 ・冊子送付 (約100) 国出先機関、報道機関、定点農家 ・ホームページに掲載
警 報	発表なし		
注意報	発表なし		
特殊報	10月5日	第1号 [イチジクヒトリモドキ]	予報と同じ
技 術 情 報 (防除 ニュース)	(1月27日) 7月27日 8月28日 9月10日 10月2日 10月23日 11月17日 11月20日 11月20日	第1号：府内におけるタバココナジラミの発生状況とトマト黄化葉巻病防除対策！ 第2号：斑点米カメムシ類情報 第3号：水稲 トビイロウンカ情報 第4号：ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガについて 第5号：水稲 トビイロウンカ情報 第6号：茶 カンザワハダニ情報 第7号：チャのミカントゲコナジラミ発生調査結果(11月) 第8号：トマト黄化葉巻病の発生を育苗中のトマト苗で確認！ 第9号：府内におけるコナジラミ類の発生状況	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信 (約60) ・電子メール送信 (約60) ・F A X 送信 (約80) ・冊子送付 (約30) ・ホームページに掲載

種 類	発 表 時 期	発 表 内 容	主な提供方法・提供先 (提供数)
月 報	4月～11月 2月～3月 の各月1回	[病虫害発生予察巡回調査結果等に基づ く発生病虫害全般の発生状況]	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信 (約30) 普及センター等 ・一部、ホームページに 掲載
年 報	3月末	防除所の病虫害発生予察事業等のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに掲載

(Ⅱ) 病害虫の発生予察と発生状況

1 発生予察調査の結果

1) 巡回調査の結果

(1) 水稻

生育概要

ア 早植（品種：コシヒカリ 播種期：4月20日 移植期：5月11日）

茎数は平年比82の 532本/m²（7月1日）、幼穂形成期は平年比5日早い7月3日、出穂期は平年比6日早い7月26日、成熟期は平年比5日早い9月1日、有効穂数は平年比89の 371本/m²であった。

イ 普通植（コシヒカリ、日本晴 播種期：5月5日 移植期：5月25日）

コシヒカリ：茎数は平年比95の 533本/m²（7月15日）、幼穂形成期は平年比1日早い7月14日、出穂期は平年比2日早い8月5日、成熟期は平年比2日早い9月10日、有効穂数は平年比94の 372本/m²であった。

日本晴：茎数は平年比98の 586本/m²（7月15日）、幼穂形成期は平年比1日早い7月23日、出穂期は平年比2日早い8月15日、成熟期は平年比3日早い9月26日、有効穂数は平年比88の 341本/m²であった。

（京都府農林水産技術センター農林センター作物部調べ）

病害虫発生状況

ア 苗いもち（指定）

発生を認めなかった。

イ 葉いもち（指定）

6月中旬の調査で、補植用苗での発生を認めた。好適感染条件が6月～7月に散発的に出現したがその頻度は低く、全般的には平年並の発生であった。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（5月第3～4半旬）

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		カ所	苗ブロック	カ所	苗ブロック
21年	山城	0	0	—	—
	南丹	6	50	0.0	0.0
	中丹	5	47	0.0	0.0
	丹後	8	38	0.0	0.0
20年	山城	2	12	0.0	0.0
	南丹	5	21	0.0	0.0
	中丹	5	25	0.0	0.0
	丹後	8	17	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3～4半旬）

年次	地域	調査 カ所数	補植用苗確認数		発病苗確認数		発病確認苗塊率(%)	
			カ所	苗ブロック	カ所	苗ブロック	カ所	苗ブロック
21年	山城	5	5	43	1	1	16.7	2.3
	南丹	9	4	6	0	0	0.0	0.0
	中丹	5	3	7	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	1	5	0	0	0.0	0.0
20年	山城	7	7	47	0	0	0.0	0.0
	南丹	10	2	15	0	0	0.0	0.0
	中丹	7	2	16	0	0	0.0	0.0
	丹後	10	0	0	0	0	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)	
山城	6・3～6・4	21年	6	0.0	0.0	0.0	—	
		20年	7	0.0	0.0	0.0	—	
		平年	—	1.4	0.7	0.2	—	
	7・3～7・4	21年	6	6	33.3	2.7	0.7	—
		20年	7	7	28.6	5.1	1.3	—
		平年	—	—	40.0	14.3	3.6	—
	*8・3～8・4	21年	6	6	33.3	1.3	—	0.01
		20年	7	7	14.3	1.1	—	0.0
		平年	—	—	35.7	7.6	—	0.12
南丹	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	0.0	—	
		20年	10	0.0	0.0	0.0	—	
		平年	—	—	1.7	0.2	0.1	—
	7・3～7・4	21年	9	9	44.4	22.7	6.0	—
		20年	10	10	40.0	12.8	3.2	—
		平年	—	—	54.9	24.1	6.6	—
	*8・3～8・4	21年	9	9	33.3	12.0	—	0.21
		20年	10	10	30.0	4.0	—	0.04
		平年	—	—	33.7	8.6	—	0.29
中丹	6・3～6・4	21年	6	0.0	0.0	0.0	—	
		20年	7	7	14.3	1.7	0.4	—
		平年	—	—	1.4	0.2	0.0	—
	7・3～7・4	21年	6	6	16.7	0.7	0.2	—
		20年	7	7	71.4	13.7	4.4	—
		平年	—	—	37.7	10.2	2.9	—
	*8・3～8・4	21年	6	6	0.0	0.0	—	0.0
		20年	7	7	14.3	4.6	—	0.1
		平年	—	—	18.6	3.4	—	0.1
丹後	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	0.0	—	
		20年	10	0.0	0.0	0.0	—	
		平年	—	—	0.0	0.0	0.0	—
	7・3～7・4	21年	9	9	11.1	0.4	0.2	—
		20年	10	10	10.0	0.4	0.1	—
		平年	—	—	17.8	2.6	0.7	—
	*8・3～8・4	21年	9	9	11.1	0.8	—	0.01
		20年	10	10	0.0	0.0	—	0.0
		平年	—	—	13.0	1.7	—	0.01

* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～7・4	30	0.0	0.0	6.7	20.0	73.3

ウ 穂いもち（指定）

伝染源となる葉いもちの発生量は平年並であった。8月～9月にかけて、気温は平年並、降水量は少なく、日照時間はやや多めに推移し、一部発生の大井地域が認められたが、全般的には平年並の発生であった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～8・4	27	0.0	0.0	0.0	7.4	92.6
9・3～9・4	10	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0

表6 本田における穂いもちの発病状況調査（25株見取り）

地域	調査時期(月・半旬)	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	発病株率(%)	発病穂率(%)
山城	8・3～8・4	21年	3	0.0	0.0	0.00
		20年	5	0.0	0.0	0.0
		平年	—	1.7	1.0	0.11
	9・3～9・4	21年	4	0.0	0.0	0.00
		20年	4	25.0	1.0	0.05
		平年	—	21.3	2.7	0.17
南丹	8・3～8・4	21年	9	22.2	12.0	0.22
		20年	10	20.0	1.6	0.1
		平年	—	10.3	2.9	0.31
	9・3～9・4	21年	3	33.3	2.7	0.33
		20年	3	33.3	1.3	0.05
		平年	—	32.4	10.5	1.94
中丹	8・3～8・4	21年	6	0.0	0.0	0.00
		20年	7	0.0	0.0	0.0
		平年	—	6.5	0.4	0.02
	9・3～9・4	21年	2	0.0	0.0	0.00
		20年	1	0.0	0.0	0.00
		平年	—	35.7	8.3	1.43
丹後	8・3～8・4	21年	9	0.0	0.0	0.00
		20年	10	10.0	0.4	0.02
		平年	—	2.0	0.1	0.01
	9・3～9・4	21年	1	16.7	0.0	0.00
		20年	6	16.7	0.0	0.03
		平年	—	11.9	0.4	0.03

エ 紋枯病（指定）

7月に発生を確認した。全般的には平年比やや少ない発生であった。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	6.7	93.3
8・3～8・4	30	0.0	0.0	0.0	36.7	63.3
9・3～9・4	10	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0

表8 本田における紋枯病の発病状況調査 (25株見取り)

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度 (%)
山城	7・3～7・4	21年	6	0.0	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	0.0
		平年	—	28.5	5.4	1.1
	8・3～8・4	21年	6	66.7	6.7	1.8
		20年	7	28.6	11.4	4.9
		平年	—	67.7	22.0	6.5
	9・3～9・4	21年	4	75.0	16.0	4.0
		20年	4	75.0	29.0	9.5
		平年	—	80.0	26.4	8.3
南丹	7・3～7・4	21年	9	22.2	0.9	0.2
		20年	10	0.0	0.0	0.0
		平年	—	33.6	4.6	1.1
	8・3～8・4	21年	9	44.4	6.7	1.7
		20年	10	40.0	6.4	2.4
		平年	—	68.0	14.9	5.1
	9・3～9・4	21年	3	100.0	26.7	7.7
		20年	3	33.3	12.0	3.3
		平年	—	80.3	23.4	8.4
中丹	7・3～7・4	21年	6	0.0	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	0.0
		平年	—	32.6	4.4	1.1
	8・3～8・4	21年	6	33.3	2.0	0.5
		20年	7	28.6	4.0	2.0
		平年	—	60.4	18.7	7.4
	9・3～9・4	21年	2	0.0	0.0	0.0
		20年	1	0.0	0.0	0.0
		平年	—	42.9	8.1	2.4
丹後	7・3～7・4	21年	9	0.0	0.0	0.0
		20年	10	0.0	0.0	0.0
		平年	—	23.5	2.4	0.5
	8・3～8・4	21年	9	11.1	0.4	0.1
		20年	10	10.0	1.2	0.3
		平年	—	46.2	8.6	3.0
	9・3～9・4	21年	1	0.0	0.0	0.0
		20年	6	16.7	0.7	0.2
		平年	—	39.9	5.5	2.3

オ 苗立枯病

発生を認めなかった。

カ 白葉枯病

発生を認めなかった。

キ 朶枯細菌病

発生を認めなかった。

ク 黄化萎縮病

発生を認めなかった。

ケ 馬鹿苗病

巡回調査では南丹地域で発生を認めた。

コ 縞葉枯病

発生を認めなかった。

サ ヒメトビウンカ（指定）

越冬密度は平年比やや多かったが、全般的には平年並の発生であった。

表9 休耕田におけるヒメトビウンカの生息密度調査（4月第3～4半旬：20回振りすくい取り）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)	成虫比率(%)
山城	21年	4	25.0	0.5	100.0
	20年	5	20.0	0.4	100.0
南丹	21年	4	50.0	1.0	100.0
	20年	5	0.0	0.0	—
中丹	21年	4	50.0	0.5	100.0
	20年	5	0.0	0.0	—
丹後	21年	4	25.0	0.3	100.0
	20年	5	0.0	0.0	—

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期(月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)
山城	6・3～6・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
		平年	—	1.4	0.01	—	0.9	0.01
	7・3～7・4	21年	6	16.7	0.3	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	28.6	0.6
		平年	—	39.9	1.6	—	32.7	2.1
	8・3～8・4	21年	6	50.0	3.0	6	50.0	2.3
		20年	7	28.6	0.6	7	71.4	1.7
		平年	—	33.6	1.0	—	57.9	6.1
南丹	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		20年	10	10.0	0.1	10	0.0	0.0
		平年	—	3.0	0.1	—	2.0	0.02
	7・3～7・4	21年	9	22.2	0.4	9	33.3	0.3
		20年	10	50.0	0.4	10	10.0	0.1
		平年	—	15.7	0.3	—	13.0	0.2
	8・3～8・4	21年	9	11.1	1.0	9	77.8	7.1
		20年	10	0.0	0.0	10	50.0	1.0
		平年	—	15.4	0.5	—	58.0	6.1
中丹	6・3～6・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	14.3	0.1
		平年	—	0.0	0.0	—	6.7	0.1
	7・3～7・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
		平年	—	11.4	0.3	—	8.6	0.2
	8・3～8・4	21年	6	33.3	0.3	6	33.3	1.0
		20年	7	42.9	2.3	7	85.7	3.3
		平年	—	8.6	0.3	—	50.3	4.8
丹後	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		20年	10	20.0	0.2	10	0.0	0.0
		平年	—	2.0	0.02	—	4.0	0.04
	7・3～7・4	21年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		20年	10	30.0	0.6	10	40.0	0.5
		平年	—	13.0	0.3	—	13.7	0.2
	8・3～8・4	21年	9	33.3	1.3	9	77.8	7.2
		20年	10	60.0	1.9	10	70.0	3.6
		平年	—	17.0	0.4	—	50.3	3.4

表11 本田におけるヒメトビウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～6・4	30	0.0	0.0	0.0	3.3	96.7
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7
8・3～8・4	30	0.0	3.3	10.0	50.0	36.7

シ ツマグロヨコバイ（指定）

越冬密度は平年比やや低かったが、全般的には平年並の発生であった。

萎縮病の発生は認めなかった。

表12 休耕田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査（4月第3～4半月：20回振りすくい取り）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)	成虫比率(%)
山城	21年	4	75.0	4.5	94.4
	20年	5	60.0	3.0	100.0
南丹	21年	4	0.0	0.0	—
	20年	6	0.0	0.0	—
中丹	21年	4	25.0	0.3	100.0
	20年	5	0.0	0.0	—
丹後	21年	4	0.0	0.0	—
	20年	5	20.0	0.2	100.0

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期(月・半月)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	1ほ場当たり虫数(頭)
山城	6・3～6・4	21年	6	0.0	0.0	6	16.7	0.2
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
		平年	—	4.7	0.1	—	7.2	0.1
	7・3～7・4	21年	6	33.3	3.5	6	33.3	10.3
		20年	7	14.3	0.4	7	42.9	4.9
		平年	—	56.3	4.8	—	51.2	6.5
	8・3～8・4	21年	6	83.3	25.3	6	100.0	54.3
		20年	7	85.7	10.1	7	85.7	67.6
		平年	—	66.7	14.1	—	88.6	78.2
南丹	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	9	22.2	0.2
		20年	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
		平年	—	5.7	0.4	—	14.0	0.4
	7・3～7・4	21年	9	33.3	0.8	9	55.6	1.4
		20年	10	30.0	0.6	10	10.0	0.2
		平年	—	55.9	7.0	—	43.7	2.3
	8・3～8・4	21年	9	11.1	0.1	9	44.4	11.9
		20年	10	10.0	0.1	10	60.0	17.1
		平年	—	35.6	2.2	—	80.6	100.9
中丹	6・3～6・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
		平年	—	3.9	0.1	—	8.7	0.2
	7・3～7・4	21年	6	50.0	0.8	6	0.0	0.0
		20年	7	42.9	0.7	7	28.6	0.3
		平年	—	28.3	1.7	—	24.9	0.7
	8・3～8・4	21年	6	33.3	0.3	6	33.3	1.7
		20年	7	14.3	0.1	7	0.0	0.0
		平年	—	20.6	1.1	—	52.7	43.4
丹後	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		20年	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
		平年	—	5.5	0.1	—	2.8	0.1
	7・3～7・4	21年	9	88.9	1.9	9	66.7	3.1
		20年	10	80.0	4.6	10	20.0	0.3
		平年	—	36.5	3.1	—	23.3	1.6
	8・3～8・4	21年	9	77.8	1.2	9	100.0	95.1
		20年	10	60.0	2.4	10	70.0	10.4
		平年	—	36.5	3.0	—	77.5	40.7

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半月)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～6・4	30	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	43.3	56.7
8・3～8・4	30	0.0	0.0	26.7	43.3	30.0

ス セジロウカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺で平年比遅く、亀岡で平年並、京丹後で平年比やや遅かった。飛来数は平年比やや多かった。

本田では7月に平年並、8月に平年比やや多い発生となった。

表15 セジロウカの予察灯への初飛来日

年次	京田辺	亀岡	弥栄
	月.日		
21年	7.22	7. 1	7. 1
20年	7.18	9.17	7. 3
平年	7. 7	7. 1	6.27

*平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 り虫数(頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 り虫数(頭)
山城	6・3～6・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
		平年	—	4.3	0.0	—	4.8	0.1
	7・3～7・4	21年	6	33.3	4.0	6	83.3	12.2
		20年	7	42.9	5.3	7	42.9	17.3
		平年	—	74.8	19.0	—	72.5	20.0
	8・3～8・4	21年	6	100.0	25.3	6	100.0	58.0
		20年	7	85.7	13.1	7	100.0	48.0
		平年	—	68.6	12.3	—	96.8	72.4
南丹	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		20年	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
		平年	—	1.7	0.0	—	6.4	0.1
	7・3～7・4	21年	9	44.4	1.6	9	88.9	7.3
		20年	10	40.0	1.2	10	70.0	2.2
		平年	—	62.9	12.3	—	66.4	8.5
	8・3～8・4	21年	9	88.9	3.9	9	88.9	61.7
		20年	10	40.0	0.9	10	90.0	11.7
		平年	—	44.4	8.7	—	88.6	39.0
中丹	6・3～6・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
		平年	—	1.4	0.0	—	0.0	0.0
	7・3～7・4	21年	6	16.7	1.7	6	33.3	0.5
		20年	7	28.6	0.3	7	42.9	1.6
		平年	—	32.2	2.9	—	57.4	3.9
	8・3～8・4	21年	6	66.7	4.3	6	100.0	24.8
		20年	7	42.9	2.1	7	100.0	15.6
		平年	—	39.2	2.7	—	85.6	24.0
丹後	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		20年	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
		平年	—	1.0	0.0	—	4.0	0.1
	7・3～7・4	21年	9	100.0	12.2	9	55.6	4.9
		20年	10	40.0	1.9	10	40.0	1.7
		平年	—	50.2	3.4	—	67.3	13.1
	8・3～8・4	21年	9	66.7	8.1	9	100.0	198.0
		20年	10	100.0	15.0	10	100.0	21.3
		平年	—	38.8	3.1	—	79.8	23.1

表17 本田におけるセジロウカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～6・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
8・3～8・4	30	0.0	6.7	26.7	63.3	3.3

セ トビイロウンカ（指定）

予察灯での誘殺は、8月中旬以降に認められた。巡回調査では発生を認めなかった。
9月下旬以降、ごく一部のほ場で被害を認めた。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	京田辺	亀岡	弥栄
	月.日		
21年	(8.20)	(9.17)	(8.21)
20年	—	(9.30)	(8.23)
平年	7.16	—	7.17

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 り虫数(頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 り虫数(頭)
山城	7・3～7・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
	8・3～8・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
	9・3～9・4	21年	4	0.0	0.0	—	—	—
		20年	4	0.0	0.0	—	—	—
南丹	7・3～7・4	21年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		20年	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
	8・3～8・4	21年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		20年	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
	9・3～9・4	21年	3	0.0	0.0	—	—	—
		20年	3	0.0	0.0	—	—	—
中丹	7・3～7・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
	8・3～8・4	21年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		20年	7	0.0	0.0	7	0.0	0.0
	9・3～9・4	21年	2	0.0	0.0	—	—	—
		20年	1	0.0	0.0	—	—	—
丹後	7・3～7・4	21年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		20年	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
	8・3～8・4	21年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		20年	10	0.0	0.0	10	0.0	0.0
	9・3～9・4	21年	1	0.0	0.0	—	—	—
		20年	6	0.0	0.0	—	—	—

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～8・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～9・4	10	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～8・4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

ソ ニカメイガ（指定）

予察灯での誘殺は認めなかった。本田では平年並の発生であった。

タ コブノメイガ（指定）

8月に平年比少なく、9月に平年比やや多い発生であった。

チ イネミズゾウムシ（指定）

予察灯への初飛来は亀岡で平年比遅く、京丹後で早かった。飛来数は平年比やや多かった。

本田では5月に平年比やや多く、6月に平年並の発生であった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺		亀岡		弥栄	
	初飛来日 (月.日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月.日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月.日)	総誘殺数 (頭)
21年	6.11	120	5.11	88	5.1	60
20年	7.18	120	5.4	88	5.4	60
平年	6.10	73.4	4.30	908.1	5.10	96.3

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査（6月第3～4半旬：25株見取り）

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率(%)	食害株率 (%)	被害度	1ほ場当たり 虫数(頭)
山城	21年	6	66.7	8.0	2.0	0.2
	20年	7	71.4	29.7	7.9	0.4
	平年	—	77.7	34.1	9.8	0.9
南丹	21年	9	88.9	65.8	16.8	1.0
	20年	10	100.0	59.2	15.0	0.7
	平年	—	83.3	51.0	14.3	1.0
中丹	21年	6	83.3	40.0	10.0	0.3
	20年	7	71.4	53.7	13.6	0.3
	平年	—	80.4	33.7	8.8	0.6
丹後	21年	9	88.9	25.8	6.4	0.1
	20年	10	70.0	41.6	10.5	0.5
	平年	—	80.5	29.7	7.5	0.4

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
5・3～5・4	15	0.0	6.7	6.7	46.7	40.0
6・3～6・4	30	0.0	0.0	16.7	66.7	16.7

ツ 斑点米カメムシ類（指定）

畦畔雑草で6～7月に平年比やや多く、8月に平年比やや少ない発生であった。

本田では6月に平年比やや多く、7～8月に平年並の発生であった。

種別では、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、トゲシラホシカメムシの割合が高かった。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～6・4	30	0.0	0.0	0.0	6.7	93.3
7・3～7・4	30	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3
8・3～8・4	30	0.0	0.0	3.3	33.3	63.3

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	31頭≤(%)	11～30頭(%)	4～10頭(%)	1～3頭(%)	0頭(%)
6・3～6・4	30	0.0	0.0	16.7	30.0	53.3
7・3～7・4	30	6.7	3.3	10.0	26.7	53.3
8・3～8・4	30	0.0	0.0	6.7	26.7	66.7

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査（20回振りすくい取り）

地域	調査時期 (月・半月)	年次	本田			畦畔		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 り虫数(頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	1ほ場当 り虫数(頭)
山城	6・3～6・4	21年	6	0.0	0.0	6	33.3	1.7
		20年	7	14.3	0.4	7	57.1	0.9
		平年	—	7.2	0.2	—	44.5	2.7
	7・3～7・4	21年	6	16.7	0.2	6	100.0	14.3
		20年	7	28.6	0.4	7	57.1	13.3
		平年	—	18.1	0.3	—	58.8	9.8
	8・3～8・4	21年	6	0.0	0.0	6	66.7	2.3
		20年	7	28.6	1.6	7	57.1	2.7
		平年	—	20.1	0.7	—	49.8	5.7
南丹	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	9	66.7	1.9
		20年	10	0.0	0.0	10	30.0	1.0
		平年	—	4.1	0.1	—	31.0	0.9
	7・3～7・4	21年	9	11.1	0.3	9	33.3	1.3
		20年	10	20.0	1.0	10	50.0	10.8
		平年	—	18.1	0.4	—	49.6	4.6
	8・3～8・4	21年	9	44.4	0.8	9	11.1	0.1
		20年	10	50.0	0.8	10	60.0	1.5
		平年	—	52.0	1.4	—	45.0	3.5
中丹	6・3～6・4	21年	6	33.3	0.3	6	50.0	0.5
		20年	7	0.0	0.0	7	14.3	1.4
		平年	—	4.3	0.0	—	32.6	1.3
	7・3～7・4	21年	6	16.7	0.2	6	50.0	1.5
		20年	7	28.6	0.3	7	57.1	2.9
		平年	—	27.3	0.5	—	49.3	3.0
	8・3～8・4	21年	6	33.3	0.8	6	33.3	0.5
		20年	7	57.1	1.3	7	71.4	1.3
		平年	—	46.3	0.9	—	40.6	2.1
丹後	6・3～6・4	21年	9	0.0	0.0	9	33.3	0.7
		20年	10	0.0	0.0	10	20.0	1.1
		平年	—	2.0	0.03	—	42.8	2.4
	7・3～7・4	21年	9	22.2	0.3	9	22.2	1.9
		20年	10	10.0	0.1	10	10.0	0.1
		平年	—	10.6	0.2	—	32.7	4.0
	8・3～8・4	21年	9	55.6	0.7	9	33.3	0.7
		20年	10	40.0	0.5	10	0.0	0.0
		平年	—	24.8	0.5	—	19.5	1.4

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成（8月第3～4半月：20回振りすくい取り）

種名 年次	シラホ カメムシ	トゲシラホ カメムシ	ホリハ カメムシ	クモハ カメムシ	コハ ^ニ ホ タカメムシ	アカヒゲ ^ホ ミ ^リ カスミカメ	アカシ ^ホ カスミカメ	その他
21年	4.8	16.7	11.9	7.1	0.0	19.0	38.1	2.4
20年	5.3	26.3	10.5	15.8	0.0	21.1	9.2	11.8
19年	1.1	5.5	1.1	7.7	0.0	3.3	78.0	3.3

テ イネツトムシ（イチモンジセセリ）

6月に平年比やや多く、7月に平年並の発生であった。

ト フタオビコヤガ

広域で、6～8月にかけて発生を認めた。

ナ イネクロカメムシ

発生を認めなかった。

ニ スクミリンゴガイ

山城で発生を認めた。

(2) 麦類

病害虫発生状況

ア 赤かび病

小麦、二条大麦、六条大麦とも発生を認めなかった（平年並）。

イ うどんこ病

小麦、二条大麦、六条大麦発生とも発生を認めなかった（平年並）。

表1 小麦における病害虫の発生状況

調 査 時 期 年 次 月・半旬	小 麦			麦	
	赤かび病			うどんこ病	
	発病穂率 (%)	発病度	発病ほ場率 (%)	発病莖率 (%)	発病ほ場率 (%)
21年	—	—	—	0.0	0.0
4・3～4	—	—	—	0.0	0.0
例 年	—	—	—	0.0	0.0
21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・3～4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
例 年	2.5	0.4	14.3	0.0	0.0

注) 調査場所：(小麦) 綾部市私市、福知山市半田

表2 二条大麦における病害虫の発生状況

調 査 時 期 年 次 月・半旬	二 条 大 麦				
	赤かび病			うどんこ病	
	発病穂率 (%)	発病度	発病ほ場率 (%)	発病莖率 (%)	発病ほ場率 (%)
21年	—	—	—	0.0	0.0
4・3～4	—	—	—	0.0	0.0
例 年	—	—	—	0.0	0.0
21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・3～4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平 年	8.0	1.1	30.0	0.0	0.0

注) 調査場所：(二条) 亀岡市河原林町、平松

表3 六条大麦における病害虫の発生状況

調 査 時 期 年 次 月・半旬	六 条 大 麦				
	赤かび病			うどんこ病	
	発病穂率 (%)	発病度	発病ほ場率 (%)	発病莖率 (%)	発病ほ場率 (%)
21年	—	—	—	0.0	0.0
4・3～4	—	—	—	0.0	0.0
例 年	—	—	—	0.0	0.0
21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・3～4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
例 年	18.2	7.4	35.7	0.0	0.0

注) 調査場所：(六条) 南丹市美山町鶴ヶ岡

(3) 黒大豆

病害虫発生状況

- ア アブラムシ類： 年比やや多い発生であった。
- イ 吸実性カメムシ類： 年比やや少ない発生であった。
- ウ ハスモンヨトウ： 年比並の発生であった。
- エ モザイク病： 年比やや多い発生であった。
- オ ベと病： 年比やや多い発生であった。
- カ 葉焼病： 年比やや多い発生であった。
- キ ハダニ類： 年比やや多い発生であった。
- ク フタスジヒメハムシ： 9月の発生は年比少なかつたが、10月の被害は年比並であった。
- ケ サヤムシガ類： 年比やや多い発生であった。

表1 巡回調査結果（7～9月）

調査時期	病害虫名 調査項目	アブラムシ類			吸実性カメムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生株率 (%)	25小葉当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	寄生株確認ほ率 (%)	白変葉箇所数 /10a
7月 3～4 半旬	H21年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
	H20年	0.5	0.1	12.5	—	—	—	—	—	—	—
	平年値等	1.4	1.3	18.4	—	—	—	—	—	—	—
8月 3～4 半旬	H21年	1.0	0.5	12.5	0.0	0.0	0.0	3.0	0.8	50.0	0.0
	H20年	0.0	0.0	0.0	3.5	0.9	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値等	3.4	2.4	34.9	2.0	0.7	24.2	1.0	1.5	15.5	0.4
9月 3～4 半旬	H21年	39.5	76.6	87.5	0.5	0.4	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	H20年	33.0	60.1	100.0	1.0	0.3	12.5	2.0	1.9	50.0	1.4
	平年値等	27.2	54.4	81.4	1.8	0.7	26.2	8.3	6.1	56.6	5.4

調査時期	病害虫名 調査項目	モザイク病		ベと病			葉焼病		
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	発病度 (指数)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	発病度 (指数)	確認ほ率 (%)
7月 3～4 半旬	H21年	5.8	66.7	—	—	—	—	—	—
	H20年	1.0	25.0	—	—	—	—	—	—
	平年値等	3.2	44.2	—	—	—	—	—	—
8月 3～4 半旬	H21年	—	—	26.0	0.07	50.0	23.8	0.06	87.5
	H20年	—	—	3.0	0.75	12.5	16.0	4.00	62.5
	平年値等	—	—	2.6	0.63	8.8	11.0	2.81	37.1
9月 3～4 半旬	H21年	—	—	31.0	0.08	75.0	76.5	0.20	100.0
	H20年	—	—	48.0	12.25	75.0	54.0	14.50	100.0
	平年値等	—	—	13.9	3.60	32.3	40.9	12.21	81.7

調査時期	病害虫名 調査項目	ハダニ類			フタスジヒメハムシ			サヤムシガ類			
		寄生株率 (%)	25小葉当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	200莢当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)
7月 3～4 半旬	H21年	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	12.5	2.5	0.6	—	87.5
	H20年	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	12.5	2.0	0.5	—	25.0
	平年値等	0.2	0.4	5.6	0.9	0.2	13.1	2.9	0.7	—	55.0
8月 3～4 半旬	H21年	1.5	0.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3	—	100.0
	H20年	0.0	0.0	0.0	4.5	1.4	50.0	0.5	0.1	—	37.5
	平年値等	6.5	25.3	29.4	3.7	1.3	34.5	1.3	0.4	—	65.2
9月 3～4 半旬	H21年	20.5	76.6	87.5	1.0	0.4	25.0	2.0	—	0.6	37.5
	H20年	14.5	80.8	62.5	23.0	13.9	75.0	1.0	—	0.4	25.0
	平年値等	11.3	39.7	59.0	15.2	6.7	68.2	0.7	—	0.4	13.2

注：サヤムシガ類の確認ほ率は、7月中旬、8月中旬は被害確認ほ場、9月中旬は寄生確認ほ場

表2 巡回調査結果（10月）

調査時期	病害虫名 調査項目	フタスジヒメハムシ		鱗翅目害虫	
		食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)	食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)
10月 3～4 半旬	H21年	11.6	100.0	3.2	100.0
	H20年	20.9	87.5	2.6	100.0
	平年値等	13.2	88.7	2.1	74.7

(4) 小豆

病害虫発生状況

- ア モザイク病：平年比少ない発生であった。
- イ さび病：平年比多い発生であった。
- ウ アブラムシ類：8月の発生は平年比少なく、9月は平年並であった。
- エ ハスモンヨトウ：8月の発生は平年比やや少なく、9月は平年並であった。
- オ サヤムシガ類：8月の発生は平年並で、9月は平年比やや多い発生であった。
- カ アズキノメイガ：平年比やや少ない発生であった。
- キ マメノメイガ：平年比やや少ない発生であった。

表1 巡回調査結果（8～9月）

調査時期	病害虫名 調査項目	メイワ病		アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25小葉当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	寄生株確認ほ率 (%)	白変葉箇所数 /10a
8月 3～4 半旬	H21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	H20年	0.2	40.0	0.4	0.1	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値等	5.7	52.0	1.2	2.6	17.9	0.2	0.5	4.4	11.4
9月 3～4 半旬	H21年	—	—	0.5	0.9	12.5	2.5	1.1	37.5	0.0
	H20年	—	—	1.2	0.7	30.0	1.2	0.3	20.0	0.1
	平年値等	—	—	0.8	2.4	17.1	3.5	1.5	35.1	0.8

調査時期	病害虫名 調査項目	うどんこ病		炭そ病		さび病		ハダニ類		
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25小葉当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)
8月 3～4 半旬	H21年	—	—	0.0	0.0	3.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	H20年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値等	—	—	0.0	1.0	0.0	0.0	0.6	0.8	10.0
9月 3～4 半旬	H21年	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0	37.5	1.0	0.6	25.0
	H20年	1.2	20.0	1.2	10.0	18.0	20.0	0.4	10.0	10.0
	平年値等	0.2	3.0	10.7	26.6	7.1	24.6	4.1	9.6	33.0

調査時期	病害虫名 調査項目	サヤムシガ類			アズキノメイガ			マメノメイガ		
		寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	被害株確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当虫数 (頭)	被害株確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	200花・莢当虫数 (頭)	寄生株確認ほ率 (%)
8月 3～4 半旬	H21年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	H20年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年値等	0.5	0.1	15.4	—	—	—	—	—	—
9月 3～4 半旬	H21年	3.0	0.8	50.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.8	50.0
	H20年	0.0	0.0	20.0	2.0	0.5	60.0	3.2	0.8	50.0
	平年値等	1.2	0.4	30.1	3.0	1.0	24.4	16.4	2.0	56.7

表2 巡回調査結果（10月）

調査時期	病害虫名 調査項目	鱗翅目害虫	
		食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)
10月 3～4 半旬	H21年	12.8	100.0
	H20年	22.8	100.0
	平年値等	21.5	98.9

(5) カンキツ

病害虫発生状況

- ア かいよう病
発生を認めなかった。
- イ 黒点病
発生を認めなかった。
- ウ そうか病
発生を認めなかった。
- エ ハダニ類
4～5月の発生は平年比やや多く、6～8月はやや少なかった。
- オ カメムシ類
10月の予察灯への飛来数は、丹波で平年比やや多く、丹後で多かった。
- カ ヤノネカイガラムシ
4～7月の発生は平年比少なく、8～9月は平年並であった。
- キ ミカンハモグリガ
4月と8～9月の被害は平年比やや多かった。

表1 巡回調査結果

(%)

調査時期 (月・半月)	年次	そうか病		ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ	
		寄生果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
4・3～4	21年	—	—	18.3	100.0	0.0	—	0.0	1.3	33.3
	20年	—	—	4.0	100.0	3.0	—	100.0	4.7	100.0
	平年	—	—	9.1	56.3	2.2	—	54.7	1.2	33.3
5・3～4	21年	—	—	55.7	100.0	0.3	—	33.3	0.7	33.3
	20年	—	—	0.7	66.7	3.3	—	66.7	11.7	100.0
	平年	—	—	18.6	72.7	2.6	—	50.0	2.1	38.7
6・3～4	21年	—	—	7.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.3	33.3
	20年	—	—	0.0	0.0	0.7	—	66.7	5.7	66.7
	平年	—	—	26.4	70.0	1.1	0.4	43.4	1.0	20.0
7・3～4	21年	0.0	0.0	5.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.0	0.0	0.3	33.3	1.0	0.0	33.3	1.0	66.7
	平年	0.0	0.0	16.1	72.0	1.3	0.4	38.0	0.7	27.3
8・3～4	21年	0.0	0.0	2.3	33.3	1.0	0.0	66.7	4.0	33.3
	20年	0.0	0.0	20.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	13.1	69.3	1.9	0.8	46.0	1.3	28.7
9・3～4	21年	0.0	0.0	12.3	100.0	1.0	0.3	66.7	5.3	100.0
	20年	0.0	0.0	30.0	100.0	0.0	0.0	0.0	3.7	33.3
	平年	0.0	0.0	23.1	90.0	3.4	1.7	54.7	2.5	33.3

(6) ナシ

病害虫発生状況

- ア 黒斑病
6月以降は平年比少ない発生で推移した。
- イ 黒星病
全般的にやや多い～多い発生で推移した。
- ウ 赤星病
5月に平年比やや多かった以外は、平年並の発生で推移した。
- エ うどんこ病
7月と10月の発生は平年比やや多かった。
- オ シンクイムシ類
目立った発生はなかった。

カ ハダニ類

5～7月の発生は平年比やや多く、8～9月は多かった。

キ カメムシ類

10月の予察灯への飛来数は、丹波で平年比やや多く、丹後で多かった。

表1 巡回調査結果 (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑病		黒星病 (青ナシ)		黒星病 (赤ナシ)	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	21年	2.6	80.0	0.0	0.0	3.0	33.3
	20年	1.5	62.5	0.0	0.0	1.3	25.0
	平年	2.0	53.8	0.0	1.3	0.2	3.1
6・3～4	21年	1.2	66.7	0.0	0.0	4.0	33.3
	20年	10.1	100.0	0.3	12.5	0.0	0.0
	平年	5.6	78.8	0.1	3.8	1.1	22.2
7・3～4	21年	0.4	33.3	0.0	0.0	0.7	33.3
	20年	9.3	87.5	0.4	37.5	0.3	25.0
	平年	7.6	76.9	0.0	3.8	1.1	19.4
8・3～4	21年	5.6	100.0	0.8	60.0	0.0	0.0
	20年	11.3	100.0	0.5	25.0	0.5	25.0
	平年	12.2	92.5	0.1	6.3	0.3	8.3
9・3～4	21年	3.8	100.0	0.0	0.0	1.0	66.7
	20年	4.5	75.0	1.1	50.0	0.3	25.0
	平年	11.8	76.3	0.1	7.5	0.0	2.8
10・3～4	21年	0.8	50.0	0.2	20.0	0.0	0.0
	20年	6.0	87.5	0.6	25.0	0.0	0.0
	平年	16.3	88.8	0.2	8.8	0.3	11.1

調査時期 (月・半旬)	年次	赤星病		うどんこ病		ハダニ類	
		発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	21年	1.3	12.5	—	—	0.6	50.0
	20年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	0.4	10.5	—	—	0.2	3.8
6・3～4	21年	0.6	37.5	—	—	7.1	75.0
	20年	0.2	16.7	—	—	1.9	16.7
	平年	1.5	27.3	—	—	2.8	33.5
7・3～4	21年	0.4	12.5	0.4	12.5	26.0	66.7
	20年	0.0	0.0	3.2	16.7	6.2	75.0
	平年	1.3	29.0	0.4	4.7	15.1	64.6
8・3～4	21年	0.0	0.0	2.0	12.5	13.1	66.7
	20年	0.1	8.3	2.8	41.7	10.3	66.7
	平年	0.7	16.5	2.7	18.5	6.9	44.4
9・3～4	21年	0.4	12.5	5.8	62.5	31.0	100.0
	20年	0.1	8.3	2.9	16.7	11.1	50.0
	平年	0.4	11.7	8.0	34.5	6.7	38.9
10・3～4	21年	0.0	0.0	36.1	100.0	9.1	100.0
	20年	0.0	0.0	25.8	81.8	17.9	90.9
	平年	0.3	8.8	28.2	76.9	7.2	47.8

(7) ブドウ

病害虫発生状況

ア ベと病

8～9月の発生は平年比多かった。

イ 晩腐病

発生を認めなかった。

ウ 黒とう病

発生を認めなかった。

エ 灰色かび病

発生を認めなかった。

オ フタテンヒメヨコバイ

全般的に平年比少ない発生で推移した。

カ ハダニ類

6月と9月の発生は平年比多く、7月は平年比やや多かった。

表1 巡回調査結果 (％)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		フタテンヒメヨコバイ		ハダニ類	
		発病葉率	ほ場率	被害葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.0	0.0	0.4	20.0	0.0	0.0
	平年	0.1	1.8	1.4	19.0	0.0	1.9
6・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	40.0
	20年	0.0	0.0	0.5	10.0	0.0	0.0
	平年	0.6	7.5	1.4	17.0	0.2	9.9
7・3～4	21年	6.6	40.0	0.0	0.0	0.6	20.0
	20年	0.0	0.0	4.0	10.0	0.0	0.0
	平年	4.5	32.2	5.9	21.8	0.2	6.7
8・3～4	21年	23.2	60.0	5.2	40.0	0.0	0.0
	20年	8.0	60.0	5.3	20.0	0.0	0.0
	平年	14.3	53.1	12.8	39.4	2.1	13.5
9・3～4	21年	37.2	80.0	5.8	20.0	2.2	40.0
	20年	31.7	80.0	5.6	10.0	0.0	0.0
	平年	27.0	61.2	14.7	31.7	0.1	5.1

(8) カキ

病害虫発生状況

ア うどんこ病

5月の発生は平年比多く、8月以降は平年比やや多く推移した。

イ 落葉病

10月の発生は平年比少なかった。

ウ 炭そ病

調査では発生を認めなかった。

エ カキノヘタムシガ

調査では発生を認めなかった。

オ カメムシ類

調査では果実への被害を認めなかった。10月の予察灯への飛来数は、丹波で平年比やや多く、丹後で多かった。

カ チャノキイロアザミウマ

10月の被害は平年並であった。

キ カキクダアザミウマ

9月の被害は平年並であった。

ク カイガラムシ類

9～10月の被害は平年並であった。

表1 巡回調査結果

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		落葉病		炭そ病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率
5・3～4	21年	1.0	33.3	—	—	—	—
	20年	0.6	40.0	—	—	—	—
	平年	0.4	23.7	—	—	—	—
6・3～4	21年	10.3	100.0	—	—	0.0	0.0
	20年	4.6	100.0	—	—	0.0	0.0
	平年	14.0	93.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	21年	30.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	15.6	100.0	1.2	40.0	0.0	0.0
	平年	26.7	98.3	0.3	8.0	0.0	1.7
8・3～4	21年	39.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	23.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	32.5	100.0	0.3	9.0	0.0	0.0
9・3～4	21年	62.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	19.4	100.0	10.4	40.0	0.0	0.0
	平年	35.7	96.0	5.3	43.0	0.1	5.7
10・3～4	21年	77.0	100.0	3.7	100.0	0.0	0.0
	20年	42.6	100.0	20.8	80.0	5.0	50.0
	平年	59.9	96.3	31.9	88.3	0.8	8.3

調査時期 (月・半旬)	年次	カキノヘタムシガ		カメムシ		チャキイロザミウマ	
		被害果率	ほ場率	被害果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率
7・3～4	21年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.1	3.7	0.8	12.7
8・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.3	9.3	0.4	5.7
9・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.7	1.3	19.8	1.0	17.3
10・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3
	20年	0.0	0.0	2.0	50.0	0.0	0.0
	平年	0.4	7.0	2.0	28.3	1.8	17.0

調査時期 (月・半旬)	年次	カキクダアザミウマ				カイガラムシ類			
		被害葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	21年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—
	20年	1.2	40.0	—	—	0.0	0.0	—	—
	平年	1.7	42.0	—	—	0.4	5.3	—	—
6・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	20年	0.4	20.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	1.3	34.0	0.7	9.3	—	—	0.2	2.0
7・3～4	21年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	20年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	—	—	1.1	18.7	—	—	1.0	17.7
8・3～4	21年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	20年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.4	20.0
	平年	—	—	1.3	23.3	—	—	2.9	28.7
9・3～4	21年	—	—	0.7	33.3	—	—	2.0	100.0
	20年	—	—	0.0	0.0	—	—	0.4	20.0
	平年	—	—	1.2	15.7	—	—	3.1	36.2
10・3～4	21年	—	—	0.0	0.0	—	—	5.3	100.0
	20年	—	—	0.0	0.0	—	—	4.0	50.0
	平年	—	—	1.7	13.7	—	—	5.9	44.0

(果樹・その他調査)

プラムポックスウイルス（PPV）発生状況調査

1. 調査の目的

平成21年4月、東京都青梅市のウメに国内で初めてプラムポックスウイルスによる植物の病気の発生が確認され、全国的な発生状況調査が実施された。本府においても、ウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

2. 調査対象植物 ウメ、モモ

3. 調査時期 平成21年5月15日～6月5日

4. 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所

5. 調査地域 城陽市、福知山市、綾部市、舞鶴市、京丹後市

6. 調査方法

①調査園及び周辺園を見取り調査。
②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して低温保管し、検定実施機関に送付。

7. 調査結果 ①発病を認めなかった。

②全て陰性であった。

種類	調査地域数	調査区域数	検定試料数	ELISA 陽性試料数
ウメ	5	13	65	0
モモ	3	17	85	0
合計	8	30	150	0

(9) 茶樹

生育概要

本年は、平均気温が3月第5半旬まで平年より高く経過したことから新芽の始動が早まった。3月第6半旬の急激な気温の低下から新芽の動きは緩慢となったが、平成21年の一番茶萌芽日は、自然仕立て園で平年比4日早い4月2日、弧状仕立て園で平年比1日早い4月7日となった。

萌芽日以降の新芽の生育は、4月中旬以降気温が高めに推移したことから平年より早い生育を示した。最終の生育調査日（4月30日）における生育ステージは、自然仕立て園で新芽長が10.0cm、新葉数が3.9枚となり平年よりも生育が早まった。また弧状仕立て園では、新芽長が4.7cmで平年と比べて新芽の伸びが緩慢であったが、新葉数が3.2枚と平年よりも展開が早まった。

(宇治茶部発表の「平成21年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋)

病虫害発生状況

ア 炭そ病（指定）

表1 発生量の平年比較								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	やや少	並	並	やや少	やや多	やや多	やや多	やや多
丹波	並	並	並	やや多	並	並	やや少	
表2 発生状況								
項目	月・半旬	山城			丹波			
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年	
病葉数(枚/m ²)	4. 3~4	0.1	1.6	2.1	0.2	0.0	2.6	
	5. 3~4	0.2	0.0	1.0	0.0	0.0	0.2	
	6. 3~4	1.1	7.6	2.0	1.0	0.3	2.5	
	7. 3~4	0.0	0.1	0.8	2.0	0.6	1.5	
	8. 3~4	0.5	0.2	0.6	0.3	0.0	2.8	
	9. 3~4	1.8	0.2	1.6	3.3	0.3	3.4	
	10. 3~4	3.5	0.0	1.5	0.2	0.0	1.7	
発生ほ場率(%)	4. 3~4	4.5	31.8	27.1	16.7	0.0	20.0	
	5. 3~4	10.5	0.0	17.4	0.0	0.0	6.7	
	6. 3~4	33.3	13.3	24.1	33.3	50.0	49.2	
	7. 3~4	0.0	7.7	12.2	50.0	20.0	26.2	
	8. 3~4	18.2	9.1	11.4	33.3	0.0	38.3	
	9. 3~4	40.9	9.1	11.4	50.0	16.7	40.0	
	10. 3~4	59.1	0.0	12.3	16.7	0.0	33.3	

イ もち病

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	多	やや多	並	並	並	やや多
丹波	並	並	並	並	並	並	並	

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
病葉数(枚/m ²)	4. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0
	5. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6. 3~4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7. 3~4	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.2
	8. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	9. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発生ほ場率(%)	10. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	1.0
	4. 3~4	0.0	0.0	1.8	0.0	16.7	1.7
	5. 3~4	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	1.0
	6. 3~4	4.8	0.0	0.5	0.0	0.0	1.7
	7. 3~4	9.1	0.0	1.8	0.0	0.0	5.0
	8. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
発生ほ場率(%)	9. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10. 3~4	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	13.3

ウ 輪斑病

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	並	並	やや多	やや少	並	並
丹波	並	並	並	並	並	やや少	並	

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
病葉数(枚/m ²)	4. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	7. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3
	8. 3~4	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	4.8
	9. 3~4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	2.6
発生ほ場率(%)	10. 3~4	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0	0.8
	4. 3~4	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0
	5. 3~4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.7
	6. 3~4	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
	7. 3~4	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	6.7
	8. 3~4	9.1	0.0	4.1	0.0	0.0	33.3
発生ほ場率(%)	9. 3~4	0.0	0.0	6.4	0.0	0.0	23.3
	10. 3~4	0.0	0.0	5.9	16.7	0.0	23.3

エ カンザワハダニ(指定)

項目	山城			丹波		
	平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
寄生葉率(%)	0.6	0.6	1.2	0.8	0.0	1.4
赤色化虫率(%)	48.6	0.0	44.0	16.7	-	16.7
産卵葉率(%)	0.1	0.3	0.5	0.2	0.0	0.5
着色卵率(%)	39.7	12.5	54.3	0.0	-	16.3
発生ほ場率(%)	31.8	31.8	33.7	50.0	0.0	27.8

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	やや少	やや多	並	やや少	少	やや多	多	並
丹波	やや少	並	やや少	やや少	少	並	多	

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
寄生葉率 (%)	3. 3~4	2.1	0.8	2.5	1.0	1.3	3.0
	4. 3~4	0.9	1.2	1.7	0.0	1.3	2.6
	5. 3~4	2.2	0.4	2.8	0.3	0.0	4.3
	6. 3~4	11.5	5.8	10.1	1.7	2.0	16.1
	7. 3~4	0.7	2.1	2.9	0.7	1.2	5.8
	8. 3~4	0.2	6.0	4.0	0.0	1.7	3.9
	9. 3~4	9.6	5.8	5.6	1.7	0.0	6.4
成・幼若虫数 (匹/100葉)	10. 3~4	6.6	0.0	1.4	9.0	0.0	1.8
	3. 3~4	3.5	1.1	6.7	1.0	1.7	8.1
	4. 3~4	2.2	4.0	16.4	0.0	1.3	22.4
	5. 3~4	6.0	0.4	9.0	0.3	0.0	13.3
	6. 3~4	29.2	14.1	99.1	4.3	2.3	217.6
	7. 3~4	0.8	3.7	8.4	4.7	2.4	21.8
	8. 3~4	0.2	18.1	15.3	0.0	2.0	20.0
発生ほ場率 (%)	9. 3~4	26.4	9.9	25.1	11.7	0.0	56.3
	10. 3~4	43.4	0.0	3.6	27.3	0.0	8.6
	3. 3~4	54.5	22.7	31.5	33.3	50.0	43.3
	4. 3~4	27.3	27.2	25.6	0.0	33.3	31.7
	5. 3~4	52.6	13.3	23.2	16.7	0.0	23.0
	6. 3~4	61.9	42.3	54.0	50.0	50.0	64.0
	7. 3~4	31.8	38.1	35.8	33.3	20.0	50.3
発生ほ場率 (%)	8. 3~4	9.1	0.0	37.7	0.0	33.3	48.3
	9. 3~4	95.5	54.5	43.6	33.3	0.0	51.7
発生ほ場率 (%)	10. 3~4	72.7	0.0	25.0	83.3	0.0	30.0

オ チャノコカクモンハマキ(指定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	並	やや少	並	やや多	並	並
丹波	並	並	やや多	やや多	やや多	並	並	

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
幼虫・蛹数 (㎡当たり)	4. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	5. 3~4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	6. 3~4	0.0	0.3	0.0	0.7	0.2	0.2
	7. 3~4	0.0	0.0	0.2	2.7	2.8	0.7
	8. 3~4	0.0	0.0	0.5	2.0	0.0	0.8
	9. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1
	10. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2
繖葉数 (㎡当たり)	4. 3~4	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.7
	5. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	6. 3~4	0.2	0.6	0.1	4.8	2.7	3.4
	7. 3~4	0.0	0.1	0.4	4.0	3.4	1.6
	8. 3~4	0.0	0.1	0.9	5.5	0.0	2.0
	9. 3~4	0.8	0.7	1.0	2.7	0.7	2.7
	10. 3~4	0.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.8
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	0.0	0.0	7.5	16.7	0.0	15.0
	5. 3~4	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	6.7
	6. 3~4	4.8	6.6	2.4	16.7	16.7	15.8
	7. 3~4	0.0	8.3	8.1	16.7	100.0	28.3
	8. 3~4	0.0	0.0	4.5	50.0	0.0	21.7
	9. 3~4	18.2	22.7	12.3	16.7	16.7	25.0
	10. 3~4	22.7	0.0	2.3	0.0	0.0	11.7

カ チャノホソガ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	やや多	やや多	やや多	やや多	並	並	やや多
丹波	並	並	並	並	やや多	並	やや多	

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
寄生芽率 (%)	4. 3~4	2.7	1.0	2.3	-	1.3	17.8
	5. 3~4	1.4	1.8	1.3	0.3	0.7	0.6
	6. 3~4	18.5	13.1	13.1	49.0	7.3	36.7
	7. 3~4	22.8	18.3	10.9	2.4	2.0	9.8
	8. 3~4	17.4	3.6	16.9	32.7	2.3	19.0
	9. 3~4	22.6	18.7	31.4	10.3	7.3	13.5
	10. 3~4	8.8	0.0	11.1	91.0	0.0	21.3
三角葉巻数 (㎡当たり)	4. 3~4	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
	5. 3~4	1.7	0.7	0.5	0.0	0.0	2.0
	6. 3~4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	7. 3~4	2.5	0.2	0.3	0.0	1.8	0.9
	8. 3~4	2.1	0.4	3.8	2.0	0.0	1.1
	9. 3~4	10.2	9.3	8.3	2.7	0.0	2.2
	10. 3~4	1.9	0.0	13.3	9.3	0.0	4.7
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	4.5	22.7	15.6	0.0	33.3	14.3
	5. 3~4	31.6	31.2	16.5	16.7	33.3	27.0
	6. 3~4	28.6	33.3	26.8	33.3	16.7	25.8
	7. 3~4	72.7	83.3	46.3	50.0	60.0	61.0
	8. 3~4	86.4	0.0	54.5	50.0	16.7	45.0
	9. 3~4	90.9	68.2	62.7	83.3	50.0	55.0
	10. 3~4	59.1	0.0	53.6	83.3	0.0	46.7

キ チャノキイロアザミウマ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	並	並	やや多	やや少	やや少	並
丹波	並	並	少	並	並	並	やや多	

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
被害芽率 (%)	4. 3~4	9.7	21.9	10.5	-	10.7	11.2
	5. 3~4	4.4	9.5	7.9	2.0	2.3	2.6
	6. 3~4	34.0	11.7	26.1	2.7	46.0	20.3
	7. 3~4	56.1	51.2	43.7	8.0	6.8	22.0
	8. 3~4	32.5	38.2	30.8	16.3	11.0	31.0
	9. 3~4	19.3	34.7	28.4	35.0	13.7	20.9
	10. 3~4	28.9	0.0	37.1	42.0	0.0	9.9
虫数 (100芽当たり)	4. 3~4	5.0	0.2	4.6	-	0.0	0.7
	5. 3~4	1.3	14.6	23.0	0.3	1.7	1.9
	6. 3~4	12.7	2.1	28.3	0.3	11.0	13.8
	7. 3~4	165.3	233.0	158.0	4.8	1.6	33.0
	8. 3~4	54.1	29.0	50.2	29.7	1.7	19.1
	9. 3~4	15.7	7.8	49.3	15.7	1.3	12.4
	10. 3~4	18.0	0.0	157.2	0.0	0.0	4.5
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	66.7	63.6	66.3	-	100.0	100.0
	5. 3~4	57.1	50.0	50.7	33.3	50.0	48.2
	6. 3~4	100.0	64.2	79.8	33.3	100.0	77.1
	7. 3~4	100.0	100.0	93.4	80.0	60.0	80.2
	8. 3~4	100.0	95.5	88.9	50.0	50.0	90.5
	9. 3~4	81.8	95.5	86.7	100.0	66.7	82.0
	10. 3~4	93.3	0.0	83.1	100.0	0.0	74.2

ク チャノミドリヒメヨコバイ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	並	並	並	並	並	並
丹波	-	並	少	並	やや少	並	やや少	

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
被害芽率 (%)	4. 3~4	0.0	2.5	0.5	-	0.7	0.4
	5. 3~4	0.1	0.0	0.3	0.0	0.3	0.5
	6. 3~4	0.0	1.0	0.8	1.0	9.0	11.6
	7. 3~4	0.2	0.0	1.4	8.8	2.8	9.6
	8. 3~4	1.7	1.4	1.8	2.0	0.3	5.9
	9. 3~4	1.1	0.3	2.9	4.0	8.7	5.0
	10. 3~4	1.1	0.0	5.1	0.0	0.0	12.8
虫数 (100芽当たり)	4. 3~4	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
	5. 3~4	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.4
	6. 3~4	0.0	0.0	0.8	1.0	11.0	15.4
	7. 3~4	0.2	0.0	2.1	12.0	3.2	13.3
	8. 3~4	2.4	1.8	2.1	5.0	0.3	5.8
	9. 3~4	2.1	0.3	4.3	4.3	9.7	6.0
	10. 3~4	0.9	0.0	10.4	0.0	0.0	23.9
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	0.0	36.4	9.6	-	33.4	16.7
	5. 3~4	7.1	0.0	7.1	0.0	16.7	18.3
	6. 3~4	0.0	7.1	7.6	16.7	100.0	72.9
	7. 3~4	11.1	0.0	10.3	20.0	60.0	49.3
	8. 3~4	9.1	27.3	18.8	16.7	16.7	60.5
	9. 3~4	27.3	4.5	23.3	33.3	33.3	34.0
	10. 3~4	26.7	0.0	26.4	0.0	0.0	62.3

ケ ツマグロアオカスミカメ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	平成20年	並	やや少	多	やや多	多	やや多	やや多
丹波	平年	並	やや少	並	やや少	やや多	やや多	

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
被害芽率 (%)	4. 3~4	0.0	0.0	0.3	-	0.0	0.0
	5. 3~4	0.0	1.0	1.6	1.3	8.0	4.1
	6. 3~4	0.7	0.4	0.3	0.3	0.0	0.3
	7. 3~4	0.0	0.5	0.2	0.4	14.0	6.7
	8. 3~4	2.5	0.3	0.2	4.3	4.3	2.3
	9. 3~4	0.0	1.6	0.3	0.7	0.0	0.5
被害芽数 (㎡当たり)	4. 3~4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.4
	5. 3~4	0.1	1.1	1.6	1.2	15.7	13.1
	6. 3~4	5.0	0.1	0.4	0.7	1.8	1.1
	7. 3~4	0.7	0.3	0.2	2.3	11.8	10.4
	8. 3~4	0.7	0.1	0.6	9.8	17.0	7.8
	9. 3~4	1.0	0.1	0.4	3.5	0.3	1.0
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	6.7
	5. 3~4	5.3	43.8	25.2	66.7	100.0	81.0
	6. 3~4	28.6	21.4	9.2	33.3	16.7	30.6
	7. 3~4	13.6	8.3	7.8	50.0	100.0	66.8
	8. 3~4	54.5	22.7	13.6	33.3	100.0	58.3
	9. 3~4	18.2	31.8	8.2	66.7	16.7	32.3
10. 3~4	4.5	0.0	4.1	33.3	0.0	26.0	

コ クワシロカイガラムシ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
山城	並	並	多	並	並	やや多	やや多	やや多
丹波	並	並	やや少	やや少	やや少	少	やや多	

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
寄生株率 (%)	4. 3~4	16.4	8.2	15.9	0.8	0.8	7.2
	5. 3~4	9.7	11.1	14.0	2.5	15.0	7.0
	6. 3~4	23.3	19.2	16.4	6.7	21.7	16.0
	7. 3~4	19.5	25.7	18.1	2.5	23.3	14.3
	8. 3~4	15.2	17.0	15.3	6.7	15.0	16.6
	9. 3~4	25.2	24.5	13.6	0.0	0.8	10.0
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	50.0	31.8	52.1	16.7	16.7	33.3
	5. 3~4	52.6	21.1	48.4	33.3	33.3	34.7
	6. 3~4	66.7	72.2	50.3	50.0	33.3	63.0
	7. 3~4	68.2	90.9	66.4	33.3	83.3	55.0
	8. 3~4	68.2	68.2	55.9	66.7	50.0	56.7
	9. 3~4	81.8	86.4	56.2	0.0	16.7	48.3
10. 3~4	77.3	0.0	62.7	66.7	0.0	56.7	

サ ミカントゲコナジラミ (チャ系統)

項目	月・半旬	山城			丹波		
		平成21年	平成20年	平年	平成21年	平成20年	平年
寄生箇所率 (%)	4. 3~4	58.4	70.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	5. 3~4	59.2	77.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	6. 3~4	59.3	50.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	7. 3~4	60.9	53.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	8. 3~4	51.8	68.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	9. 3~4	21.1	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10. 3~4	25.2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発生ほ場率 (%)	4. 3~4	81.8	95.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	5. 3~4	73.7	77.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	6. 3~4	80.0	77.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	7. 3~4	72.7	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	8. 3~4	86.4	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	9. 3~4	90.9	81.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	10. 3~4	68.2	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0

(10) キュウリ

病害虫発生状況

ア ベと病

- ・露地栽培：7～8月の発生は平年比やや多かった。
- ・施設栽培：11月の発生は平年並であった。

イ うどんこ病

- ・露地栽培：6～7月は平年比やや多い発生であった。
- ・施設栽培：9月の発生は平年比少なかったが、10～11月は多かった。

ウ 炭そ病：発生を認めなかった。

エ 褐斑病

- ・露地栽培：8月の発生は平年並であった。
- ・施設栽培：11月の発生は平年並であった。

オ 斑点細菌病：発生を認めなかった。

カ アブラムシ類

- ・露地栽培：7月の発生は平年比やや少なかったが、8月はやや多かった。
- ・施設栽培：発生を認めなかった。

キ ハスモンヨトウ：発生を認めなかった。

ク アザミウマ類

- ・露地栽培：全般的に平年比やや多い発生で推移した。
- ・施設栽培：9月の発生は平年比多かった。

ケ ハダニ類

- ・露地栽培：全般的に平年比やや少ない発生で推移した。
- ・施設栽培：9月の発生は平年比多かった。

コ ハモグリバエ類

- ・露地栽培：全般的に平年並の発生で発生で推移した。
- ・施設栽培：11月の発生は平年比やや多かった。

表1 巡回調査結果（露地栽培）

		(単位 %)														
調査 時期 月・半月	年次	べと病			うどんこ病			炭そ病			斑点細菌病			褐斑病		
		発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率
5・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	平年	0.5	1.1	5.9	0.1	0.3	5.4	—	—	—	0.0	0.1	1.4	—	—	—
6・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	4.5	20.0	75.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	20年	6.8	20.8	100.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	平年	4.8	12.8	38.2	9.5	14.5	46.1	—	—	—	0.0	0.3	1.4	—	—	—
7・3～4	21年	13.3	34.0	100.0	28.3	48.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	20年	11.4	18.9	42.9	0.0	0.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	平年	15.9	24.0	57.0	22.0	29.5	58.4	0.1	0.8	4.1	4.2	9.9	19.1	—	—	—
8・3～4	21年	18.0	54.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	18.0	100.0
	20年	30.7	48.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.3	33.3
	平年	22.4	30.3	65.0	13.2	23.7	62.5	0.3	0.7	9.5	1.9	3.9	12.7	14.0	21.9	38.0

表2 巡回調査結果(露地栽培) (単位 %、頭/葉)

調査 時期 月・半旬	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			ハダニ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	被害 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	被害 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	被害 ほ場率	被害 葉率	被害 株率	被害 ほ場率
5・3～4	21年	0.06	6.0	100.0	0.25	20.5	100.0	0.01	0.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.09	8.0	100.0	0.05	5.0	50.0	0.01	0.5	25.0	0.0	0.5	25.0
	平年	0.08	5.7	53.7	0.18	10.0	47.9	0.08	3.5	24.7	0.1	0.9	12.5
6・3～4	21年	0.02	1.5	75.0	2.32	59.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.00	0.0	0.0	0.13	7.6	60.0	0.00	0.4	20.0	6.0	23.2	100.0
	平年	0.09	1.6	37.3	0.43	14.4	60.4	0.24	3.5	25.5	3.5	13.3	59.9
7・3～4	21年	0.07	0.3	16.7	3.17	37.3	83.3	0.03	1.0	33.3	2.7	30.0	100.0
	20年	0.11	0.6	28.6	0.75	18.6	85.7	0.00	0.3	14.3	23.7	46.3	71.4
	平年	0.19	1.5	31.8	1.47	19.8	72.7	0.93	9.7	40.3	11.1	26.8	70.9
8・3～4	21年	8.12	4.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	17.0	48.0	50.0
	20年	32.85	32.0	66.7	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	17.3	48.0	100.0
	平年	5.18	8.3	52.3	0.02	0.9	15.2	0.66	5.4	33.0	21.2	47.0	82.7

表3 巡回調査結果(施設栽培) (単位 %)

調査 時期 月・半旬	年次	べと病			うどんこ病			斑点細菌病			褐斑病		
		発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率
9・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.7	30.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	1.0	5.0	50.0	20.5	38.0	100.0	0.0	0.0	0.0	7.5	18.8	25.0
	平年	6.2	10.5	22.7	18.8	42.2	70.7	2.2	2.2	8.7	6.9	10.0	24.2
10・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	58.7	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	32.7	33.3	33.3	31.3	65.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.9	7.2	22.5	29.3	47.8	79.2	7.5	16.3	26.7	6.1	10.7	15.0
11・3～4	21年	2.7	5.3	66.7	68.7	90.7	100.0	0.0	0.0	0.0	6.0	8.0	33.3
	20年	1.0	2.0	50.0	33.0	82.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	16.0	24.9	45.0	37.9	56.3	91.7	3.6	6.3	18.3	10.3	13.9	25.0

表4 巡回調査結果(施設栽培) (単位 %、頭/葉)

調査 時期 月・半旬	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ	
		寄生 虫数	寄生 葉率	被害 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	被害 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	被害 ほ場率	被害 葉率	被害 株率	ほ場率	寄生 虫数	被害 ほ場率
9・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	0.0	0.7	33.3	0.0	21.3	66.7	0.00	0.0
	20年	0.1	5.0	25.0	0.0	1.0	50.0	0.0	0.0	0.0	17.5	41.0	75.0	0.00	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	4.0	0.0	0.1	3.3	13.1	32.4	63.3	0.10	6.3
10・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	28.0	66.7	-	-
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.7	40.0	100.0	-	-
	平年	0.0	0.1	2.5	0.1	1.1	8.3	0.0	0.0	0.0	12.2	34.1	63.9	-	-
11・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.7	77.3	100.0	-	-
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	4.0	50.0	-	-
	平年	0.0	0.2	8.3	0.0	0.8	13.3	0.0	0.8	7.5	17.7	32.5	75.0	-	-

(11) トマト

病害虫発生状況

- ア 疫病：発生を認めなかった。
- イ 灰色かび病：発生を認めなかった。
- ウ 葉かび病：6月の発生は平年比やや少なかった。
- エ モザイク病：発生を認めなかった。
- オ うどんこ病：6月の発生は平年並であった。
- カ アブラムシ類：3月の発生は平年比多かった。
- キ アザミウマ類：発生を認めなかった。
- ク コナジラミ類：発生を認めなかった。
- ケ ハモグリバエ類：6月の発生は平年比少なかった。

表1 巡回調査結果 (単位：%)

調査時期 月・半旬	年次	疫病		灰色かび病		葉かび病			モザイク病		うどんこ病	
		発病 株率	発生 ほ場率	発病 果率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率
3・3～4	21年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	20年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	—	—	1.2	5.2	8.9	0.0	0.0	—	—
4・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	14.7	26.0	0.0	0.0	—	—
5・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	20.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	20.7	50.1	0.1	2.9	—	—
6・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.6	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	39.2	60.0
	平年	0.0	0.0	0.3	13.3	26.6	44.1	77.5	0.3	5.6	11.6	33.3

注：施設栽培

表2 巡回調査結果(害虫) (単位：%、頭/葉)

調査時期 月・半旬	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	被害 葉率	被害 株率	発生 ほ場率
3・3～4	21年	0.03	2.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.00	0.1	3.3	0.01	0.2	2.0	0.00	0.0	0.0	0.3	2.2	3.7
4・3～4	21年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.02	1.2	14.2	0.00	0.1	4.0	0.00	0.0	1.4	0.1	3.7	13.2
5・3～4	21年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.01	1.2	40.0	0.02	0.4	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
	平年	0.01	0.6	20.8	0.00	0.2	5.0	0.01	0.3	2.9	1.1	10.1	30.4
6・3～4	21年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.4	4.0	20.0
	20年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.4	20.0	20.8	33.6	40.0
	平年	0.01	0.3	10.0	0.02	0.8	17.5	0.69	2.6	22.9	8.8	35.0	77.1

注：施設栽培

(12) ナス

病害虫発生状況

ア うどんこ病：7月の発生は平年比やや多く、8月は多かった。

イ 灰色かび病：発生を認めなかった。

ウ 褐色円星病：7～8月の発生は平年比やや多かった。

エ アブラムシ類：8月の発生は平年比やや多かった。

オ アザミウマ類：7月の発生は平年比やや多く、10月は多かった。

カ ハダニ類：10月の発生は平年比やや多かった。

キ ハモグリバエ類：一般的に平年比やや少ない～平年並で推移した。

表1 巡回調査結果

(単位 %)

調査時期 月・半旬	年次	うどんこ病			灰色かび病		褐色円星病		
		発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 果率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率
5・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	20年	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.1	0.6	—	—	0.0	0.0	0.0
6・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	21年	2.3	12.5	25.0	0.0	0.0	0.3	6.3	25.0
	20年	0.8	10.0	37.5	0.0	0.0	0.0	1.3	12.5
	平年	1.2	4.6	15.2	0.0	0.0	0.5	3.6	11.1
8・3～4	21年	16.5	46.3	62.5	0.0	0.0	2.5	23.8	62.5
	20年	1.0	5.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	5.5	15.6	32.7	0.0	0.0	1.7	8.9	21.0
9・3～4	21年	14.5	45.0	75.0	0.0	0.0	8.0	57.5	87.5
	20年	17.5	42.5	75.0	0.0	0.0	2.3	13.8	25.0
	平年	14.8	35.3	57.9	0.0	1.2	6.5	19.5	39.1
10・3～4	21年	9.7	37.1	100.0	0.0	0.0	2.0	15.7	42.9
	20年	19.8	28.8	62.5	0.0	0.0	9.3	25.0	75.0
	平年	18.5	43.7	71.3	0.0	0.0	7.3	22.0	47.0

注：灰色かび病は例年値

表2 巡回調査結果

(単位：%、頭/葉)

調査時期 月・半旬	年次	アブラムシ類			アザミウマ類			ハダニ類		
		寄生 虫数	寄生 葉率	発 生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発 生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発 生 ほ場率
5・3～4	21年	0.17	13.1	100.0	0.00	0.0	0.0	0.02	1.4	14.3
	20年	0.23	20.0	100.0	0.01	1.0	50.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.76	25.9	94.4	0.04	2.7	42.9	0.02	0.7	14.0
6・3～4	21年	0.08	6.0	100.0	0.23	13.8	87.5	0.00	0.0	0.0
	20年	0.03	2.3	50.0	0.04	3.3	50.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.13	6.2	66.0	0.19	9.7	66.9	0.07	1.5	30.3
7・3～4	21年	0.01	0.5	25.0	0.07	3.3	75.0	0.08	2.0	25.0
	20年	0.00	0.0	0.0	0.02	1.8	25.0	0.00	0.3	12.5
	平年	0.12	0.5	22.5	0.07	4.3	41.6	0.21	2.2	16.7
8・3～4	21年	0.17	2.0	12.5	0.02	2.0	37.5	0.00	0.0	0.0
	20年	0.02	1.0	25.0	0.01	1.3	37.5	0.00	0.0	0.0
	平年	0.03	1.6	30.7	0.06	3.3	41.5	2.16	4.8	14.1
9・3～4	21年	0.01	0.5	25.0	0.01	0.5	25.0	0.32	2.3	25.0
	20年	0.01	1.0	12.5	0.00	0.0	0.0	0.59	2.3	12.5
	平年	0.09	1.8	16.9	0.06	2.2	18.8	0.26	2.1	15.4
10・3～4	21年	0.00	0.3	14.3	0.03	1.4	42.9	0.61	3.1	28.6
	20年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.02	1.3	50.0
	平年	0.21	2.2	24.4	0.00	0.3	35.4	0.55	2.5	21.1

表3 巡回調査結果

(単位 %、頭/葉)

調査時期 月・半旬	年次	ハモグリバエ類			コナジラミ類		
		被害 葉率	被害 株率	発 生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発 生 ほ場率
5・3～4	21年	1.7	12.9	57.1	—	—	—
	20年	8.0	12.0	62.5	—	—	—
	平年	10.0	30.1	66.8	—	—	—
6・3～4	21年	1.3	11.3	62.5	—	—	—
	20年	2.3	21.3	50.0	—	—	—
	平年	4.4	21.2	62.9	—	—	—
7・3～4	21年	3.3	27.5	87.5	0.03	1.0	12.5
	20年	3.8	23.8	87.5	0.39	8.5	12.5
	平年	9.1	24.8	77.6	0.15	4.3	22.7
8・3～4	21年	10.5	51.3	87.5	0.01	0.8	12.5
	20年	15.5	62.5	100.0	0.35	9.0	50.0
	平年	15.5	56.2	86.7	0.31	8.5	59.7
9・3～4	21年	39.3	73.8	87.5	0.02	1.8	37.5
	20年	46.3	92.5	100.0	0.12	7.0	37.5
	平年	34.8	81.5	95.9	1.91	21.3	64.4
10・3～4	21年	38.9	82.9	100.0	0.03	2.0	57.1
	20年	57.0	100.0	100.0	0.24	8.3	25.0
	平年	51.1	96.3	100.0	0.58	8.0	35.3

注：コナジラミ類は例年値。

(13) トウガラシ

病害虫発生状況

- ア うどんこ病：全般的に平年並の発生で推移した。
- イ 斑点病：発生を認めなかった。
- ウ モザイク病：発生を認めなかった。
- エ アブラムシ類：6月と8月の発生は平年比やや多く、7月は多かった。
- オ アザミウマ類：6月の発生は平年比多く、7月はやや多かった。
- カ ハダニ類：9月の発生は平年比やや多かった。
- キ コナジラミ類：発生を認めなかった。
- ク タバコガ：発生を認めなかった。

表1 巡回調査結果 (単位：%、頭/葉)

調査 時期 月・半月	年次	うどんこ病			斑点病			モザイク病		アブラムシ類		
		発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 葉率	発病 株率	発生 ほ場率	発病 株率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率
5・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	20年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	2.9	6.7	12.0	—	—	—	11.3	18.5	0.03	0.5	20.0
6・3～4	21年	0.7	1.7	16.7	—	—	—	0.0	0.0	0.06	3.3	33.3
	20年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.03	0.7	33.3
	平年	6.0	11.1	18.5	—	—	—	0.6	1.9	0.06	2.2	22.2
7・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.96	6.3	50.0
	20年	0.4	4.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	6.8	15.6	35.9	0.6	3.9	8.4	3.3	8.9	0.03	0.8	15.2
8・3～4	21年	9.5	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.16	2.0	75.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.20	30.0	50.0
	平年	16.5	29.6	52.8	3.3	17.7	22.9	1.9	1.9	0.19	3.2	10.2
9・3～4	21年	42.0	90.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.01	1.0	50.0
	20年	5.0	20.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.02	1.0	50.0
	平年	55.0	71.1	90.7	12.5	22.2	22.2	1.1	5.6	0.04	1.2	31.5

表2 巡回調査結果 (単位：%、頭/葉)

調査 時期 月・半月	年次	アザミウマ類			ハダニ類			コナジラミ類			タバコガ	
		寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	寄生 虫数	寄生 葉率	発生 ほ場率	被害 果率	発生 ほ場率
5・3～4	21年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	20年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.00	0.1	3.7	0.18	5.1	28.2	0.1	2.4	8.4	—	—
6・3～4	21年	0.03	2.3	33.3	0.03	3.3	33.3	0.0	0.0	0.0	—	—
	20年	0.00	0.3	16.7	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.01	0.8	22.6	0.28	3.9	39.6	0.0	0.5	16.7	—	—
7・3～4	21年	0.04	3.0	66.7	0.01	0.3	16.7	—	—	—	0.0	0.0
	20年	0.02	1.2	20.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	平年	0.02	1.5	20.4	0.38	8.4	35.9	—	—	—	0.1	4.2
8・3～4	21年	0.00	0.0	0.0	0.02	1.0	25.0	—	—	—	0.0	0.0
	20年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	平年	0.01	0.6	20.4	0.02	1.0	16.7	—	—	—	0.0	0.0
9・3～4	21年	0.00	0.0	0.0	0.01	1.0	50.0	—	—	—	—	—
	20年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	—	—	—	—	—
	平年	0.00	0.0	0.0	0.01	0.5	19.4	—	—	—	—	—

(14) キャベツ

病害虫発生状況

- ア 菌核病：3月の発生は平年比やや多く、4月は多かった。
- イ 黒腐病：9～10月の発生は平年比やや多かった。
- ウ ベと病：3月の発生は平年比多かった。
- エ アブラムシ類：4月の発生は平年比やや多かった。
- オ コナガ：11月の発生は平年比やや多かった。
- カ ハスモンヨトウ：10月の発生は平年並であった。
- キ モンシロチョウ：4月と11月の発生は平年比やや多かった。
- ク ヨトウガ：9月の発生は平年比やや多かった。
- ケ ウワバ類：一般的に平年比やや多い発生で推移した。

表1 巡回調査結果(春キャベツ)

(25株調査(%)、害虫個体数は10株当たり)

調査時期 (月・半旬)	年次	菌核病		黒腐病		べと病		アブラムシ類		
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率
3・3～4	21年	0.7	16.7	0.0	0.0	0.7	16.7	0.3	2.7	50.0
	20年	7.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	1.1	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	3.8	34.0
4・3～4	21年	2.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	16.7	100.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	50.0	2.7	14.7	100.0
	例年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	5.0	2.8	7.8	52.0
5・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	23.3	100.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6	28.0	100.0
	例年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1	24.6	70.7

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			モンシロチョウ			ウワバ類		
		幼虫・蛹数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率
3・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	平年	0.1	1.0	8.7	0.0	0.0	0.0	—	—	—
4・3～4	21年	0.3	1.3	33.3	0.2	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	2.3	24.8	0.1	1.1	13.3	0.0	0.2	5.8
5・3～4	21年	1.0	8.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	16.7
	20年	1.8	12.0	100.0	0.1	0.7	16.7	0.1	1.3	33.3
	平年	3.2	20.6	82.0	0.4	3.3	28.3	0.1	0.6	12.0

表2 巡回調査結果(夏秋、冬キャベツ)

(25株調査(%)、害虫個体数は10株当たり)

調査時期 (月・半旬)	年次	菌核病		黒腐病		べと病		アブラムシ類		
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	21年	0.0	0.0	1.3	16.7	0.0	0.0	2.0	14.0	66.7
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	4.0	80.0
	平年	0.0	0.0	1.4	7.5	0.0	0.0	1.0	4.8	54.0
10・3～4	21年	0.0	0.0	0.7	16.7	0.0	0.0	0.4	3.3	33.3
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	33.3
	平年	0.0	0.0	0.6	5.0	0.0	0.0	1.1	3.5	32.3
11・3～4	21年	0.0	0.0	8.7	50.0	0.0	0.0	2.1	4.7	66.7
	20年	3.3	33.3	5.3	33.3	18.0	33.3	0.1	0.7	16.7
	平年	0.9	12.0	8.3	23.7	5.3	10.0	5.9	5.7	50.3

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ				モンシロチョウ		
		幼虫・蛹数	寄生株率	発生ほ場率	卵塊数	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	21年	0.1	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.0	50.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0
	平年	0.7	5.2	38.2	0.1	0.6	1.3	24.0	0.8	6.3	34.3
10・3～4	21年	0.3	2.7	33.3	0.1	0.0	0.7	16.7	1.1	6.0	16.7
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	16.7	1.6	11.3	33.3
	平年	0.4	2.6	21.0	0.1	0.3	1.6	25.0	0.7	5.7	35.8
11・3～4	21年	2.4	12.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	10.7	50.0
	20年	0.1	1.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	16.7
	平年	0.6	5.5	37.5	0.0	0.2	1.5	6.7	0.9	5.4	40.7

調査時期 (月・半旬)	年次	ヨトウガ				ウワバ類		
		卵塊数	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	21年	0.1	0.0	0.7	16.7	0.7	4.7	33.3
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0
	平年	0.0	0.0	0.3	7.5	0.4	2.6	21.3
10・3～4	21年	0.0	0.6	1.3	33.3	0.6	4.7	33.3
	20年	0.0	1.5	1.3	33.3	1.1	7.3	50.0
	平年	0.1	0.5	2.7	34.2	0.2	1.7	22.0
11・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	4.7	66.7
	20年	0.0	0.2	2.4	40.0	0.3	3.2	60.0
	平年	0.0	0.0	0.2	4.0	0.6	3.6	27.7

(15) ダイコン

病害虫発生状況

- ア 黒斑細菌病：11月の発生は平年比多かった。
- イ 白さび病：11月の発生は平年並であった。
- ウ モザイク病：発生を認めなかった。
- エ アブラムシ類：9月の発生は平年比多かった。
- オ コナガ：9月の発生は平年比やや多かった。
- カ ハスモンヨトウ：9月の発生は例年比やや多く、11月は多かった。
- キ ハイマダラノメイガ：10月の発生は平年並であった。

表1 巡回調査結果 (25株調査(%))、害虫個体数は10株当たり

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	1.2	10.7	100.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.3	1.3	33.3
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.2	1.3	23.3
10・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.7	3.3	0.1	4.2	2.3	1.8	26.7
11・3～4	21年	28.0	100.0	30.7	100.0	—	—	9.6	9.3	100.0
	20年	0.0	0.0	20.0	100.0	—	—	2.9	6.7	100.0
	平年	3.2	3.3	34.7	86.7	—	—	5.8	12.4	66.0

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ				ハイマダラノメイガ		
		幼虫・蛹数	寄生株率	発生ほ場率	卵塊数	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫数	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	21年	0.1	1.3	33.3	0.0	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	5.3	66.7
	平年	0.0	0.5	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.8	38.9
10・3～4	21年	0.1	1.3	33.3	0.1	0.1	2.7	66.7	0.1	1.3	33.3
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	6.7	66.7	0.3	2.7	33.3
	平年	3.3	10.3	35.0	0.0	0.7	6.2	33.3	1.9	9.3	31.5
11・3～4	21年	1.3	10.7	66.7	0.0	0.4	4.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	20年	1.2	12.0	100.0	0.1	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	2.9	16.5	61.3	0.0	0.1	1.6	33.3	0.7	3.5	26.7

(16) カブ

病害虫発生状況

- ア ベと病：9月の発生は平年比やや多かった。
- イ 白さび病：発生を認めなかった。
- ウ 白斑病：9～10月の発生は平年比やや多く、11月は多かった。
- エ 黒斑病：発生を認めなかった。
- オ 軟腐病：11月の発生は平年比多かった。
- カ アブラムシ類：発生を認めなかった。
- キ コナガ：10月の発生は平年比やや多く、11月はやや少なかった。
- ク ハモグリバエ類：9～10月の発生は平年並であった。

表1 巡回調査結果

(25株調査(%)、害虫個体数は10株当たり)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		白さび病		白斑病		黒斑病		軟腐病	
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率
9・3～4	21年	32.0	50.0	0.0	0.0	6.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	例年	15.8	25.0	0.0	0.0	10.9	28.1	0.3	6.3	0.0	0.0
10・3～4	21年	40.0	50.0	0.0	0.0	4.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年	42.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	62.7	77.5	2.9	8.6	5.7	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
11・3～4	21年	26.0	100.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	20年	38.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0
	平年	50.9	77.0	7.4	22.8	3.4	14.2	1.1	10.0	0.1	2.5

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生虫数	寄生株率	発生ほ場率	幼虫・蛹数	寄生株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率
9・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	50.0
	20年	—	—	—	—	—	—	—	—
	例年	0.9	3.9	56.3	0.4	3.6	28.1	5.5	56.3
10・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0	4.0	25.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.9	4.0	43.3	0.2	1.4	8.3	7.8	33.8
11・3～4	21年	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0	7.0	50.0
	20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0	50.0
	平年	5.9	6.3	51.1	0.9	5.3	32.5	25.8	50.5

(17) ミズナ・ミブナ

病害虫発生状況

- ア キスジノミハムシ
 - ミズナでの被害は、全般的に平年比やや少ない～平年並であった。
 - ミブナでの被害は、5月と9月に平年比多く、11月にやや多い発生を認めた。
- イ コナガ
 - 発生を認めなかった。

表1 ミズナ巡回調査結果 (キスジノミハムシ)

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	項目	21年	20年	平年
3・3～4	被害株率(%)	5.3	14.7	17.0
	被害葉率(%)	1.8	9.2	5.7
	平均食痕数(個/葉)	0.03	0.27	0.16
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.2
	平均葉数(1株当たり)	4.6	5.2	5.5
	被害ほ率(%)	33.3	66.7	71.7
4・3～4	被害株率(%)	14.7	29.3	34.0
	被害葉率(%)	3.6	11.1	13.0
	平均食痕数(個/葉)	0.07	0.20	0.26
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.1
	平均葉数(1株当たり)	5.3	5.1	5.0
	被害ほ率(%)	33.3	33.3	79.6
5・3～4	被害株率(%)	20.0	4.0	19.1
	被害葉率(%)	3.9	1.6	6.3
	平均食痕数(個/葉)	0.04	0.03	0.17
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.1
	平均葉数(1株当たり)	5.1	4.0	4.8
	被害ほ率(%)	50.0	66.7	72.2
6・3～4	被害株率(%)	24.0	9.3	36.9
	被害葉率(%)	3.8	4.8	18.4
	平均食痕数(個/葉)	0.28	0.08	0.50
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.9
	平均葉数(1株当たり)	4.1	3.4	4.2
	被害ほ率(%)	100.0	66.7	88.9
7・3～4	被害株率(%)	22.7	9.3	49.3
	被害葉率(%)	6.5	2.4	25.0
	平均食痕数(個/葉)	0.14	0.06	1.00
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.8
	平均葉数(1株当たり)	5.1	5.0	4.7
	被害ほ率(%)	100.0	100.0	100.0
8・3～4	被害株率(%)	12.0	26.7	54.6
	被害葉率(%)	3.5	8.8	22.0
	平均食痕数(個/葉)	0.09	0.26	0.76
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.3
	平均葉数(1株当たり)	4.9	5.6	5.2
	被害ほ率(%)	66.7	66.7	91.7
9・3～4	被害株率(%)	8.0	2.0	33.8
	被害葉率(%)	1.5	0.6	15.5
	平均食痕数(個/葉)	0.04	0.03	0.59
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.5
	平均葉数(1株当たり)	4.3	4.8	4.6
	被害ほ率(%)	50.0	50.0	94.4
10・3～4	被害株率(%)	12.0	1.3	21.5
	被害葉率(%)	3.2	0.1	6.4
	平均食痕数(個/葉)	0.07	0.01	0.19
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.5
	平均葉数(1株当たり)	4.3	2.8	4.7
	被害ほ率(%)	50.0	33.3	57.5
11・3～4	被害株率(%)	0.0	0.0	5.9
	被害葉率(%)	0.0	0.0	2.5
	平均食痕数(個/葉)	0.00	0.00	0.05
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.0
	平均葉数(1株当たり)	4.9	2.5	4.0
	被害ほ率(%)	0.0	0.0	45.8

表2 ミブナ巡回調査結果 (キスジノミハムシ)

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	項目	21年	20年	平年
3・3～4	被害株率(%)	8.0	10.0	5.8
	被害葉率(%)	2.7	6.7	2.1
	平均食痕数(個/葉)	0.05	0.16	0.06
	寄生虫数(25株当たり)	0.5	0.5	0.0
	平均葉数(1株当たり)	3.6	3.6	5.6
	被害ほ率(%)	50.0	100.0	37.5
4・3～4	被害株率(%)	4.0	12.0	13.5
	被害葉率(%)	0.9	2.0	4.4
	平均食痕数(個/葉)	0.01	0.04	0.10
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.5	0.0
	平均葉数(1株当たり)	4.4	7.4	4.7
	被害ほ率(%)	100.0	50.0	71.9
5・3～4	被害株率(%)	40.0	8.0	13.5
	被害葉率(%)	17.2	4.0	6.1
	平均食痕数(個/葉)	0.33	0.05	0.15
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.0
	平均葉数(1株当たり)	3.8	3.3	3.4
	被害ほ率(%)	50.0	50.0	66.7
6・3～4	被害株率(%)	6.0	2.0	20.9
	被害葉率(%)	1.6	1.5	12.5
	平均食痕数(個/葉)	0.03	0.05	0.54
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.6
	平均葉数(1株当たり)	2.9	4.8	3.7
	被害ほ率(%)	50.0	50.0	72.2
7・3～4	被害株率(%)	18.0	52.0	31.3
	被害葉率(%)	7.8	14.6	15.7
	平均食痕数(個/葉)	0.13	0.57	0.89
	寄生虫数(25株当たり)	1.0	1.0	0.5
	平均葉数(1株当たり)	3.6	5.6	4.0
	被害ほ率(%)	100.0	100.0	81.5
8・3～4	被害株率(%)	8.0	8.0	27.3
	被害葉率(%)	4.1	4.1	11.1
	平均食痕数(個/葉)	0.26	0.26	0.40
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.7
	平均葉数(1株当たり)	3.5	3.5	4.3
	被害ほ率(%)	50.0	50.0	77.8
9・3～4	被害株率(%)	60.0	16.0	10.6
	被害葉率(%)	30.4	7.6	4.2
	平均食痕数(個/葉)	1.27	0.25	0.14
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.5	0.1
	平均葉数(1株当たり)	4.3	4.1	4.3
	被害ほ率(%)	100.0	50.0	85.2
10・3～4	被害株率(%)	2.0	0.0	9.3
	被害葉率(%)	0.6	0.0	3.4
	平均食痕数(個/葉)	0.02	0.00	0.07
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.0
	平均葉数(1株当たり)	4.2	3.3	4.1
	被害ほ率(%)	50.0	0.0	56.7
11・3～4	被害株率(%)	12.0	0.0	5.3
	被害葉率(%)	2.4	0.0	1.6
	平均食痕数(個/葉)	0.05	0.00	0.03
	寄生虫数(25株当たり)	0.0	0.0	0.0
	平均葉数(1株当たり)	4.9	4.1	3.9
	被害ほ率(%)	50.0	0.0	38.3

(18) ホウレンソウ

病害虫の発生状況

ア ベと病：発生を認めず平年並であった。

イ アブラムシ類：4月は平年比多く、10月は平年比やや多い発生であった。5月、11月は平年並の発生であった。

ウ ヨトウガ：発生を認めず平年並であった。

エ シロオビノメイガ：10月は平年並、11月は平年比やや多い発生であった。

巡回調査結果		25株調査 (%)							
調査時期	病害虫名 調査項目	べと病		アブラムシ類		ヨトウガ		シロオビノメイガ	
		発病株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率	被害株率	発生ほ場率
4月 3~4半旬	平成21年	0.0	0.0	21.0	75.0	0.0	0.0	-	-
	平成20年	0.0	0.0	11.0	50.0	0.0	0.0	-	-
	平年値等	2.3	5.0	7.0	54.2	0.0	0.0	-	-
5月 3~4半旬	平成21年	0.0	0.0	26.0	50.0	0.0	0.0	-	-
	平成20年	0.0	0.0	58.0	100.0	0.0	0.0	-	-
	平年値等	3.3	6.1	42.8	93.9	0.1	2.0	-	-
10月 3~4半旬	平成21年	0.0	0.0	2.0	25.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	平成20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値等	0.0	0.0	0.7	12.0	0.4	7.5	0.6	14.8
11月 3~4半旬	平成21年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	平成20年	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値等	0.0	0.0	2.2	22.9	0.1	2.5	0.2	5.0

(19) ネギ

病害虫の発生状況

ア さび病：4月、6月の発生は平年比やや多かったが、他の月は発生を認めず平年並であった。

イ 黒腐病：調査期間を通じて発生を認めず平年並であった。

ウ アブラムシ類：6月は平年比やや多い発生であった。4月、5月は発生を認めたが平年並の発生であった。7月以降は発生を認めなかった。

エ シロイチモジヨトウ：調査期間を通じて発生を認めなかった。

オ ネギハモグリバエ：4月、7月は平年比やや多く、10月、11月は平年比やや少ない発生であった。他の月は平年並の発生であった。

カ ネギアザミウマ：4月~6月および10月は平年比多く、7月、11月は平年比やや多い発生であった。8月、9月は平年並の発生であった。

巡回調査結果		25株調査 (%)											
調査時期	病害虫名 調査項目	さび病		黒腐病		アブラムシ類		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		発病株率	発生ほ場率	発病株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率	寄生株率	発生ほ場率	被害株率	発生ほ場率	被害株率	発生ほ場率
4月 3~4半旬	平成21年	1.0	12.5	0.0	0.0	1.0	25.0	0.0	0.0	8.5	75.0	18.0	37.5
	平成20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	25.0	1.5	37.5
	平年値等	0.3	7.3	0.0	0.0	1.2	20.0	0.0	0.0	10.3	33.9	4.8	38.0
5月 3~4半旬	平成21年	0.5	12.5	0.0	0.0	2.0	50.0	0.0	0.0	60.5	100.0	81.5	100.0
	平成20年	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	50.0	0.0	0.0	56.0	100.0	45.5	100.0
	平年値等	1.9	13.2	0.0	0.0	3.5	27.3	0.1	1.3	61.8	97.8	43.1	76.9
6月 3~4半旬	平成21年	10.3	25.0	0.0	0.0	1.1	25.0	0.0	0.0	47.4	75.0	99.4	100.0
	平成20年	12.0	57.1	0.0	0.0	0.6	14.3	0.0	0.0	71.4	100.0	65.7	100.0
	平年値等	4.9	24.2	0.0	0.0	0.4	6.0	0.0	0.0	56.3	87.5	46.0	84.6
7月 3~4半旬	平成21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	14.3	89.1	100.0	32.6	71.4
	平成20年	0.9	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	11.1	69.3	100.0	35.6	77.8
	平年値等	1.6	8.1	0.6	4.7	0.0	0.0	0.1	3.5	74.2	98.8	22.7	59.9
8月 3~4半旬	平成21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.9	100.0	1.1	28.6
	平成20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.3	100.0	2.9	28.6
	平年値等	0.0	0.0	0.2	2.7	0.0	0.0	0.2	3.9	74.0	98.6	6.1	20.8
9月 3~4半旬	平成21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	90.0	100.0	0.0	0.0
	平成20年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	28.6	1.1	28.6	85.1	100.0	9.1	14.3
	平年値等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	5.6	1.1	22.7	80.3	100.0	4.0	14.3
10月 3~4半旬	平成21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0	100.0	22.0	75.0
	平成20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.3	100.0	5.8	22.2
	平年値等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	2.2	2.7	13.9	77.6	98.8	8.1	22.3
11月 3~4半旬	平成21年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.3	85.7	12.6	71.4
	平成20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	12.5	37.5	100.0	2.5	25.0
	平年値等	0.0	0.0	0.1	1.3	0.1	2.0	1.0	13.7	34.7	80.6	8.3	35.8

2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

(1) 予察灯(60W・ブラックライト：BL)の調査結果

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H21 (2009)	平年値等 (参考)	H21 (2009)	平年値等 (参考)	H21 (2009)	平年値等 (参考)
ヒメビウンカ (60W)	1	1.8	1	0.7	1	4.0
セジロウンカ (60W)	22	16.8	47	27.9	273	203.8
トビイロウンカ (60W)	3	2.0	4	4.7	109	22.7
ツマグロヨコバイ (60W)	192	317.4	37	2654.0	48	465.1
イネミズゾウムシ (60W)	67	22.7	254	196.0	211	67.6
アオクサカメムシ (60W)	3	4.1	4	4.3	1	4.3
チャバネアオカメムシ (60W)	2	20.8	2	12.3	11	42.1
チャバネアオカメムシ (BL)	2	121.6	2	37.6	34	270.7
クサキカメムシ (60W)	2	2.4	2	3.8	3	8.4
クサキカメムシ (BL)	11	15.3	1	3.9	20	36.3
イチモンジカメムシ (60W)	2	2.3	4	8.1	5	4.1
イネクロカメムシ (60W)	172	59.5	0	0.0	1	2.1
クモヘリカメムシ (60W)	0	0.1	2	6.5	6	8.2
シラホシカメムシ (60W)	1	1.4	0	1.2	0	1.5
マルカメムシ(60W)	33	60.2	3	1.9	1	2.7
アカヒゲホソミドリカスミカメ (60W)	15	29.6	74	93.0	148	183.4
アカスジカスミカメ (60W)	2	1.6	68	131.8	154	136.8
ツマグロアオカスミカメ (60W)	45	27.2	14	30.4	45	29.0
フタオビコヤガ (60W)	48	17.2	25	66.3	134	99.1
ニカメイガ (60W)	3	0.0	0	0.0	1	0.1
コナガ (60W)	20	18.3	77	105.4	50	31.7
シロオビノメイガ (60W)	4	6.7	9	21.4	21	20.8
ドウガネブイブイ (BL)	245	306.1	52	90.9	588	410.0
クロコガネ (BL)	48	84.9	3	8.3	45	16.1
ヒメコガネ (BL)	3,242	2452.9	14	19.9	1,966	1197.1
アカビロウドコガネ(BL)	83	119.6	6	19.5	35	21.3
ナカジロシタバ(BL)	0	0.3	0	0.0	0	0.4

注：数字は調査期間内(4～10月)の総誘殺数(頭)

：平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ヒメピウカ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.2
5	0	0.2	0	0.0	0	0.3
6	0	0.4	0	0.1	0	0.2
8・1	0	0.1	0	0.1	0	0.6
2	0	0.1	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.5
5	0	0.5	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	1	0.1	0	0.3
9・1	0	0.1	0	0.2	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.1	0	0.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.5
6	1	0.0	0	0.0	1	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
計	1	1.8	1	0.7	1	4.0

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

セジロウカ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.5	0	0.5
6	0	0.2	0	1.0	0	2.5
7・1	0	1.4	1	2.0	1	11.1
2	0	0.3	0	1.8	0	2.6
3	0	0.4	1	0.3	0	8.1
4	0	0.4	2	0.7	7	3.1
5	4	1.4	20	0.4	19	10.4
6	0	1.2	4	0.7	3	1.3
8・1	0	1.6	0	1.4	25	3.9
2	0	0.7	0	0.8	0	5.5
3	1	0.8	1	3.3	0	9.3
4	1	0.4	3	0.9	2	10.7
5	7	1.7	6	7.6	90	16.3
6	8	2.4	2	3.0	92	18.2
9・1	0	1.0	2	0.4	4	5.6
2	0	0.8	1	0.4	1	2.5
3	0	1.4	1	1.0	2	15.1
4	0	0.2	0	0.4	0	52.0
5	1	0.2	2	0.1	1	9.8
6	0	0.0	0	0.2	23	5.8
10・1	0	0.2	0	0.4	3	4.7
2	0	0.0	1	0.0	0	2.7
3	0	0.1	0	0.3	0	1.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.2	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.2
計	22	16.8	47	27.9	273	203.8

トピロウカ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.8
4	0	0.1	0	0.0	0	0.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.4
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	1	0.0	0	0.0	0	0.5
5	0	0.0	0	0.0	2	0.4
6	0	0.1	0	0.2	2	1.1
9・1	0	0.1	0	0.0	0	0.3
2	0	0.0	0	0.0	1	0.2
3	0	0.8	0	0.3	1	1.8
4	0	0.1	1	0.4	0	1.3
5	0	0.3	0	0.7	1	1.2
6	1	0.0	2	0.2	81	0.9
10・1	1	0.0	1	2.0	19	4.3
2	0	0.3	0	0.3	1	4.1
3	0	0.2	0	0.5	0	3.6
4	0	0.0	0	0.1	1	0.6
5	0	0.0	0	0.0	0	0.5
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	3	2.0	4	4.7	109	22.7

ツマグロヨコバイ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.2	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.5	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	3	0.0	0	0.0
2	0	0.0	1	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	1.0	0	0.1
4	0	0.1	0	1.3	0	0.0
5	0	0.2	1	1.0	1	0.9
6	0	0.2	1	5.3	3	6.4
7・1	0	0.0	9	8.7	2	13.1
2	1	0.5	6	8.1	5	17.0
3	4	1.1	3	5.9	4	5.5
4	2	2.4	3	10.9	6	7.0
5	6	4.6	6	26.9	1	5.5
6	9	7.4	0	66.2	9	10.0
8・1	9	5.9	0	58.4	12	78.9
2	0	4.6	1	22.4	2	9.3
3	6	6.9	0	17.8	0	2.5
4	5	4.3	0	7.2	0	0.8
5	3	13.4	0	9.7	0	0.8
6	6	16.3	0	25.8	1	1.1
9・1	25	58.0	1	103.8	1	6.8
2	28	96.9	0	256.3	0	111.9
3	34	58.2	0	1220.6	0	101.8
4	8	28.6	1	756.4	0	76.2
5	43	4.9	1	25.3	1	4.0
6	2	0.7	0	6.1	0	4.8
10・1	1	1.1	0	3.9	0	0.0
2	0	0.3	0	1.8	0	0.4
3	0	0.2	0	0.5	0	0.0
4	0	0.2	0	0.3	0	0.0
5	0	0.1	0	0.5	0	0.1
6	0	0.1	0	0.1	0	0.1
計	192	317.4	37	2654.0	48	465.1

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネミズゾウムシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.9	0	0.0
6	0	0.0	0	1.4	0	0.1
5・1	0	0.0	0	7.2	1	2.4
2	0	0.2	0	18.8	0	3.6
3	0	0.1	10	29.4	0	1.6
4	0	0.7	10	12.4	0	12.2
5	0	0.1	0	14.9	0	0.5
6	0	0.3	6	9.4	0	3.4
6・1	0	0.2	0	4.4	8	1.6
2	0	0.0	0	0.8	0	1.2
3	1	0.1	0	0.6	0	1.0
4	0	0.1	0	0.3	1	0.1
5	0	0.0	0	0.7	5	1.6
6	0	0.1	0	0.5	4	2.9
7・1	0	0.2	0	0.4	0	2.3
2	0	0.1	0	0.9	0	3.9
3	0	0.0	0	6.0	0	5.0
4	6	1.6	17	16.6	26	5.5
5	28	6.6	93	23.4	88	5.2
6	19	4.1	95	19.4	45	4.9
8・1	11	1.2	21	16.8	31	5.0
2	0	2.4	0	5.6	2	1.3
3	1	2.6	0	1.4	0	0.3
4	0	1.2	2	2.1	0	1.1
5	1	0.4	0	0.8	0	0.5
6	0	0.3	0	0.5	0	0.3
9・1	0	0.0	0	0.2	0	0.1
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	67	22.7	254	196.0	211	67.6

アオクサカメムシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.3	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.1	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	1	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.2	0	0.1	0	0.0
2	0	0.3	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.7	0	0.1
4	0	0.2	0	0.2	5	0.0
5	0	0.3	0	0.3	0	0.2
6	0	0.5	2	0.0	0	0.2
8・1	0	0.2	1	0.2	0	0.0
2	0	0.2	0	0.1	0	0.8
3	1	0.5	0	0.4	0	0.3
4	0	0.1	1	0.2	0	0.5
5	0	0.0	0	0.3	1	0.9
6	0	0.0	0	0.1	0	0.2
9・1	0	0.0	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	1	0.2	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.1	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.3	0	0.0
3	0	0.4	0	0.1	0	0.1
4	0	0.2	0	0.1	0	0.1
5	0	0.1	0	0.2	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	3	4.1	4	4.3	1	4.3

チャパネアオカメムシ(予察灯60W・BL)

設置場所 月・半月	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市弥栄町(60W)		京丹後市弥栄町(BL)	
	H21	平年	H21	例年	H21	平年	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.1	0	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.2	0	1.9
2	0	0.3	0	0.9	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	3.4
3	0	0.5	0	0.7	0	1.0	0	0.5	0	0.0	0	1.3
4	1	0.1	0	0.1	0	0.1	0	0.0	0	1.0	0	11.0
5	0	2.6	1	7.0	0	0.4	0	2.0	0	0.3	0	4.4
6	0	1.3	0	4.3	0	0.5	0	0.3	0	0.2	0	4.4
6・1	0	0.3	0	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.2	1	0.8
2	0	0.3	0	2.0	0	0.1	0	0.1	1	0.3	0	1.5
3	0	0.4	0	1.0	0	0.0	0	0.2	0	0.2	0	0.8
4	0	0.7	1	12.4	0	0.2	0	0.0	0	1.0	0	17.1
5	0	1.7	0	10.0	0	0.2	0	0.5	4	1.5	1	4.7
6	0	1.2	0	9.0	0	0.9	0	0.5	1	2.0	0	11.8
7・1	1	0.8	0	7.0	0	0.0	0	1.5	0	4.6	0	12.1
2	0	3.4	0	14.6	0	0.6	0	2.4	0	1.5	0	17.0
3	0	0.8	0	7.0	0	0.8	0	1.1	0	6.5	0	21.3
4	0	1.7	0	6.0	0	0.7	0	2.1	0	3.6	1	12.6
5	0	1.1	0	11.7	0	0.4	0	2.5	0	2.5	0	16.9
6	0	0.3	0	8.0	0	0.7	0	7.2	0	1.8	1	15.9
8・1	0	0.5	0	6.6	0	0.7	0	2.9	0	4.4	0	27.0
2	0	0.7	0	5.0	0	0.9	0	4.5	0	2.3	0	14.8
3	0	0.7	0	1.3	0	0.5	0	3.3	0	1.5	0	9.3
4	0	0.1	0	1.7	0	1.8	0	1.1	0	0.4	0	11.5
5	0	0.3	0	1.0	0	0.0	0	0.8	0	1.0	0	6.7
6	0	0.3	0	0.3	1	0.8	0	1.0	1	2.3	10	14.3
9・1	0	0.2	0	0.3	0	0.3	0	0.4	3	0.5	12	10.8
2	0	0.2	0	0.4	0	0.4	0	1.1	0	0.6	0	5.7
3	0	0.0	0	0.3	0	0.1	0	0.6	0	0.3	1	4.3
4	0	0.2	0	0.3	0	0.1	0	0.4	0	0.6	1	4.4
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1	1	0.1	0	0.3	2	1.3
6	0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0	0	0.3	1	1.2
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.0	1	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2	0	0.0	1	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	1	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	20.8	2	121.6	2	12.3	2	37.6	11	42.1	34	270.7

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クサギカメムシ(予察灯60W・BL)

設置場所 月・半月	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市弥栄町(60W)		京丹後市弥栄町(BL)	
	H21	平年	H21	例年	H21	平年	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.5	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6・1	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.1	0	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	1	0.0	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.2	0	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.9
7・1	0	0.0	1	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.2	0	0.7
2	0	0.0	0	1.1	0	0.3	0	0.0	0	0.1	0	1.3
3	0	0.0	2	0.7	0	0.8	0	0.4	0	0.5	0	3.8
4	1	0.0	0	1.1	2	0.8	0	0.1	0	0.4	0	1.6
5	0	0.1	0	1.6	0	0.1	0	0.3	0	0.4	0	1.8
6	0	0.1	1	1.7	0	0.4	0	0.8	1	0.9	0	3.7
8・1	0	0.5	0	1.4	0	0.1	0	1.0	0	1.2	0	3.3
2	0	0.0	1	1.4	0	0.2	0	0.7	0	1.4	0	2.1
3	0	0.4	0	1.3	0	0.1	0	0.3	0	0.4	0	2.4
4	0	0.1	2	1.1	0	0.4	0	0.1	0	0.4	1	3.0
5	0	0.2	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.5	0	2.6
6	0	0.1	0	0.4	0	0.0	1	0.1	2	0.9	9	3.7
9・1	0	0.2	0	0.6	0	0.1	0	0.0	0	0.2	7	1.2
2	0	0.0	0	0.4	0	0.1	0	0.1	0	0.2	0	0.7
3	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	2.4	11	15.3	2	3.8	1	3.9	3	8.4	20	36.3

イチモンジカメラシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.2	0	0.1	0	0.0
6	1	0.0	1	1.0	0	0.0
7・1	0	0.3	0	0.9	0	0.2
2	0	0.1	2	0.4	0	0.2
3	0	0.0	0	0.3	1	0.3
4	0	0.2	0	0.9	2	0.1
5	0	0.0	0	0.4	1	0.2
6	0	0.2	0	0.4	0	0.3
8・1	0	0.1	0	0.3	0	0.0
2	0	0.1	0	0.2	0	0.3
3	0	0.2	0	0.0	1	0.5
4	0	0.2	0	0.2	0	0.2
5	0	0.1	0	0.3	0	0.7
6	0	0.3	0	0.2	0	0.4
9・1	0	0.0	0	0.4	0	0.1
2	0	0.1	0	0.2	0	0.0
3	0	0.2	0	0.8	0	0.1
4	0	0.0	0	0.3	0	0.3
5	1	0.0	1	0.1	0	0.1
6	0	0.0	0	0.2	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	2.3	4	8.1	5	4.1

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

イネクロカメラシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	1	0.0	0	0.0	0	0.0
5	2	0.2	0	0.0	0	0.0
6	9	1.6	0	0.0	0	0.0
6・1	1	0.9	0	0.0	0	0.0
2	21	5.0	0	0.0	0	0.5
3	10	1.2	0	0.0	0	0.3
4	7	2.1	0	0.0	0	0.0
5	37	1.1	0	0.0	1	0.0
6	10	1.2	0	0.0	0	0.2
7・1	15	0.6	0	0.0	0	0.0
2	8	0.4	0	0.0	0	0.0
3	1	0.6	0	0.0	0	0.0
4	5	2.0	0	0.0	0	0.0
5	3	2.7	0	0.0	0	0.1
6	7	3.2	0	0.0	0	0.1
8・1	5	1.9	0	0.0	0	0.3
2	4	3.4	0	0.0	0	0.2
3	0	1.5	0	0.0	0	0.1
4	2	0.8	0	0.0	0	0.2
5	0	0.3	0	0.0	0	0.0
6	0	2.9	0	0.0	0	0.0
9・1	6	3.1	0	0.0	0	0.0
2	8	3.2	0	0.0	0	0.0
3	0	6.3	0	0.0	0	0.0
4	1	9.1	0	0.0	0	0.0
5	6	2.3	0	0.0	0	0.1
6	1	1.4	0	0.0	0	0.0
10・1	2	0.4	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	172	59.5	0	0.0	1	2.1

クモヘリカメラシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	0	0.0	0	0.2	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.1	0	0.6
2	0	0.0	1	0.2	3	0.8
3	0	0.0	0	0.3	1	0.8
4	0	0.0	1	0.5	1	1.2
5	0	0.0	0	0.1	0	1.1
6	0	0.1	0	0.7	0	1.3
9・1	0	0.0	0	0.2	0	0.5
2	0	0.0	0	0.5	0	0.4
3	0	0.0	0	0.6	0	0.3
4	0	0.0	0	0.9	0	0.2
5	0	0.0	0	1.1	0	0.3
6	0	0.0	0	0.4	1	0.0
10・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.1	2	6.5	6	8.2

シラホシカメムシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	1	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.2	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.1	0	0.1
4	0	0.1	0	0.1	0	0.4
5	0	0.2	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.1	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	0	0.3	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.2	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	1.4	0	1.2	0	1.5

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

マルカメムシ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	1	0.2	0	0.1	0	0.0
3	4	0.3	0	0.1	0	0.0
4	0	0.2	0	0.0	0	0.0
5	0	0.9	0	0.0	0	0.1
6	1	2.2	0	0.1	0	0.0
5・1	0	3.7	0	0.0	0	0.1
2	0	3.4	0	0.1	0	0.0
3	1	5.5	0	0.1	0	0.0
4	1	1.5	0	0.1	0	0.0
5	0	2.4	0	0.0	0	0.0
6	0	1.8	0	0.0	0	0.3
6・1	1	1.8	0	0.0	0	0.2
2	1	1.7	0	0.0	0	0.1
3	2	1.7	0	0.0	0	0.0
4	1	1.2	0	0.0	0	0.2
5	0	0.9	0	0.0	0	0.0
6	0	0.5	0	0.0	0	0.1
7・1	0	0.9	0	0.1	0	0.0
2	0	0.4	0	0.0	0	0.0
3	0	0.4	0	0.0	0	0.0
4	1	0.8	0	0.0	0	0.0
5	0	0.3	0	0.0	0	0.0
6	3	0.9	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.4	0	0.0	0	0.0
3	0	0.6	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.2	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.2	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.7	0	0.0	0	0.0
5	0	0.9	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.1
10・1	0	2.3	0	0.0	0	0.0
2	0	1.5	0	0.1	0	0.1
3	6	4.9	0	0.0	0	0.3
4	1	3.5	1	0.5	0	0.2
5	7	7.2	0	0.3	1	0.3
6	2	3.8	2	0.3	0	0.4
計	33	60.2	3	1.9	1	2.7

アカヒゲホソドリカスミカメ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.1	0	0.9
3	0	0.0	0	0.7	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.7
6	0	0.0	0	0.4	1	0.6
6・1	0	0.0	0	0.4	2	0.0
2	1	0.0	3	0.4	0	1.9
3	1	0.3	2	6.0	3	5.2
4	2	0.8	13	7.2	23	16.8
5	3	1.1	17	12.0	21	32.7
6	1	0.7	7	9.5	23	40.6
7・1	1	1.0	4	9.5	11	20.3
2	2	1.0	10	7.6	15	13.8
3	1	2.2	5	5.2	12	12.5
4	1	2.1	3	4.2	20	9.0
5	0	1.5	7	5.2	4	5.5
6	0	3.0	0	4.4	6	1.7
8・1	2	1.8	0	2.0	1	3.4
2	0	0.9	0	1.4	2	1.4
3	0	1.8	1	2.8	0	2.1
4	0	1.6	0	1.0	0	1.4
5	0	1.2	1	1.8	0	1.6
6	0	1.5	1	1.8	2	1.7
9・1	0	0.9	0	1.3	1	1.5
2	0	1.2	0	0.8	0	0.9
3	0	0.9	0	1.2	0	1.3
4	0	1.9	0	1.6	0	1.8
5	0	0.6	0	1.0	0	0.5
6	0	0.5	0	0.3	0	0.7
10・1	0	0.3	0	1.0	1	0.5
2	0	0.0	0	0.2	0	0.3
3	0	0.5	0	1.0	0	1.4
4	0	0.0	0	0.4	0	0.1
5	0	0.2	0	0.5	0	0.1
6	0	0.1	0	0.1	0	0.1
計	15	29.6	74	93.0	148	183.4

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.7	0	0.0
4	0	0.1	0	0.7	0	0.1
5	0	0.1	0	2.1	1	0.5
6	0	0.0	0	2.0	2	2.3
6・1	0	0.0	0	1.5	2	2.3
2	0	0.0	1	1.7	2	3.4
3	0	0.0	0	1.3	0	2.5
4	0	0.1	1	6.7	7	3.2
5	0	0.0	2	5.6	10	9.5
6	0	0.0	1	11.4	25	20.5
7・1	1	0.0	4	9.2	17	21.7
2	0	0.0	23	7.0	20	15.0
3	0	0.0	3	5.6	18	8.5
4	0	0.0	3	4.7	15	5.7
5	0	0.0	3	3.8	5	3.0
6	0	0.0	0	3.9	5	3.1
8・1	0	0.0	0	4.2	5	4.6
2	0	0.0	2	3.4	10	2.0
3	1	0.2	2	4.7	0	3.0
4	0	0.1	8	3.4	3	2.5
5	0	0.0	1	4.2	0	1.7
6	0	0.1	6	14.0	1	4.9
9・1	0	0.0	4	11.2	3	4.2
2	0	0.4	0	5.1	0	3.1
3	0	0.0	0	2.4	1	2.2
4	0	0.3	0	5.5	0	2.8
5	0	0.1	3	1.7	0	1.8
6	0	0.1	0	0.7	2	1.1
10・1	0	0.0	1	1.4	0	0.3
2	0	0.0	0	0.4	0	0.3
3	0	0.0	0	0.9	0	0.8
4	0	0.0	0	0.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.4	0	0.0
6	0	0.0	0	0.2	0	0.0
計	2	1.6	68	131.8	154	136.8

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

ツマグロアオカスミカメ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	例年	H21	例年	H21	例年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.1	0	0.7	0	0.0
5	0	0.9	0	1.0	0	0.4
6	0	0.2	0	1.0	5	0.7
6・1	0	0.0	0	0.7	3	1.1
2	0	0.1	0	0.6	2	0.8
3	0	0.0	0	0.9	0	1.0
4	0	0.1	0	0.4	1	1.1
5	0	0.1	1	0.8	4	1.6
6	1	0.3	2	0.9	4	1.4
7・1	0	0.3	1	1.2	1	1.4
2	3	0.1	0	1.1	2	1.6
3	0	0.2	0	1.4	4	1.3
4	1	0.0	2	0.4	7	1.8
5	2	0.1	1	0.7	4	2.1
6	1	0.2	0	0.7	2	0.6
8・1	1	0.0	0	0.4	0	0.2
2	0	0.1	0	0.3	0	0.6
3	0	0.4	0	0.6	0	0.7
4	0	0.2	0	0.2	0	0.7
5	0	0.2	0	0.4	2	0.3
6	0	1.0	0	1.0	2	0.6
9・1	0	0.4	0	0.9	0	0.3
2	3	2.1	0	0.9	0	0.7
3	0	3.7	0	0.9	1	0.3
4	1	3.1	0	0.8	0	0.4
5	4	3.1	2	1.0	0	1.7
6	2	1.2	1	0.6	0	0.6
10・1	13	2.4	1	0.8	0	0.8
2	2	1.7	0	2.1	0	0.8
3	1	1.3	1	3.2	1	0.7
4	2	1.3	0	1.3	0	0.7
5	3	0.8	2	1.3	0	0.3
6	5	1.1	0	1.1	0	1.8
計	45	27.2	14	30.4	45	29.0

フタオビコヤガ(予察灯60W)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	1	0.1
5	0	0.1	0	0.1	0	0.6
6	0	0.0	0	0.3	0	1.2
7・1	0	0.0	0	0.7	0	0.4
2	0	0.2	0	0.9	0	0.5
3	2	0.5	2	2.7	2	2.5
4	1	0.2	0	4.4	4	4.2
5	2	0.6	4	7.1	3	7.2
6	2	1.1	2	7.3	6	4.5
8・1	2	2.0	0	6.3	0	7.0
2	7	3.6	0	6.2	1	11.3
3	11	2.4	1	10.1	4	15.0
4	6	2.9	4	9.7	35	15.6
5	9	1.8	7	6.9	32	12.2
6	3	1.2	5	2.8	32	9.6
9・1	2	0.6	0	0.5	10	4.5
2	1	0.0	0	0.0	3	1.6
3	0	0.0	0	0.0	1	0.5
4	0	0.0	0	0.1	0	0.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	48	17.2	25	66.3	134	99.1

ニカメイガ(予察灯60W)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	1	0.0	0	0.0	0	0.0
4	1	0.0	0	0.0	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	1	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	3	0.0	0	0.0	1	0.1

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

コナガ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.1	0	0.2	0	0.2
3	1	0.0	2	0.6	2	0.1
4	0	0.2	0	0.7	0	0.2
5	0	0.1	0	1.1	1	0.1
6	0	0.2	0	0.5	1	0.5
5・1	0	0.8	0	1.1	0	0.0
2	0	1.7	1	3.0	0	0.5
3	1	1.2	6	2.8	1	1.1
4	5	2.0	12	4.8	1	0.9
5	0	1.4	0	6.2	0	1.1
6	2	1.3	5	3.8	3	1.7
6・1	3	0.9	5	2.4	1	1.1
2	1	0.7	1	2.7	4	1.1
3	1	0.6	0	2.3	4	1.6
4	1	1.0	8	8.3	0	2.9
5	0	1.4	8	8.4	6	1.9
6	0	0.7	9	9.3	5	2.5
7・1	0	0.9	2	8.9	8	2.8
2	1	0.1	0	6.7	1	2.4
3	1	0.1	2	6.7	0	1.0
4	0	0.7	4	5.7	2	2.0
5	0	0.1	7	4.4	0	0.6
6	1	0.3	2	3.6	0	0.9
8・1	0	0.1	1	2.2	1	0.5
2	0	0.4	0	1.0	0	0.3
3	0	0.4	0	2.0	0	0.7
4	1	0.1	0	1.3	0	0.5
5	0	0.2	0	1.0	0	0.1
6	0	0.0	1	0.8	1	0.3
9・1	0	0.4	0	0.5	1	0.0
2	0	0.0	0	0.4	0	0.1
3	0	0.0	0	0.1	1	0.2
4	1	0.0	0	0.2	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	3	0.1
6	0	0.0	0	0.4	0	1.0
10・1	0	0.1	0	0.2	0	0.1
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	2	0.0
4	0	0.0	1	0.5	0	0.0
5	0	0.0	0	0.2	0	0.4
6	0	0.0	0	0.1	1	0.1
計	20	18.3	77	105.4	50	31.7

シロオビノメイガ(予察灯60W)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	1	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.3	0	0.2
6	0	0.1	0	0.1	0	0.2
8・1	0	0.1	0	0.4	0	0.1
2	0	0.2	0	0.5	1	0.3
3	0	0.2	0	0.4	1	1.0
4	0	0.3	0	0.5	1	1.4
5	1	0.1	2	0.7	1	0.9
6	3	0.3	1	1.5	4	0.3
9・1	0	0.5	0	1.5	0	1.0
2	0	0.8	2	0.9	1	1.2
3	0	0.4	0	3.7	2	2.1
4	0	0.6	1	3.1	5	1.4
5	0	0.6	1	1.8	0	1.6
6	0	0.3	0	0.6	1	2.3
10・1	0	0.3	0	1.0	1	2.0
2	0	0.5	0	1.4	1	1.5
3	0	0.7	0	0.9	1	1.1
4	0	0.6	1	0.8	0	0.6
5	0	0.0	1	0.8	0	0.5
6	0	0.0	0	0.4	0	0.5
計	4	6.7	9	21.4	21	20.8

ドウガネブイブイ(予察灯BL)

設置場所 月・半年	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	例年	H21	平年	H21	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.2
6	0	1.7	0	0.0	0	0.0
6・1	2	1.0	0	0.3	0	0.2
2	2	5.3	0	0.7	0	0.5
3	3	6.6	0	0.4	2	1.6
4	7	13.7	1	1.5	6	6.5
5	24	10.6	1	2.4	20	12.6
6	19	19.9	1	5.6	16	21.5
7・1	6	19.6	2	5.4	5	24.6
2	31	26.4	3	7.5	27	39.8
3	29	23.3	9	6.5	70	37.6
4	18	31.1	6	6.3	47	35.7
5	25	31.0	3	10.9	36	41.6
6	22	29.0	3	8.4	40	33.4
8・1	10	22.0	4	7.9	50	36.9
2	17	18.4	6	5.9	107	34.8
3	11	11.9	7	5.0	8	23.5
4	0	10.3	3	5.5	68	20.8
5	5	7.4	2	3.9	0	13.4
6	10	7.4	1	1.9	57	12.2
9・1	0	4.1	0	3.3	19	6.6
2	3	2.9	0	0.4	0	3.8
3	0	1.0	0	0.8	5	1.2
4	0	1.1	0	0.1	3	0.7
5	0	0.3	0	0.0	2	0.3
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	1	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	245	306.1	52	90.9	588	410.0

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

クロコガネ(予察灯BL)

設置場所 月・半年	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	H21	例年	H21	平年	H21	平年
4・1	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.3	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.3	1	0.2
3	0	0.1	0	0.3	0	0.7
4	0	0.0	0	0.4	2	0.8
5	0	0.3	0	0.7	2	1.0
6	0	0.6	0	0.4	1	0.6
6・1	0	0.1	0	0.2	4	1.0
2	0	3.0	0	0.2	3	1.3
3	0	2.7	0	0.0	2	0.7
4	2	2.7	0	0.3	2	0.7
5	7	5.1	0	1.2	4	0.9
6	9	3.4	0	0.8	0	0.7
7・1	1	6.0	1	0.4	1	1.7
2	5	4.4	0	0.5	2	2.4
3	2	5.9	1	0.4	3	0.7
4	5	5.0	1	0.5	3	0.3
5	2	3.9	0	0.5	0	0.4
6	3	22.6	0	0.4	0	0.5
8・1	3	2.3	0	0.2	0	0.1
2	4	4.4	0	0.0	0	0.6
3	5	2.7	0	0.2	0	0.2
4	0	1.4	0	0.2	10	0.1
5	0	2.9	0	0.0	0	0.0
6	0	1.7	0	0.1	0	0.2
9・1	0	1.6	0	0.0	5	0.1
2	0	1.4	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	48	84.9	3	8.3	45	16.1

ヒメコガネ(予察灯BL)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	月・半旬	H21	例年	H21	平年	H21
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	1	1.1	0	0.0	0	0.1
6・1	0	0.3	0	0.0	0	0.0
2	1	1.7	0	0.1	1	0.1
3	1	4.3	0	0.6	0	0.3
4	9	7.1	0	0.1	0	3.8
5	35	19.4	1	0.2	6	9.8
6	33	45.4	0	0.7	15	21.8
7・1	38	47.6	0	1.1	17	45.7
2	86	60.0	0	1.7	92	79.0
3	156	103.3	1	1.9	239	128.8
4	193	150.7	2	1.9	362	172.7
5	246	215.1	3	3.3	337	182.6
6	490	321.7	1	2.0	292	179.2
8・1	306	269.0	2	2.5	200	142.5
2	430	302.4	1	0.7	211	104.4
3	341	215.6	0	0.8	74	59.7
4	137	218.1	0	0.8	97	29.5
5	227	176.6	0	0.6	0	19.8
6	223	122.3	1	0.3	23	12.9
9・1	153	77.1	0	0.4	0	3.8
2	56	51.3	0	0.1	0	0.4
3	44	22.6	0	0.0	0	0.2
4	22	12.1	0	0.0	0	0.0
5	12	6.0	2	0.0	0	0.0
6	2	1.1	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.4	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	3,242	2,453	14	19.9	1,966	1,197

アカビロウドコガネ(予察灯BL)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	月・半旬	H21	例年	H21	平年	H21
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.2	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.2
3	0	0.1	0	0.2	0	0.5
4	0	0.0	0	0.1	0	0.4
5	0	0.0	0	0.2	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.4
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.3
2	0	1.3	0	0.0	0	0.4
3	0	1.6	0	0.1	0	0.3
4	1	4.4	0	0.0	1	1.5
5	2	2.7	0	1.1	0	0.9
6	0	7.7	0	1.9	4	1.5
7・1	6	10.4	0	1.8	0	2.9
2	15	9.3	0	2.3	3	1.6
3	11	20.3	1	3.1	5	1.9
4	5	17.9	1	1.4	6	3.8
5	10	9.0	0	1.9	0	1.3
6	9	9.4	3	1.0	8	1.1
8・1	7	8.3	1	1.0	3	0.5
2	4	5.1	0	0.1	1	0.3
3	6	3.6	0	0.1	2	0.3
4	0	1.1	0	0.5	2	0.3
5	1	1.9	0	0.2	0	0.1
6	1	1.9	0	0.8	0	0.2
9・1	0	0.9	0	0.4	0	0.0
2	0	1.3	0	0.1	0	0.1
3	1	0.7	0	0.0	0	0.0
4	0	0.3	0	0.1	0	0.1
5	3	0.1	0	0.1	0	0.1
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
10・1	1	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	83	119.6	6	19.5	35	21.3

ナカジロシタバ(予察灯BL)

設置場所	京田辺市		亀岡市		京丹後市弥栄町	
	月・半旬	H21	例年	H21	平年	H21
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.3	0	0.0	0	0.4

平成16年に京田辺市の予察灯設置場所を変更した。

(2) 誘引剤トラップの調査結果

設置場所	京田辺市	亀岡市	京丹後市
チャバネアオカメムシ	0 (74.0)	41.6(251.9)	21.2(78.3)
コナガ	—	561.5(552.6)	270.7(354.8)
ハスモンヨトウ	1571.7(2424.3)	1877.6(1644.1)	1268.5(1545.3)
タバコガ	30.9(17.9)	176.0(78.1)	23.0(74.0)
オオタバコガ	13.0(34.8)	431.5(217.0)	14.0(15.2)
ハイマダラノメイガ	—	124.2(—)	—

* 5月～10月の総誘殺数、ハイマダラノメイガは調査期間内の総誘殺数、()内は平年値等。

*平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

設置場所	宇治市	綾部市
チャノコカクモンハマキ	3559.0(3340.4)	1405.0(4974.2)
チャノホソガ	9973.0(12826.2)	7675.4(14921.3)

* 4月～10月の総誘殺数。()内は平年値。

チャバネアオカメムシ（フェロモントラップ）

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H21	平年(参考)	H21	平年	H21	平年
5・1	0.0	0.6	0.0	1.0	0.0	0.3
2	0.0	0.8	1.8	1.3	0.4	0.0
3	0.0	0.9	3.2	2.3	0.7	1.1
4	0.0	1.2	0.0	1.5	0.8	0.9
5	0.0	2.2	1.0	1.8	1.8	1.1
6	0.0	2.2	0.0	2.2	1.3	2.8
6・1	0.0	1.5	0.0	3.2	0.0	1.3
2	0.0	0.8	0.0	1.7	0.0	1.0
3	0.0	1.9	0.0	1.9	2.3	0.7
4	0.0	3.9	2.0	1.2	2.0	1.9
5	0.0	3.4	1.0	3.0	0.7	1.2
6	0.0	2.6	0.8	3.4	2.1	2.3
7・1	0.0	7.1	0.2	10.0	0.9	4.5
2	0.0	7.0	0.0	15.9	0.0	4.0
3	0.0	4.8	0.0	12.7	0.0	5.1
4	0.0	6.9	0.0	15.7	0.0	5.0
5	0.0	6.2	0.0	23.8	0.0	3.6
6	0.0	6.5	0.0	18.3	0.0	7.6
8・1	0.0	4.5	0.0	26.8	0.0	6.3
2	-	3.9	0.0	30.8	0.0	5.4
3	0.0	2.6	0.0	20.7	0.0	4.1
4	0.0	1.4	0.0	19.5	0.0	4.4
5	0.0	0.5	0.0	9.7	0.0	3.5
6	0.0	0.3	2.0	8.1	0.6	4.7
9・1	0.0	0.1	3.3	3.7	0.7	1.9
2	0.0	0.0	1.7	3.4	0.7	0.9
3	0.0	0.1	0.2	1.2	0.0	1.0
4	0.0	0.0	0.8	2.1	0.9	0.7
5	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	0.2
6	0.0	0.0	0.5	0.5	1.7	0.1
10・1	0.0	0.1	0.5	0.3	0.3	0.1
2	0.0	0.1	1.4	0.6	0.0	0.2
3	0.0	0.0	4.1	1.2	0.3	0.3
4	0.0	0.0	8.5	0.7	0.7	0.0
5	0.0	0.0	3.0	0.6	0.0	0.2
6	0.0	0.1	5.6	0.3	1.2	0.1
11・1	0.0	-	2.9	-	0.8	-
2	0.0	-	4.0	-	0.0	-
3	0.0	-	1.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5～10月計	0.0	74.0	41.6	251.9	21.2	78.3

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

コナガ（フェロモントラップ）

設置場所 月・半旬	亀岡市		京丹後市	
	H21	平年	H21	平年
4・1	5.5	7.4	7.1	6.3
2	11.5	7.9	8.0	8.1
3	9.5	7.1	11.4	9.7
4	4.0	5.9	9.3	9.6
5	0.8	6.0	8.4	9.7
6	5.7	8.0	7.9	18.8
5・1	2.1	9.5	7.9	18.3
2	7.6	15.4	12.4	17.0
3	25.8	15.6	19.0	20.3
4	56.0	39.1	27.1	18.9
5	51.7	43.6	43.6	26.0
6	63.3	41.0	29.4	34.6
6・1	56.0	32.3	15.6	13.8
2	26.0	45.7	16.4	14.7
3	17.0	37.3	2.9	16.1
4	93.3	43.9	3.7	11.7
5	46.7	32.9	5.7	19.4
6	26.0	24.0	11.4	17.5
7・1	10.0	26.2	4.6	6.0
2	7.3	16.2	2.6	5.7
3	2.9	9.5	2.1	3.2
4	1.8	6.1	0.0	2.7
5	0.0	7.2	0.0	2.6
6	0.3	7.6	0.0	3.0
8・1	0.7	6.8	0.0	0.6
2	1.0	4.4	0.0	1.3
3	1.0	6.4	0.0	1.3
4	0.0	6.7	0.1	1.7
5	0.0	3.9	0.7	2.0
6	0.0	2.5	0.9	3.6
9・1	0.8	1.9	0.3	2.3
2	1.9	1.7	0.4	4.2
3	3.3	2.0	2.1	3.8
4	3.0	1.1	2.1	0.7
5	3.8	1.3	1.6	1.6
6	5.5	3.0	0.7	2.2
10・1	2.7	2.9	0.0	3.6
2	1.4	1.8	0.0	3.1
3	0.6	3.0	0.4	1.5
4	2.7	3.0	1.0	2.5
5	2.1	2.3	2.1	2.0
6	0.3	2.4	1.6	3.0
11・1	0.0	-	2.4	-
2	0.0	-	1.4	-
3	0.7	-	0.8	-
4	0.8	-	0.2	-
5	2.2	-	0.0	-
6	1.3	-	0.0	-
5～10月計	561.5	552.6	270.7	354.8

ハスモンヨトウ（フェロモントラップ）

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H21	平年(参考)	H21	平年	H21	平年
4・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.3	-	0.5	-	0.0	-
3	0.7	-	2.0	-	0.0	-
4	0.7	-	2.5	-	0.0	-
5	1.1	-	1.5	-	0.0	-
6	1.9	-	1.9	-	0.1	-
5・1	3.6	3.3	2.1	0.7	0.7	0.8
2	3.0	4.4	0.4	0.5	1.3	1.5
3	3.7	3.9	2.3	0.8	1.7	2.3
4	5.0	4.1	1.1	1.3	2.1	1.5
5	7.1	4.1	1.6	0.7	0.0	3.0
6	9.7	7.3	1.0	2.4	0.6	6.7
6・1	6.0	8.1	0.0	2.1	2.4	6.8
2	2.1	9.2	0.0	2.4	5.0	8.4
3	3.6	9.5	0.0	2.2	5.7	6.6
4	17.7	13.0	5.0	3.2	10.0	9.4
5	27.6	12.6	2.0	3.8	25.0	12.1
6	29.3	19.2	13.0	5.6	73.6	21.8
7・1	39.6	22.3	17.0	5.9	87.9	31.5
2	34.7	23.6	13.7	7.6	80.3	35.9
3	23.6	26.3	7.8	12.0	63.6	37.8
4	34.3	36.2	16.5	14.9	19.3	37.3
5	30.0	36.8	23.8	16.1	21.9	35.3
6	36.3	61.0	36.5	29.6	23.1	40.3
8・1	36.4	51.4	32.7	41.0	10.7	45.6
2	37.9	54.5	90.0	43.4	27.9	35.8
3	38.7	55.0	40.7	39.2	47.1	46.4
4	45.0	63.2	27.1	40.6	57.0	57.8
5	67.9	78.1	84.6	37.5	45.0	65.0
6	87.9	94.4	104.7	80.0	57.6	72.3
9・1	85.4	97.0	80.8	79.0	37.4	57.8
2	96.9	110.5	135.0	121.6	34.6	59.5
3	112.9	104.9	125.1	114.0	52.9	77.5
4	63.7	124.7	69.5	100.1	50.6	90.0
5	38.3	136.1	51.5	93.0	59.1	79.6
6	18.6	150.0	49.7	106.9	72.9	81.0
10・1	47.0	172.9	216.3	140.2	116.0	84.3
2	75.0	173.7	170.8	110.8	34.3	77.8
3	73.7	159.3	113.2	88.4	33.0	73.8
4	71.1	168.7	108.3	68.1	33.7	89.0
5	64.3	144.9	99.4	90.7	40.0	74.5
6	194.3	180.3	134.3	137.8	34.6	78.6
11・1	18.6	-	75.0	-	20.8	-
2	120.0	-	43.0	-	23.6	-
3	126.4	-	105.7	-	18.3	-
4	58.7	-	44.3	-	7.2	-
5	12.2	-	17.3	-	6.7	-
6	6.7	-	5.7	-	15.8	-
5～10月計	1571.7	2424.3	1877.6	1644.1	1268.5	1545.3

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

タバコガ (フェロモントラップ)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H21	平年(参考)	H21	平年	H21	平年
4・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.0	-	0.0	-
4	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.1	-	0.0	-	0.0	-
5・1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
4	0.0	0.0	2.6	1.4	0.0	0.3
5	0.0	0.1	2.7	0.9	0.0	0.1
6	0.0	0.1	0.7	0.6	0.0	0.1
6・1	0.0	0.1	0.5	0.3	0.0	0.0
2	0.0	0.2	1.5	0.4	0.0	0.1
3	0.0	0.0	3.0	0.5	0.0	0.2
4	0.0	0.1	3.3	0.6	0.0	0.2
5	0.0	0.2	3.7	1.5	0.0	0.2
6	0.0	0.1	5.0	1.3	0.0	0.2
7・1	0.6	0.0	1.0	0.8	0.0	0.2
2	0.7	0.2	0.0	0.7	0.3	0.4
3	0.7	0.3	1.5	1.4	0.7	0.5
4	0.7	0.7	0.5	1.3	0.7	0.7
5	0.7	0.7	4.8	2.5	0.3	0.5
6	1.1	0.8	10.5	6.7	0.0	1.3
8・1	1.4	0.9	3.4	5.6	0.0	1.9
2	0.0	1.1	2.3	3.3	0.7	1.3
3	0.4	1.1	5.3	4.5	0.7	1.4
4	0.7	2.2	5.9	8.9	0.6	4.1
5	0.7	2.4	9.1	7.4	0.0	8.2
6	5.9	1.8	18.7	7.6	6.4	8.7
9・1	7.0	1.0	20.8	5.5	5.6	11.3
2	6.3	1.3	12.2	6.1	4.0	8.4
3	0.0	0.9	9.0	2.3	0.0	8.1
4	0.6	0.7	15.5	2.5	1.1	8.0
5	0.4	0.3	15.3	1.7	1.1	3.9
6	0.0	0.2	7.5	0.5	0.7	1.6
10・1	1.0	0.3	4.7	0.3	0.0	1.1
2	0.0	0.1	4.0	0.4	0.0	0.5
3	0.0	0.1	1.0	0.3	0.0	0.3
4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
6	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
11・1	0.0	-	0.0	-	0.3	-
2	0.0	-	0.0	-	0.7	-
3	0.7	-	0.0	-	0.0	-
4	0.3	-	0.0	-	0.0	-
5	0.0	-	0.0	-	0.0	-
6	0.0	-	0.0	-	0.0	-
5~10月計	30.9	17.9	176.0	78.1	23.0	74.0

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

オオタバコガ (フェロモントラップ)

設置場所 月・半旬	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	0.0	-	0.0	-	0.0	-
2	0.0	-	0.0	-	0.0	-
3	0.0	-	0.5	-	0.0	-
4	0.0	-	0.5	-	0.0	-
5	0.0	-	1.5	-	0.0	-
6	0.0	-	0.6	-	0.0	-
5・1	0.0	0.0	0.7	4.0	0.0	0.1
2	0.6	0.1	0.9	3.1	0.0	0.2
3	0.4	1.0	2.5	3.5	0.0	0.3
4	0.0	2.2	9.9	3.5	0.0	0.0
5	0.7	2.9	9.8	1.6	0.7	0.1
6	0.3	3.3	6.0	0.8	0.3	0.9
6・1	0.0	0.3	2.0	1.4	0.0	0.2
2	0.0	0.2	5.0	0.9	0.0	0.5
3	0.0	0.4	3.0	1.0	0.0	0.5
4	0.4	0.6	0.0	1.6	0.0	0.4
5	0.6	0.3	3.0	2.2	0.0	0.2
6	0.0	0.2	8.0	2.6	0.0	0.0
7・1	0.6	0.1	12.0	2.7	0.0	0.2
2	0.4	0.3	7.3	4.4	0.0	0.0
3	0.0	0.3	11.2	3.5	0.0	0.0
4	0.0	0.3	2.5	6.2	0.0	0.0
5	0.0	0.2	1.0	2.8	0.0	0.0
6	0.0	0.3	3.3	4.8	0.0	0.0
8・1	0.0	0.5	3.7	9.4	0.0	0.1
2	0.0	0.4	4.0	8.5	0.0	0.0
3	0.0	0.6	5.3	10.4	0.0	0.0
4	0.0	0.5	3.9	12.1	0.0	0.0
5	0.0	0.7	5.1	7.9	0.0	0.1
6	2.1	0.7	32.7	6.3	8.6	0.8
9・1	0.9	0.6	11.7	5.1	3.4	1.3
2	0.0	0.3	9.8	12.3	0.0	0.7
3	0.0	0.4	11.1	12.0	0.0	0.7
4	0.6	1.4	25.0	13.1	0.0	1.6
5	0.4	1.3	44.3	9.7	0.0	1.4
6	0.0	1.7	65.9	11.4	0.0	0.8
10・1	1.0	2.4	81.3	9.1	0.0	0.6
2	0.7	2.2	18.4	7.2	0.7	0.8
3	1.1	0.9	10.6	6.6	0.3	0.3
4	1.3	1.1	2.3	7.6	0.0	0.8
5	0.7	2.8	4.4	9.5	0.0	0.6
6	0.1	3.6	3.9	8.1	0.0	1.1
11・1	0.0	-	2.4	-	0.0	-
2	0.0	-	4.0	-	0.0	-
3	5.0	-	0.7	-	0.0	-
4	2.0	-	0.3	-	0.0	-
5	0.0	-	0.7	-	0.0	-
6	0.0	-	0.3	-	0.0	-
5~10月計	13.0	34.8	431.5	217.0	14.0	15.2

平成16年に京田辺市のフェロモントラップ設置場所を変更した。

ハイマダラノメイガ (フェロモントラップ)

設置場所 月・半旬	亀岡市		
	H21	H20	H19
4・1	-	0.0	-
2	-	0.0	-
3	-	0.0	-
4	-	0.0	-
5	-	0.0	-
6	-	0.0	-
5・1	-	0.0	-
2	-	0.0	-
3	-	0.0	-
4	-	0.0	0.0
5	-	0.0	0.0
6	-	0.0	0.0
6・1	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.0	0.0
7・1	1.4	0.0	0.0
2	0.6	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.4
5	0.0	0.0	1.1
6	0.0	0.0	0.5
8・1	0.0	0.0	0.0
2	0.8	0.0	0.6
3	0.2	0.0	3.6
4	0.0	0.0	12.8
5	0.0	0.0	0.7
6	0.0	0.0	2.3
9・1	2.4	0.0	0.0
2	0.6	0.0	11.2
3	0.0	97.0	23.8
4	0.4	30.3	13.0
5	1.0	45.7	7.0
6	11.3	8.0	2.0
10・1	48.3	3.0	6.0
2	4.7	0.3	3.4
3	3.3	1.8	1.3
4	1.8	57.0	0.3
5	1.3	7.8	0.0
6	5.7	4.9	0.0
11・1	13.1	7.1	-
2	14.9	2.7	-
3	8.6	4.4	-
4	2.0	2.3	-
5	1.3	2.0	-
6	0.5	0.0	-
計	124.2	274.0	90.0

チャノホソガ (フェロモントラップ)

設置場所 月・半旬	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	21	98.1	8.3	312.7	0.0	0.0
2	64	427.0	56.5	248.3	0.7	0.0
3	253	353.8	54.9	419.3	3.6	0.0
4	66	237.4	34.3	508.7	0.7	0.0
5	40	113.3	31.4	437.7	0.0	0.0
6	20	47.5	15.1	280.2	0.0	0.0
5・1	36	42.4	4.3	107.9	0.0	0.0
2	17	23.2	4.3	31.6	0.9	0.0
3	5	8.5	0.9	5.3	1.1	0.0
4	2	4.8	0.0	5.5	0.0	0.8
5	19	59.4	0.0	50.4	0.0	0.8
6	457	529.6	0.0	236.2	0.0	0.0
6・1	1099	1313.3	0.0	648.2	0.1	0.0
2	691	848.1	389.4	836.5	0.7	0.0
3	339	600.3	973.6	1155.2	1.3	0.0
4	81	266.3	1102.5	929.6	0.9	0.4
5	56	104.3	680.9	960.1	0.0	0.4
6	61	66.7	48.5	348.9	0.0	0.2
7・1	345	219.4	48.5	251.4	0.0	0.0
2	982	867.7	480.5	406.8	0.1	0.0
3	1215	972.5	567.1	644.7	0.7	0.0
4	482	549.7	535.0	494.1	0.1	0.0
5	89	399.3	353.7	988.9	0.0	0.0
6	88	144.0	498.2	998.3	0.0	0.0
8・1	134	306.3	350.3	617.0	0.0	0.0
2	350	763.9	172.9	325.8	0.0	0.0
3	216	755.3	101.4	227.7	0.0	0.0
4	117	209.3	177.7	256.1	0.0	0.0
5	43	154.3	219.7	274.6	0.0	0.0
6	172	258.1	221.3	241.8	1.1	0.0
9・1	349	743.5	142.0	181.6	0.9	0.0
2	506	535.3	116.2	140.4	0.0	0.0
3	182	200.2	83.4	161.4	0.7	0.0
4	78	113.7	43.5	183.5	0.3	0.0
5	101	96.0	41.5	203.3	0.3	0.0
6	469	153.2	33.6	239.4	1.4	1.1
10・1	405	57.0	33.6	164.1	4.3	0.5
2	235	41.3	7.5	127.0	1.0	0.0
3	33	43.6	14.5	89.9	0.3	0.0
4	18	28.7	21.0	75.7	0.7	0.0
5	20	34.6	5.0	63.2	0.0	0.0
6	17	35.3	2.4	42.3	0.0	0.0
11・1	2	-	0.6	-	0.0	-
2	6	-	0.0	-	0.0	-
3	0	-	0.0	-	0.0	-
4	0	-	0.0	-	0.0	-
5	0	-	0.0	-	0.0	-
6	0	-	0.0	-	0.0	-
4~10月計	9973.0	#####	7675.4	14921.3	21.9	4.0

チャノコカクモンハマキ (フェロモントラップ)

設置場所 月・半旬	宇治市		綾部市		京丹後市	
	H21	平年	H21	平年	H21	平年
4・1	1	1.1	0.0	0.3	0.0	0.0
2	14	6.1	0.0	2.2	0.4	0.0
3	323	10.1	0.9	13.2	2.1	0.0
4	424	49.2	2.1	28.3	1.0	0.1
5	354	81.6	15.0	59.8	2.4	0.2
6	151	161.0	24.0	132.6	5.0	0.2
5・1	584	390.7	42.7	275.8	21.4	0.6
2	328	500.3	93.6	290.3	25.3	0.5
3	358	289.6	56.4	255.8	25.1	0.4
4	140	152.5	34.6	249.9	14.3	0.6
5	30	54.5	15.7	76.7	2.9	0.5
6	14	17.3	0.0	18.9	1.7	0.0
6・1	1	4.8	0.0	4.7	2.6	0.0
2	4	3.6	0.0	4.4	1.4	0.0
3	36	21.9	0.0	59.1	0.9	0.0
4	57	88.2	50.6	165.9	2.4	0.4
5	82	156.1	77.1	341.5	5.0	1.3
6	37	176.5	116.9	275.3	7.1	1.1
7・1	30	110.7	116.9	231.1	8.9	0.7
2	26	52.7	25.7	108.1	11.9	0.4
3	12	13.1	2.2	35.5	19.3	2.2
4	6	8.7	1.3	78.8	7.3	0.9
5	1	10.3	7.6	85.8	4.0	0.0
6	9	17.8	60.2	193.2	6.4	0.7
8・1	14	27.2	55.3	185.8	14.3	0.7
2	22	30.8	32.1	103.2	13.1	2.7
3	22	32.0	42.1	48.4	14.9	7.7
4	2	8.3	20.3	20.9	17.9	3.7
5	3	3.8	7.1	20.9	5.7	0.8
6	2	6.0	15.0	40.4	9.1	0.6
9・1	8	11.9	127.1	111.2	8.3	1.1
2	5	22.2	128.8	200.1	7.9	0.8
3	21	83.3	75.0	284.0	10.7	2.5
4	45	110.7	21.5	218.4	33.4	3.3
5	64	92.9	19.9	159.3	45.3	7.1
6	87	78.2	13.6	179.5	32.1	4.9
10・1	111	104.5	13.6	107.4	60.8	2.3
2	54	72.4	15.0	82.1	37.0	3.9
3	26	59.2	25.3	55.3	25.3	3.6
4	22	82.6	34.8	30.9	19.3	3.5
5	15	36.9	10.7	29.4	4.3	2.4
6	14	99.1	4.3	109.7	5.1	0.2
11・1	3	-	1.3	-	1.9	-
2	2	-	0.6	-	1.4	-
3	7	-	0.0	-	1.0	-
4	1	-	0.0	-	0.3	-
5	0	-	0.0	-	0.0	-
6	0	-	0.0	-	1.7	-
4~10月計	3559.0	3340.4	1405.0	4974.2	543.3	62.0

(3) 黄色水盤の調査結果

アブラムシ類誘殺数(黄色水盤)
調査場所: 亀岡市(農林センター)

半旬別推定値

月.半旬	H21	平年	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	H12	H11
4.1	6.0	2.8	—	5.0	0.0	0.0	9.0	0.0	11.0	0.0	0.0	0.0
.2	17.0	3.7	—	5.0	0.0	3.0	18.0	1.0	3.0	2.0	0.0	1.4
.3	3.3	8.6	8.0	8.0	1.0	7.0	47.0	1.0	8.0	2.0	0.0	3.6
.4	38.7	16.5	17.0	6.0	2.0	36.0	81.0	1.0	16.0	2.0	0.0	4.2
.5	38.0	13.2	34.0	15.0	2.0	12.0	36.0	2.0	20.0	4.0	1.0	5.8
.6	88.8	24.6	132.0	17.0	10.0	29.0	24.0	2.0	14.0	10.0	1.0	6.8
5.1	107.3	35.1	207.0	13.0	10.0	58.0	24.0	12.0	5.0	2.0	6.0	14.0
.2	143.3	38.2	217.0	34.0	14.0	52.0	11.0	7.0	5.0	19.0	10.0	13.0
.3	54.8	28.8	100.0	35.0	21.0	54.0	12.0	3.0	8.0	18.0	27.3	9.3
.4	47.0	35.6	159.0	9.0	18.0	61.0	23.0	12.0	4.0	49.0	12.7	8.0
.5	17.0	59.8	284.0	17.0	25.0	127.0	36.0	22.0	3.0	52.0	31.5	0.0
.6	6.9	63.5	193.0	27.0	20.0	134.0	29.0	26.0	10.0	88.0	13.3	94.3
6.1	9.6	74.9	83.0	22.0	35.0	179.0	37.0	40.0	78.0	97.0	67.2	110.7
.2	5.6	61.5	96.0	20.0	87.0	145.0	27.0	38.0	22.0	44.0	54.2	81.4
.3	2.4	58.0	85.0	28.0	85.0	186.0	19.0	18.0	30.4	57.0	33.8	37.7
.4	3.4	46.3	104.0	26.0	62.0	149.0	23.0	14.0	26.6	45.0	8.0	5.8
.5	2.0	32.7	74.0	18.0	72.0	59.0	19.0	11.0	36.3	12.0	5.0	20.3
.6	0.0	24.7	39.0	25.0	59.0	41.0	10.0	13.0	47.6	3.0	0.0	8.9
7.1	0.0	14.7	15.0	10.0	30.0	10.0	4.0	13.0	39.0	5.0	6.0	15.4
.2	1.0	14.7	35.0	11.0	12.0	7.0	6.0	5.0	38.3	10.0	10.0	12.9
.3	1.0	15.9	30.0	9.0	2.0	7.0	19.0	11.0	32.0	8.0	15.0	26.4
.4	2.8	7.9	18.0	10.0	1.0	12.0	10.0	6.0	12.5	2.0	3.0	4.2
.5	2.3	8.6	7.0	12.0	0.0	12.0	12.0	7.0	11.1	5.0	0.0	20.1
.6	7.0	8.9	5.0	13.0	—	14.0	11.0	11.0	14.0	4.0	0.0	7.9
8.1	4.7	15.3	10.0	8.0	35.0	48.0	14.0	22.0	12.0	0.0	1.5	2.1
.2	5.2	12.6	23.0	16.0	18.0	22.0	9.0	5.0	12.5	15.0	2.5	2.9
.3	7.0	26.4	33.0	29.0	38.0	28.0	28.0	9.0	9.4	86.0	2.0	1.9
.4	7.9	18.9	22.0	24.0	42.0	21.0	9.0	9.0	3.5	36.0	19.0	3.6
.5	3.1	33.2	20.0	25.0	37.0	26.0	31.0	32.0	104.0	44.0	10.0	2.5
.6	8.6	27.6	21.0	16.0	21.0	70.0	26.0	21.0	84.6	12.0	0.0	4.7
9.1	9.3	27.0	70.0	23.0	56.0	20.0	13.0	15.0	61.4	8.0	0.0	3.3
.2	8.4	36.4	170.0	19.0	48.0	11.0	5.0	14.0	57.9	32.0	2.0	5.5
.3	6.3	22.3	68.0	10.0	24.0	5.0	8.0	6.0	67.1	20.0	12.2	2.4
.4	20.0	17.6	41.0	19.0	22.0	3.0	5.0	4.0	55.6	13.0	10.8	2.1
.5	8.0	12.9	31.0	7.0	16.0	12.0	5.0	4.0	48.0	5.0	0.0	1.2
.6	3.7	7.8	10.0	11.0	17.0	14.0	1.0	2.0	20.5	2.0	0.0	0.8
10.1	1.0	7.8	8.0	14.0	23.0	16.0	1.0	0.0	16.3	0.0	0.0	0.0
.2	0.0	4.9	13.0	5.0	6.0	9.0	2.0	—	8.7	0.0	0.0	0.0
.3	0.0	4.7	5.0	6.0	9.0	6.0	1.0	—	7.9	0.0	6.0	1.0
.4	0.0	6.2	9.0	8.0	10.0	15.0	2.0	—	7.9	3.0	1.0	0.0
.5	0.0	4.9	8.0	5.0	6.0	13.0	1.0	—	6.7	0.0	3.0	1.0
.6	0.7	5.9	15.0	13.0	11.0	12.0	0.0	—	2.5	0.0	0.0	0.0
11.1	7.4	34.0	34.0									
.2	4.7	30.0	30.0									
.3	3.0	22.0	22.0									
.4	2.6	12.0	12.0									
.5	1.0	34.0	34.0									
.6	0.0	31.0	31.0									
4~10月計	698.8	991.2	2519.0	653.0	1007.0	1745.0	708.0	419.0	1081.2	816.0	375.0	547.0

2 病害虫発生予察情報の内容

(1) 水稻

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
葉いもち	5月21日(4号)	発生量 やや少ない (やや少ない) 初発生時期 並(6月第5半旬)	(1)5月中旬現在、補植用苗での発生を認めていない。 (2)前年の穂いもちの発生量は前年比やや少なかった(-)。 (3)向こう1か月の気温は高く、降水量、日照時間はともに前年並と予想されている。 (4)長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(-)。	
	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(前年並)。 (2)補植用苗での発生を認めている(+) (3)BLASTAM(いもち病発生予察システム)によると、好適感染条件が6月上旬から出現しているが、頻度は低い。 (4)長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(-)。 (5)向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はともに前年並と予想されている。	
穂いもち (中晩生水稲)	7月27日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、葉いもちの発生量は前年並。 (2)BLASTAM(いもち病発生予察システム)によると、好適感染条件が出現しているが、頻度は低い(-)。 (3)向こう1か月の気温は前年並または低く(+)、降水量は前年並、日照時間は少ない(+)と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや多い)	(1)8月中旬現在、葉いもちの発生量は前年並。 (2)9月の気温、降水量及び日照時間は前年並と予想されている。	
紋枯病 (中晩生水稲)	6月25日(5号)	発生量 やや少ない (やや多い)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(前年並)。 (2)前年の発生量は前年比やや少なかった(-)。 (3)向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はともに前年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 やや少ない(並)	(1)7月中旬現在、発生量は前年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は前年並または低く(-)、降水量は前年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生量は前年比やや少ない(-)。 (2)9月の気温、降水量及び日照時間は前年並と予想されている。	
ヒメビウンカ と縞葉枯病	4月22日(3号)	ヒメビウンカ 発生量 やや多い 縞葉枯病 発生量 並	(1)4月中旬現在、ヒメビウンカの発生量は前年比やや多い(+) (2)昨年は、縞葉枯病の発生は認めていない。	
	5月21日(4号)	ヒメビウンカ 発生量 やや多い (やや多い) 縞葉枯病 発生量 並(並) ヒメビウンカ 第1世代成虫発生最盛期 並(6月第3半旬)	(1)未耕起田等でのヒメビウンカの越冬量は前年比やや多かった (2)昨年は、縞葉枯病の発生は認めていない。	
セジロウンカ	6月25日(5号)	発生量 並(やや多い)	(1)6月第3半旬現在、予察灯での誘殺を認めていない。 (2)6月中旬現在、本田での発生を認めていない。	
	7月27日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は前年並。	
トビロウンカ	7月27日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月第4半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)7月中旬の巡回調査で、発生を認めていない(前年並)。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月第2半旬現在、予察灯での誘殺を認めていない。 (2)8月中旬現在、ほ場での発生を認めていない(前年並)。	
ツマグロ ヨコバイ	5月21日(4号)	発生量 やや少ない(並)	(1)未耕起田等でのツマグロヨコバイの越冬量は前年比やや少なかった(-)。	
	6月25日(5号)	発生量 並(やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量は前年並。	
	7月27日(6号)	発生量 並~やや多い (やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量は前年並~やや多い(+)	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月21日(4号)	発生量 並(並) 発蛾最盛期 並(6月第4半旬)	(1)前年秋期の発生は前年並で、越冬量は前年並と見込まれる。	
	7月27日(6号)	発生量 前年並(前年並) 発蛾最盛期 8月第4半旬	(1)7月中旬現在、発生量は前年並。	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月27日(6号)	発生量 並(多い)	(1)7月中旬現在、発生量は前年並。	
	8月20日(7号)	発生量 やや少ない(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、前年比やや少ない(-)。	
イネミズ ゾウムシ	4月22日(3号)	発生量 並~やや多い (やや少ない)	(1)前年の新成虫の予察灯での誘殺数は前年並~やや多い(+)	
	5月21日(4号)	発生量 やや多い(並)	(1)前年新成虫の予察灯への誘殺数は前年並~やや多かった(+) (2)5月第2半旬現在、越冬世代成虫の予察灯への誘殺数は前年比やや少ない(-)~前年並。 (3)5月中旬現在、本田での発生量は前年比多い(+)	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
斑点米 カメムシ類 (中晩生水稲)	6月25日(5号)	発生量 やや多い(並)	(1)6月中旬現在、本田での発生量は平年比やや多い(+) (2)6月中旬現在、畦畔での発生量は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は高いと予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並～やや多い	(1)7月中旬現在、本田での発生量は平年並 (2)7月中旬現在、畦畔での発生量は平年比やや多い(+) (3)7月第4半旬現在、予察灯でのカスミカメ類の誘殺数は平年並～やや多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年並または低いと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並	(1)8月中旬現在、本田での発生量は平年比やや少ない(-) (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は平年並。	
その他 (注意事項)				

(2) 麦類

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
その他 (注意事項)				

(3) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月25日(5号)	発生量 やや少ない(並)	(1)6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月27日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+)	
	8月20日(7号)	発生量 並(多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップでの誘殺数は平年比やや少ない(-)	
	9月29日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並 (3)10月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
吸索性 カメムシ類	7月27日(6号)	発生量 並(やや少ない)	(1)7月第4半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年比少ない)(-) (2)8月第2半旬現在、予察灯での誘殺数は平年並～やや多い(+)	
	9月29日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)9月第4半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並 (3)10月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
サヤムシガ類	7月27日(6号)	発生量 並(やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。	
ハダニ類	7月27日(6号)	発生量 並(多い)	(1)7月中旬現在、発生を認めなかった(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多い	(1)9月中旬現在、発生量は平年並～やや多い(+) (2)10月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(4) 小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月25日(5号)	発生量 やや少ない(並)	(1)6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月27日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+) ・サイズに比べ白変葉が見つけにくいので注意する。	
	8月20日(7号)	発生量 やや少ない(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない)(-) (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップでの誘殺数は平年比やや少ない(-)	
	9月29日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並 (3)10月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
吸索性 カメムシ類	9月29日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)9月第4半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並 (3)10月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
ハダニ類	7月27日(6号)	発生量 並(多い)	(1)7月中旬現在、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや多い)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多い	(1)9月中旬現在、発生量は平年並～やや多い(+) (2)10月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(5) 果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
黒斑病(ナシ)	3月27日(2号)	発生量 並(並)	(1)越冬罹病枝率は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量 並(並)	(1)越冬罹病枝率は、平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	5月21日(4号)	発生量 並(やや少ない)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。 (2)越冬罹病枝率は、平年並。 (3)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 少ない(少ない)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 少ない(少ない)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 少ない (やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
黒星病(ナシ)	4月22日(3号)	発生量 やや多い (やや少ない)	(1)前年10月の発生量は、平年比やや多かった(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	5月21日(4号)	発生量 やや多い(並)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 やや多い(並)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 多い(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
炭そ病(カキ)	4月22日(3号)	発生量 やや多い	(1)前年10月の発生量は、平年比やや多かった(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
落葉病(カキ)	5月21日(4号)	発生量 並	(1)前年秋期の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
うどんこ病 (カキ)	5月21日(4号)	発生量 やや多い(多い)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)前年秋期の発生量は平年比やや少ない(-) (3)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並(やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多い(多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
べと病(ブドウ)	5月21日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並(多い)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
	8月20日(7号)	発生量 多い(やや多い)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
ハダニ類 (カンキツ、ナシ、ブドウ)	5月21日(4号)	発生量 やや多い(多い)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 やや多い(やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量は、ナシで平年比やや多く(+)、ブドウで多く(+)、カンキツでやや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(やや少ない)	(1)7月中旬現在、発生量はナシ、ブドウで平年比やや多く(+)、カンキツで平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや多い(並)	(1)8月中旬現在、発生量はナシで平年比多く(+)、カンキツで平年比やや少ない(-) (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
カキクダアザミウマ(カキ)	3月27日(2号)	発生量 並(並)	(1)前年秋期の被害果率は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。	
フタテンヒメヨコバイ(ブドウ)	5月21日(4号)	発生量 やや少ない(やや少ない)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)前年秋期の発生量は平年比少ない(-)	
カメムシ類 (果樹全般)	5月21日(4号)	発生量 やや少ない(やや少ない)	(1)越冬量調査では発生を認めている (2)5月第2半旬現在、予察灯への誘殺数は京丹後で平年比やや少ない(-) (3)5月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並	
	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)予察灯での誘殺数は平年並 (2)チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は平年並	
	7月27日(6号)	発生量 やや少ない(やや少ない)	(1)7月第4半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並 (2)7月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない(-)	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月第2半旬現在、予察灯での誘殺数は平年並 (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップでの誘殺数は平年並	
その他 (注意事項)				

(6) 茶樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
もち病	3月27日(2号)	発生量 並 (山城:並 丹波:少ない) 防除時期 萌芽～1葉期	(1)前年秋期の発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または少なく、日照時間は平年並と予想されている。	
	5月21日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)前年秋期の発生量は平年並 (3)向こう1か月の気温は高く(-)、降水量、日照時間はともに平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 山城 やや多い(やや多い) 丹波 並(並) 防除適期 新芽伸育期	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
炭そ病	6月25日(5号)	発生量 並 (山城:やや多い 丹波:並) 防除適期 三番茶芽の第1～2葉開葉期	(1)6月中旬現在の発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 山城 やや少ない(やや少ない) 丹波 やや多い(多い) 防除適期 新芽伸育期	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 山城 やや多い(やや多い) 丹波 並(多い)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並 (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
カンザワハダニ	2月27日(1号)	発生量 山城 並(やや多い) 丹波 やや多い(やや多い) 防除時期 3月上旬	(1)2月第5半旬現在、寄生葉率は山城では平年並、丹波では平年比やや高かった(+) (2)産卵葉率は、山城で平年比やや低く(-)、丹波では平年比やや高かった(+) (3)発生ほ場率は山城で平年並、丹波では平年比やや高かった(+) (4)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並、または多い(-)と予想されている。	
	3月27日(2号)	発生量 山城 やや多い(やや多い) 丹波 並(並)	(1)3月下旬の調査では、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または少ない(+と予想されている。	
	5月21日(4号)	発生量 山城 やや多い(多い) 丹波 並(やや多い)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 やや少ない(山城:少ない 丹波:並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 少ない(山城:少ない 丹波:並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多い(多い)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年 (2)10月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	10月20日(9号)	発生量 多い	(1)10月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)11月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	チャノホソガ	3月27日(2号)	発生量 山城 やや多い(並) 丹波 やや少ない(やや少ない) 防除時期 2葉期	(1)前年10月の発生量は、山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。
5月21日(4号)		発生量 山城 やや多い(並) 丹波 並(やや多い) 第2世代幼虫ふ化時期 並(6月第2~3半旬)	(1)5月中旬現在、第1世代の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年並、綾部で平年比やや少ない(-) (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年並。	
6月25日(5号)		発生量 やや多い(山城:並 丹波:やや多い) 第3世代幼虫ふ化期 山城 やや早い(7月第4半旬~7月第5半旬) 丹波 やや遅い(7月第6半旬~8月第1半旬)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年 (2)フェロモントラップでの誘殺盛期は、宇治で平年比やや早く、綾部で平年比遅い。 (3)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
7月27日(6号)		発生量 山城 やや多い(多い) 丹波 並(やや多い) 第4世代幼虫ふ化期 並(8月第4~5半旬)	(1)7月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並 (2)第2世代成虫のフェロモントラップへの誘殺盛期は、平年並。	
8月20日(7号)		発生量 やや多い(山城:多い 丹波:やや多い) 第5世代幼虫ふ化期 山城 やや早い(9月第4半旬~9月第6半旬) 丹波 早い(9月第3半旬~9月第5半旬)	(1)8月中旬現在、第4世代幼虫の発生量は平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年比やや早く、綾部で平年比早い。 (3)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
	9月29日(8号)	発生量 並(山城:やや少ない 丹波:やや多い)	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。	
	10月20日(9号)	発生量 山城 並 丹波 やや多い	(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや多い(+)	
チャノコカクモンハマキ	4月22日(3号)	発生量 山城 やや多い(やや多い) 丹波 並(並) 幼虫ふ化時期 山城 早い(5月第4半旬~5月第5半旬) 丹波 並(5月第6半旬~6月第1半旬)	(1)前年秋期の発生量は平年並。 (2)4月中旬現在、発生量は平年並。 (3)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年比多く(+)、綾部で平年並。	
	5月21日(4号)	発生量 並 (山城:少ない 丹波:並) 第1世代幼虫ふ化時期 山城 やや早い(5月第4半旬~5月第6半旬) 丹波 並(5月第5半旬~6月第1半旬)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治で平年比やや多く(+)、綾部で平年比やや少ない(-)。 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年比やや早い。	
	6月25日(5号)	発生量 やや多い(山城:多い 丹波:並) 第2世代幼虫ふ化期 並(7月第2半旬~7月第3半旬)	(1)6月中旬現在、第1世代の発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップでの誘殺盛期は平年並。 (3)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 山城 やや少ない(やや少ない) 丹波 やや多い(やや多い) 第3世代幼虫ふ化期 山城 やや早い(8月第2~3半旬) 丹波 やや遅い(8月第4~5半旬)	(1)7月中旬現在、第2世代の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波でやや多い(+) (2)第1世代成虫のフェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年比やや早く、綾部で平年比やや遅い。	
	8月20日(7号)	発生量 山城 並(並) 丹波 やや多い(やや多い) 第4世代幼虫ふ化期 山城 やや遅い(10月第2半旬~10月第4半旬) 丹波 並(10月第1半旬~10月第3半旬)	(1)8月中旬現在、山城で発生を認めず(平年並)、丹波で平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年比やや遅く、綾部で平年並。 (3)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 山城 やや多い(やや多い) 丹波 並(並) 第4世代幼虫ふ化期 山城 並(10月第2~4半旬) 丹波 やや早い(10月第1~3半旬)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治で平年並、綾部で平年比やや早い。	
クワシロカイガラムシ	4月22日(3号)	発生量 山城 やや多い(やや多い) 丹波 並(やや少ない) 幼虫ふ化時期 並(5月第6半旬~6月第1半旬)	(1)前年秋期の発生量は、山城で平年比多く(+)、丹波で平年比やや少ない(-)。 (2)4月中旬現在、発生量は平年並。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
	5月21日(4号)	発生量 並(山城:やや少ない 丹波:並) 幼虫ふ化時期 並(5月第5半旬～6月第1半旬)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。	
	6月25日(5号)	発生量 山城 多い(並) 丹波 少ない(平年比やや少ない) 第2世代幼虫ふ化期 並(7月第6半旬～8月第2半旬)	(1)第1世代幼虫の発生量は、山城で平年比多く(+)、丹波で平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 山城 並(少ない) 丹波 やや少ない(並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少ない(-)。	
チャノキイロアザミウマ	5月21日(4号)	発生量 並(山城:やや多い 丹波:やや少ない)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。	
	6月25日(5号)	発生量 山城 やや多い(やや多い) 丹波 やや少ない(並) 防除適期 新芽伸育期	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年並、丹波で平年比少ない (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(山城:やや少ない 丹波:多い) 防除適期 新芽伸育期	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。	
	8月20日(7号)	発生量 山城 やや多い(並) 丹波 並(やや多い) 発生時期 秋芽伸育期	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年 (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
チャノミドリヒメヨコバイ	5月21日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。	
	6月25日(5号)	発生量 山城 並(多い) 丹波 少ない(少ない) 防除適期 新芽伸育期	(1)6月中旬現在の発生量は山城で発生を認めず(平年並)、丹波で平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(山城:並 丹波:多い) 防除適期 新芽伸育期	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。	
	8月20日(7号)	発生量 山城 並(多い) 丹波 やや少ない(やや少ない) 発生時期 秋芽伸育期	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや少ない(-)。 (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(7) 野菜

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
疫病・褐色腐病(果菜類)	5月21日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並	(1)6月中旬現在、トウガラシで疫病の発生を認めている。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
うどんこ病(果菜類)	5月21日(4号)	発生量 少ない(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年比少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 やや多い(やや多い)	(1)6月中旬現在、発生量はキュウリで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 やや多い(多い)	(1)7月中旬現在、キュウリ、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 多い(多い)	(1)8月中旬現在、発生量はナスで平年比多い(+) (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
べと病 (キュウリ)	5月21日(4号)	発生量 並(やや少ない)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
炭そ病 (ウリ類)	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
褐斑病 (キュウリ)	7月27日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月の気温、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
斑点細菌病 (キュウリ、トウガラシ)	5月21日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、巡回調査では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量及び日照時間はともに平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は平年並、日照時間は少ないと予想されている。	
べと病・黒斑病 ・白斑病(アブラナ科野菜)	9月29日(8号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)9月中旬現在、発生量はカブで平年比やや多い(+) (2)10月の気温は高く(-)、降水量は平年並と予想されている。	
べと病(アブラナ科野菜)	10月20日(9号)	発生量 やや少ない (少ない)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)11月の気温は高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
白斑病(アブラナ科野菜)	10月20日(9号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)11月の気温は高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
菌核病 (キャベツ)	3月27日(2号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)3月下旬の調査では、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量 多い(多い)	(1)前年11月の発生量は、平年比多かった(+) (2)4月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)春期の発生量は平年比多い(+) (2)9月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (3)10月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	10月20日(9号)	発生量 やや多い (やや少ない)	(1)春期の発生量は、平年比多い(+) (2)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (3)11月の気温は高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
白さび病(アブラナ科野菜)	10月20日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)11月の気温は高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
黒腐病(キャベツ等)・黒斑細菌病(アブラナ科野菜)	9月29日(8号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)10月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
黒腐病 (キャベツ)	10月20日(9号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)11月の気温は高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
さび病(ネギ)	4月22日(3号)	発生量 やや多い (やや多い)	(1)4月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並と予想されている。	
	5月21日(4号)	発生量 並(やや少ない)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
アブラムシ類とモザイク病 (果菜類)	4月22日(3号)	発生量 並~やや多い	(1)4月上旬現在、トマトで発生を認めなかった。 (2)4月第4半旬現在、黄色水盤への誘殺数は例年比やや多い(+)	
	5月21日(4号)	発生量 並~やや多い (やや多い)	(1)5月中旬現在、アブラムシ類の発生量は平年並。 (2)5月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、アブラムシ類の発生量は平年並。 (2)6月第4半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比少ない(-)。 (3)6月中旬現在、キュウリ及びトマトでモザイク病の発生を認めている(+) (4)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
アブラムシ類 (アブラナ科、 キュウリ、ナス、 ホウレンソウなど)	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)8月第3半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年比やや少ない(-) (3)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
ハダニ類 (チャノホコリダニを含む) (果菜類)	5月21日(4号)	発生量 並(やや多い)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並(やや多い)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない)。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで平年比やや少なく(-)、ナスで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並または低く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない)(-)。 (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
アザミウマ類 (果菜類)	5月21日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量はキュウリで平年比やや多く(+)、ナスで平年比少ない(-)。	
	6月25日(5号)	発生量 やや多い(やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量はキュウリで平年比多く(+)、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 やや多い(やや多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+)	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
ハモグリバエ (果菜類) (果菜類等)	6月25日(5号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 並(やや少ない)	(1)9月中旬現在、発生量はナスで平年並。	
コナガ (アブラナ科野菜)	3月27日(2号)	発生量 並(並)	(1)3月下旬の調査(キャベツ)では、発生を認めなかった(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または少ないと予想されている。	
	4月22日(3号)	発生量 並(やや多い)	(1)4月中旬現在、発生量は平年並。 (2)4月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は亀岡で平年比やや多く(+)、丹後で平年並。	
	5月21日(4号)	発生量 やや少ない	(1)5月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、平年並。 (3)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	8月20日(7号)	発生量 やや少ない (やや少ない)	(1)8月第2半旬現在、予察灯での誘殺数は平年並。 (2)8月第2半旬現在、フェロモントラップでの誘殺数は平年比少ない(-)。	
	9月29日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月第4半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。 (3)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。	
	10月20日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、発生量は平年並。 (2)10月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない~平年並。	
ハスモンヨトウ (野菜全般)	7月27日(6号)	発生量 やや多い(やや多い)	(1)7月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや多い(+)	
	8月20日(7号)	発生量 やや少ない(やや少ない)	(1)8月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年比やや少ない(-)。	
	9月29日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は平年並。 (2)10月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ](野菜全般)	9月29日(8号)	発生量 やや多い	(1)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、オオタバコガで平年並、タバコガで平年比やや多い(+)	
ハイマダラメイガ[ダイコンシンクイムシ](アブラナ科野菜)	9月29日(8号)	発生量 やや少ない(やや少ない)	(1)9月中旬現在、発生量は例年比やや少ない(-)。	

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 (前年比)	根拠	備考
シロオビノメイ ガ(ホウレンソ ウ)	8月20日(7号)	発生量 並	(1)8月第2半旬現在、予察灯での誘殺数は平年並。	
	9月29日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月第4半旬現在、予察灯への誘殺数は平年並。	
ネギアザミウマ (ネギ)	4月22日(3号)	発生量 多い(多い)	(1)4月中旬現在、発生量は平年比多い(+)	
	5月21日(4号)	発生量 多い(やや多い)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比多い(+)	
	6月25日(5号)	発生量 多い(やや多い)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比多い(+) (2)普及センター等からの情報によると、発生が目立っている(+) (3)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 やや多い(やや多 い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+)	
	8月20日(7号)	発生量 並(やや少ない)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	10月20日(9号)	発生量 多い(多い)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)11月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
ネギハモグリ バエ(ネギ)	4月22日(3号)	発生量 やや多い(やや多 い)	(1)4月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+)	
	5月21日(4号)	発生量 やや多い(並)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在の発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されている。	
	7月27日(6号)	発生量 やや多い(多い)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+)	
	8月20日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)9月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多い(並)	(1)9月中旬現在、発生量は平年並。 (2)10月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
	10月20日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)11月の気温は高く(+)、降水量は平年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

留意事項

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気温	降水量	
第1号	3月	2月27日	2月20日	高い	平年並	
第2号	4月	3月27日	3月20日	平年並	日本海側:平年並 太平洋側:平年並または少ない	平
第3号	5月	4月22日	4月17日	平年並	平年並または高い	平
第4号	6月	5月21日	5月15日	高い	平年並	
第5号	7月	6月25日	6月19日	高い	平年並	
第6号	8月	7月27日	7月24日	平年並または低い	平年並	少
第7号	9月	8月20日	8月14日	平年並	平年並	
第8号	10月	9月29日	9月25日	高い	平年並	
第9号	11月	10月20日	10月16日	高い	平年並	

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

3 対象病害虫の発生状況

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要	
15,800	イネ	葉いもち	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	6320ha	6月中旬に補植用苗で発生を確認。 7月～8月に本田で発生を確認、全般的には平年並の発生。	好適感染条件が6月～7月に散発的に出現したがその頻度は低かった。	長期持続型箱施用剤による予防防除の増加。
	穂いもち	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	2107ha	全般的には平年並の発生。	8～9月にかけて、気温は平年比高く、降水量は並～多く、日照時間は多く推移した。	出穂期前後の防除を行っている。	
	紋枯病	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:並	5793ha	7月～9月に発生を確認、全般的には平年比やや少ない発生。	7月時点の茎数は平年比少なかった。 8～9月にかけて、気温は平年比高く、降水量は並～多く、日照時間は多く推移した。	育苗箱施用剤により葉いもちと同時防除を行っている。	
	白葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		実施せず。	
	イネミズゾウムシ	平年:早い 前年:早い	平年:やや多 前年:やや多	13167ha	予察灯への初飛来は亀岡で平年比やや遅く、京丹後、京田辺で早かった。本田では5月に平年比やや少なく、6月に平年比やや多い発生。 府中部(南丹、中丹地域)で発生が多かった。	5月の気温は平年比低く、6月の気温は平年比高く推移した。	育苗箱施用による防除を行っている地域が多い。	
	ツマグロヨコバイ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	14747ha	6月～9月に発生を確認、7月に平年比やや少なく、8月に平年比やや多い発生。全般的には平年並の	越冬密度は平年比少なかった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。	
	ヒメビウンカ	平年:一 前年:並	平年:並 前年:並	14220ha	7月～8月に発生を確認、全般的には平年並の発生。	越冬密度は平年比やや少なかった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。	
	セジロウンカ	平年:早い 前年:早い	平年:多 前年:多	15800ha	予察灯への初飛来は、亀岡、京田辺で平年早く、京丹後でやや早かった。6月～9月に発生を確認、7月～8月に平年比多い発生。	飛来量は平年比やや多かった。 7～9月の気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。	
	トビイロウンカ	平年:やや遅 前年:並	平年:多 前年:多	10ha	予察灯への初飛来は、亀岡で平年比早く、京丹後、京田辺で遅かった。8月中旬～9月に山城地域の一部ほ場で発生を確	ウンカ類飛来予測システムでは8月中旬に本府への飛来が予測されている。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。	
	ニカメイガ	平年:一 前年:一	平年:並 前年:並	210ha	予察灯では6月上旬～8月に誘殺あり。 常発地において発生。		常発地では本田防除を実施。	
	イチモンジセセリ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:並	1896ha	6月に平年比やや多く、7月に平年並の発生。		常発地では本田防除を実施。	
	コブノメイガ	平年:並 前年:早い	平年:やや多 前年:多い	9164ha	7月に平年比やや多く、8月に多く、9月にやや多い発生。 府南部(山城、南丹地域)で発生が多かった。	7～9月の気温は平年比高く推移した。	出穂期前後にカメムシ類との同時防除を行っている。 防除意識が低い。	
	斑点米カメムシ類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:並	7163ha	畦畔雑草で6～7月に平年並、8月に多い発生。 本田では6月に平年並、7月～8月にやや少ない発生。 広域でカメムシ類を確	水田内外の雑草管理が不十分。 ほ場周辺のイネ科雑草環境の変化がカメムシ類増加の要因と考えられる。 地域一斉防除の減少。	出穂期前後に地域一斉防除を実施。	
255ha	ムギ	うどんこ病	平年:一 前年:一	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。	赤かび病との同時防除	うどんこ病に対して防除の意識はない。
	赤かび病	平年:一 前年:一	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 平成17年以降、発生を認めていない。	開花期以降の防除の徹底	開花期以降の薬剤散布	

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ダイズ (黒大豆) 553ha	アブラムシ類	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	414ha	巡回調査では、平年並の発生であった。 農林センター内の黄色水盤では、平年比やや少ない発生であった。	移植期の粒剤防除の徹底。	移植時粒剤施用。 カメムシ類との同時防除。
	ハスモンヨトウ	平年:— 前年:—	平年:やや多 前年:やや多	346ha	巡回調査では、平年比やや多い発生であった。 フェロモントラップでの誘殺数は平年並であった。	適期防除の遅れ(夏季の高温:特に高齢者は散布作業ができない、集団営農:スケジュール管理が主体で臨機応変な作業がで	若齢幼虫期の防除 カメムシ類との同時防除
	カメムシ類	平年:— 前年:—	平年:やや多 前年:やや多	346ha	巡回調査では、平年比やや多い発生であった。 予察灯の誘殺数は、7、8月は平年並であったが、9月に平年比やや多くなった。	適期防除の遅れ(夏季の高温:特に高齢者は散布作業ができない、集団営農:スケジュール管理が主体で臨機応変な作業がで	開花期以降の薬剤散布(3回以上)
カンキツ 63ha	そうか病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布
	黒点病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去7年間、発生を認めていない。		薬剤散布
	かいよう病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めていない。		薬剤散布
	ヤノネカイガラムシ	平年:— 前年:—	平年:並 前年:やや多	22ha	巡回調査では、4、5、8、9月に発生を認めた。		薬剤散布
	ミカンハダニ	平年:— 前年:—	平年:やや少 前年:並	56ha	巡回調査では、春から夏にかけて平年比やや少ない発生であったが、8月に平年比やや多い発生となった。その後、9月になって再び、平年比やや少ない発生となった。	基幹防除だけでは、防除が不十分であった。	基幹防除+発生状況に応じた薬剤散布
	ミカンハモグリガ	平年:— 前年:—	平年:並 前年:やや少	21ha	巡回調査では、4、5、8、9月に発生を認めた。		
ナシ 109ha	黒斑病	平年:— 前年:—	平年:少 前年:並	35ha	巡回調査では、8月まで平年比少ない発生であったが、9月になり平年並となった。	耐病性品種の導入。	薬剤散布
	黒星病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:やや少	7ha	巡回調査では、7月に一部の圃場で発生が認められた。		薬剤散布
	赤星病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:やや少	27ha	巡回調査では、5、6月に一部の圃場で発生が認められた。		薬剤散布
	うどんこ病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	3ha	巡回調査では、9月に一部の圃場で発生が認められた。		薬剤散布
	ナシヒメシクイ	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	33ha	巡回調査では、発生を認めなかったが、収穫を終えた現地から発生の報告があった。		薬剤散布 袋掛け
	ハダニ類	平年:— 前年:—	平年:多い 前年:やや多	96ha	巡回調査では、8月まで平年比多い発生であったが、9月になり平年比やや少ない発生となった。	オオクワハダニの発生。	薬剤のローテーション防除。
ブドウ 94ha	べと病	平年:— 前年:—	平年:多い 前年:やや多	57ha	巡回調査では、5、6月は発生を認められなかったが、7月以降一部地域で多〜甚発生となった。	梅雨末期の多雨。 防除の不徹底。	薬剤散布 雨除け栽培
	フタテンヒメヨコバイ	平年:— 前年:—	平年:やや少 前年:やや多	38ha	巡回調査では、一部の地域で少〜中発生となった。	防除の不徹底。	薬剤散布
	ハダニ類	平年:— 前年:—	平年:並 前年:やや少	38ha	巡回調査では、一部の地域で8月に少発生となっ		
カキ 227ha	炭そ病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布
	うどんこ病	平年:— 前年:—	平年:やや少 前年:少	195ha	巡回調査では、平年比やや少ない発生であった。		薬剤散布
	落葉病	平年:— 前年:—	平年:やや少 前年:並	16ha	巡回調査では、9月に少発生を認めた。		薬剤散布

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	カキノヘタムシガ	平年: - 前年: -	平年: やや多 前年: やや多	16ha	巡回調査では、9月に少発生を認めた。		薬剤散布
	カイガラムシ類	平年: - 前年: -	平年: やや少 前年: やや少	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布
	チャノキイロアザミウマ	平年: - 前年: -	平年: やや多 前年: やや多	32ha	巡回調査では、9月に平年比やや多い発生を認めた。		薬剤散布
	カキクダアザミウマ	平年: - 前年: -	平年: 並 前年: 並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布
果樹全般	カメムシ類	平年: - 前年: -	平年: やや多 前年: やや多	カキ: 16ha ナシ: 32ha	予察灯、フェロモントラップとも誘殺数は、平年比やや多い発生となった。巡回調査では、9月にカキで発生を認めたが、ナシは収穫を終えた現地から発生の報告があった。	越冬量多。	薬剤散布 袋掛け
チャ 1565ha	炭そ病	平年: - 前年: 並	平年: 並 前年: 少ない	821ha	府北部では、5月、6月の発生が平年比多かったが、南部では平年並の発生であった。7月以降は、府北部では平年並の発生であったが、府南部では平年比少なく9月に1ほ場で1葉/m ² の発生を確認しただけ	府北部は南部に比較して摘採時期が遅く、二番芽の伸長も遅くなっている。このため、5月下旬降雨のため発病が進行したと考えられる。	6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除
	もち病	平年: - 前年: 並	平年: 並 前年: 少ない	66ha	府北部、南部ともほとんど発生を認めず、調査ほ場では6月に府南部の1ほ場で1葉/m ² の発生を確認しただけであった。		6月～8月の新芽伸育期の薬剤防除
	チャノコカクモンハマキ	平年: - 前年: 並	平年: 並 前年: 少ない	25ha	府北部では、フェロモントラップへの誘殺数は多くなかったが、調査ほ場では、6月～9月にかけて幼虫を確認した。発生量は6月および9月は平年比やや多い発生であったが、それ以外は平年並の発生であった。府南部は、フェロモントラップへの誘殺数は7月以降平年比やや多い～多い発生であったが、調査ほ場での幼虫は全期間を通じて確認されず、平年比やや少ない～並の発生であった。	府北部の気温は6月下旬～7月中旬にかけて高めに推移したためと考えられる。特に8月は平年より2～3度高く推移したためと考えられる。	幼虫ふ化期の薬剤防除 チャハマキとの同時防除
	チャノミドリヒメヨコバイ	平年: - 前年: 並	平年: 並 前年: 多い	1203ha	府全域で6月までは、平年比やや少ない～並の発生であったが、8月以降急激に被害芽が増加し、平年比やや多い～多い発生となった。	8月以降の高温(府北部で平年より2～3度、府南部で平年より約2度)によって、発生が増加したと考えられる。	二番茶摘採後、新芽伸育時に2回程度の防除 チャノキイロアザミウマと同時防除
	カンザワハダニ	平年: - 前年: 早い	平年: 並 前年: 少ない	1302ha	7月までは府全域で平年比少ない～平年並の発生であったが、8月に府北部で9月に府南部で平年比やや多い発生となった。	8月の平均気温が府北部で27度、府南部で28度になっており、ハダニの増殖に好適条件であったと考えられる。	越冬前の防除及び萌芽期前後の防除 一番茶、二番茶摘採後の防除 同一薬剤の連用を避ける
夏秋トマト 128ha	チャノキイロアザミウマ	平年: - 前年: 遅い	平年: 並 前年: 並	1565ha	8月が全域で平年比やや多い発生であったが、他の月は平年比やや少ない～平年並の発生であった。	8月の降水量が一時期を除き、少なかったためと考えられる。また、一部では薬剤感受性の低下も考えられる。	二番茶摘採後、新芽伸育時に2回程度の防除 チャノミドリヒメヨコバイと同時防除
	クワシロカイガラムシ	平年: - 前年: 早い	平年: やや多い 前年: 並	1545ha	5月までは平年並で推移したが、府北部では7月から、府南部では6月から平年比やや多い～多い発生で推移している。	幼虫ふか時期の把握が難しく、適期防除ができていないと考えられる。	幼虫ふ化期の薬剤防除
	疫病	平年: - 前年: -	平年: - 前年: -	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		薬剤散布
	灰色かび病	平年: - 前年: -	平年: - 前年: -	51ha	巡回調査では、一部の地域で6月に少発生を認め		薬剤散布

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	モザイク病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。	育苗時における苗の選別。 定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。	育苗時における苗の選別。 定植時における粒剤施用によるアブラムシ防除。
	アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	51ha	巡回調査では、一部の地域で少発生を認めた。	初期防除の不徹底。	定植おける粒剤施用によるアブラムシ防除。 薬剤による初期防除
ナス(夏秋) 194ha	うどんこ病	平年：遅い 前年：遅い	平年：並 前年：やや少	20ha	8月以降発生を認めた。8月に平年並、9月に平年比やや少ない発生であった。		ローテーション防除の実施
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	73ha	5月以降発生を認めた。6月に平年比やや多く、7月と9月に平年比やや少ない発生となった。全体では平年並の発生。アブラムシ類の黄色水盤への飛来量は平年比やや少～平年並であった(4～9月)。	定植時の粒剤使用に加え、5月の気温が低く推移した。	定植時の粒剤使用
	ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	43ha	5月に平年並の発生を認めた。6、7月には発生を認めなかったが、8月に平年比やや多い発生となった。全体では平年並の発生。主な発生種はナミハダニであった。	6月中旬以降は高温で推移したが、断続的にまとまった降雨が見られた。	発生初期からの茎葉散布 効果の高い薬剤による適期散布
	ハスモンヨトウ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	巡回調査では、発生を認めなかった。		若齢幼虫期の薬剤散布
キュウリ (夏秋) 138ha	べと病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	53ha	6月以降発生を認めた。全体では平年並の発生。		発生初期からの茎葉散布
	炭そ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	5ha	7月に平年比多い発生を認めた。全体では平年並の発生。		発生初期からの茎葉散布
	疫病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		排水対策
	うどんこ病	平年：遅い 前年：遅い	平年：やや少 前年：少ない	15ha	7月に平年並の発生を認めた。全体では平年並の発生。		発生初期からの茎葉散布
	斑点細菌病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		
	モザイク病	平年：並 前年：遅い	平年：並 前年：並	14ha	7月に平年比やや多い発生を認めた。全体では平年並の発生。	アブラムシ類の黄色水盤への飛来量は平年比やや少～平年並であった(4～9月)。	定植時の粒剤施用 一部のほ場では弱毒ウイルス使用
	アブラムシ類	平年：遅い 前年：遅い	平年：やや少 前年：やや少	14ha	6月以降発生を認めた。6月は平年比やや多い発生であったが、7、8月は平年比少ない発生であった。全体では平年比やや少ない発生。		定植時の粒剤施用 他害虫との同時防除
	ダイコン	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。	アブラムシ類の黄色水盤への飛来量は平年比やや少～平年並であった(4～9月)。	播種時の粒剤施用
243ha	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	162ha	9月に平年並の発生を認めた。アブラムシ類の黄色水盤への飛来量は平年比やや少～平年並であった(4～9月)。		播種時の粒剤施用
キャベツ (春) 157ha	菌核病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。アブラムシ類の黄色水盤への飛来量は平年比やや少～平年並であった(4～9月)。	前年秋期に発生を認めなかった。	発生初期の薬剤防除
	黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	4ha	5月に平年比多い発生を認めた。全体では平年比やや多い発生。		発生初期の薬剤防除
	モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		他害虫との同時防除
	コナガ	平年：早い 前年：並	平年：並 前年：並	61ha	3月に発生を認めた。4月に平年並、5月に平年比やや少ない発生であった。全体では平年並の発生。	有効薬剤の増加 発生は減少傾向	定植時の粒剤施用 他害虫との同時防除

作物名 (作付面積) ha	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積 ha	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	ヨトウガ類	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤散布 他の害虫との同時防除
キャベツ (冬) 98ha	菌核病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。	春期に発生を認めなかった。	発生初期の薬剤防除
	黒腐病	平年:— 前年:—	平年:並 前年:やや少	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除
	モンシロ チョウ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	16ha	9月に平年並の発生であった。		他害虫との同時防除
	コナガ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	16ha	9月に平年並の発生であった。	有効薬剤の増加 発生は減少傾向	定植時の粒剤施用 他害虫との同時防除
	ヨトウガ類	平年:— 前年:—	平年:並 前年:やや少	0ha	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤散布 他の害虫との同時防除
ネギ 42ha	さび病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	7ha	4月に平年比多い発生、5、6月に平年比やや多い発生であった。7月以降は発生を認めなかった。全体では平年比やや多い発生		発生初期の薬剤防除
	アブラムシ 類	平年:遅い 前年:遅い	平年:並 前年:並	8ha	4月に平年比やや少なく、5、6、9月に平年比やや多い発生であった。全体では平年並の発生。アブラムシ類の黄色水盤への飛来量は平年比やや少～平年並であった(4～9月)。		他害虫との同時防除
	ハスモンヨ トウ	平年:— 前年:—	平年:— 前年:—	—	9月に一部のほ場で発生を認めた。		発生初期の薬剤防除
ハウレンソ ウ 324ha	アブラムシ 類	平年:遅い 前年:遅い	平年:やや少 前年:やや少	324ha	4月に調査ほ場のうち75%で発生が確認され、5月も50%のほ場で発生が確認された。アブラムシ類の黄色水盤への飛来量は平年比やや少～平年並であった(4～9月)。		他害虫との同時防除
	ハスモンヨ トウ	平年:— 前年:—	平年:並 前年:並	—	巡回調査では発生を認めなかった。		発生初期の薬剤防除

II 重要病害虫侵入警戒調査の実施

1 ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府では、チチュウカイミバエ及び火傷病を対象に実施。

ア 事業実施地区の概況

調査対象 病害虫	市町村	主要規制植物の栽培状況							
		カンキ ツ	ナシ	ブドウ	カキ	ナス	トマト	キュウ リ	計
チチュウカイ ミバエ	亀岡市	—	0	2	9	5	9	4	29
	宮津市	25	1	4	6	6	7	6	55
	京丹後市	—	96	33	43	15	23	14	224
火傷病	京丹後市		96						96

イ 実施状況及び結果

項 目	調 査 概 要	調 査 結 果
チチュウカイ ミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
火 傷 病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査梨園8か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

Ⅲ 調査・試験の概要

課 題 名：タバココナジラミ類の地理的分布

担 当 者 名：岡留和伸（京都農技セ）、栗田秀樹

協 力 分 担：各京都府農業改良普及センター、京都府病害虫防除所

1. 目的

京都府内のTYLCV及びタバココナジラミ類の発生生態を明らかにするとともにタバココナジラミ類の防除技術を確立する。

府内におけるタバココナジラミ類の地理的分布状況及び寄主植物を明らかにする。

2. 方法

4～12月までの期間中（4～7月：半促成栽培、8～11月：抑制栽培）に随時、府内各地（平成21年度は、6～7月：13市町の36カ所、10～11月：7市町の23カ所）の施設栽培トマト株に発生しているコナジラミ類の発生の有無を調べ、発生を認めた場合は、合計1～249頭/1カ所について成虫及び終齢幼虫の外部形態により種を判別した。また、ほ場の発生状況を、①コナジラミ類発生なし、②タバココナジラミ類のみ発生、③オンシツコナジラミのみ発生、④両種が発生の4種類に分けてそれらの割合を求めた。

3. 研究期間を通じての成果の概要

(1) コナジラミ類の発生圃場率はトマト半促成栽培より抑制栽培で高い傾向にあった。また、2005年では山城地域より明らかに低い傾向にあった丹波、丹後地域での発生圃場率が、毎年、上昇傾向にあり、2009年では山城地域の発生圃場率に近づいた。（図1，2）

(2) タバココナジラミ（混発圃場も含む）の発生圃場率は、2007年の丹波丹後地域以外で半促成栽培より抑制栽培で高くなる傾向が見られた。山城地域では2006～2008年に圃場率が減少傾向に推移したが、2009年は2008年より増加傾向に転じた。2006年～2009年まで、丹波、丹後地域の発生圃場率は山城地域に比べて低い傾向にあった。丹波丹後地域での抑制栽培において、2009年は、2008年とほぼ同等の発生圃場率であったが(37.5%)、2005年以降では最大の発生圃場率であった。

(3) オンシツコナジラミ（混発圃場も含む）の発生圃場率は、半促成栽培より抑制栽培で高くなる傾向が見られた。

山城地域でのオンシツコナジラミ（混発圃場も含む）の発生圃場率は、2006～2009年にかけて、夏期では20.6%から47.6%に、秋期では38.1%から80.0%になり、増加傾向が認められた。

丹波・丹後地域でのオンシツコナジラミ（混発圃場も含む）の発生圃場率は、2006～2009年にかけて、夏期では16.7%から66.6%に、秋期では39.1%から87.5%になり、増加傾向が認められた。

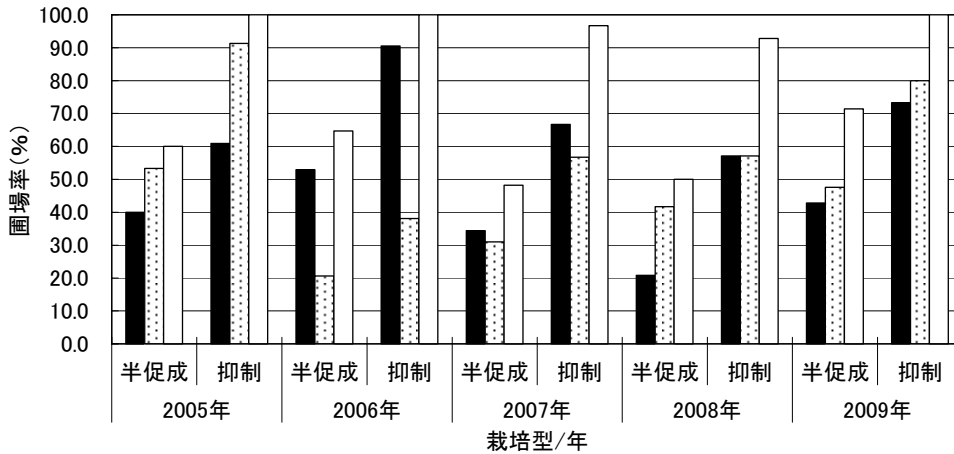


図1 山城地域におけるコナジラミ類発生圃場率の推移

■タバココナジラミ(混発含む) □オンシツコナジラミ(混発含む)
□コナジラミ類(混発含む)

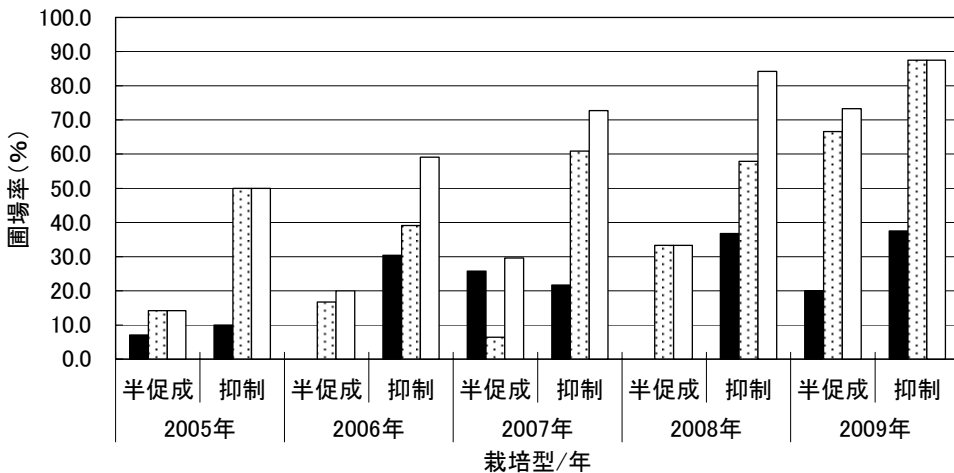


図2 丹波・丹後地域におけるコナジラミ類発生圃場率の推移

■タバココナジラミ(混発含む) □オンシツコナジラミ(混発含む)
□コナジラミ類(混発含む)

4. 研究期間を通じての成果の要約

コナジラミ類は、トマト半促成栽培より抑制栽培で発生圃場率が高くなる傾向が見られた。

2005年では明らかに山城地域より低い傾向が見られた丹波丹後地域の発生圃場率が毎年上昇傾向にあり、2009年では山城地域の発生圃場率に近づいていることが判った。

[キーワード] タバココナジラミ、オンシツコナジラミ、発生圃場率

5. 成果の活用面と留意点

防除所ニュース第9号に同様データ掲載 (京都府病害虫防除所平成21年11月20日発表)

6. 残された問題とその対応

特になし

実施課題名：丹後地域における茶赤焼病の発生状況と防除対策

担当者名：上山 博、福西 務

協力分担：なし

1. 目的

丹後地域は宇治茶の原料供給産地として現在約45haの茶が植栽されているが、2007年春に約20haの茶園で赤焼病類似症状が発生し、成葉の落葉など甚大な被害を被った。

2007年5月に5団地から同症状を呈した8検体を採取し、菌泥の有無を検鏡したところ5検体で菌泥が確認され、細菌病の可能性が示唆された。その後京都府立茶業研究所で赤焼病と同定された。

そこで、今後の防除対策の基礎的資料とするため、2007年夏から、赤焼病の発生状況を経時的に調査した。

2. 方法

茶が植栽されている国営開発農地7ほ場において（表1）、2007年7月から2009年3月までは1ヶ月に2回（但し春～夏は1回）の間隔で、各ほ場の任意の8カ所の枠調査（25cm×50cm）合計1㎡を行い発病葉数を調査した。

2009年11月からは1ヶ月に2回の間隔で、茶園のし、併せて発病箇所については発病葉面積率を調査することとした。なお、京丹後市久美浜町永留6団地の「おくひかり」の調査ほ場については、生育が不良であるため、近接の「おくひかりほ場」に変更した。

2009年2月10日の調査では、各茶園（永留おくひかりを除く）から、赤焼病と類似した症状を呈した葉が確認されたので、持ち帰り各茶園3～7葉の菌泥の噴出を検鏡した。

3. 結果の概要

（1）2009年1月までの結果（平成20年度概要集に一部掲載）

2007年12月に永留6団地の「おくひかり」で発病を確認した後、2008年3月の調査では全てのほ場で発病を確認した。

2008年4月から、徐々に発病葉数は減少し、2008年7月以降枠調査では病葉を認めなかった。2008年12月15日以降2009年3月24日まで永留6団地の「おくひかり」で調査枠外で発病葉を確認し、2009年2月2日には枠調査でも発病を確認した。

永留6団地の3品種を比較すると「やぶきた」、「おくみどり」に比較して、「おくひかり」の発病が多かった。（表2）。

（2）2009年の11月5日～2010年1月29日まで発病は確認していなかった。

（3）2010年2月10日に採取した全ての茶園の葉から、菌泥の噴出が確認され（表3）、病徴及び検鏡結果から2010年の赤焼病の初発と考えられた。

表1 赤焼病発生調査茶園

調査場所	品種	備考
京丹後市久美浜町永留6団地	やぶきた	
京丹後市久美浜町永留6団地	おくみどり	
京丹後市久美浜町永留6団地	おくひかり	
京丹後市網野町郷1団地	やぶきた	
京丹後市網野町島津2団地	やぶきた	
京丹後市網野町三津団地	やぶきた	
京丹後市弥栄町坂野団地	やぶきた	2007年度のみ調査

表3 丹後地域チャ赤焼病に係る検鏡結果(2010.2.10)

Leaf No.	永留6団地		郷1団地	島津2団地	三津団地	口大野
	やぶきた	おくみどり	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
1	-	-	-	2+(2+)	3+(3+)	(-)
2	-	2+(3+)	1+(1+)	-	3+(3+)	-
3	3+(3+)	-	-	+(+)	2+(2+)	-
4	-	2+(-)	-	-	2+(1+)	-
5	2+(3+)	3+(2+)	-	-	2+(3+)	-
6	-	(-)	-	-	-	-
7	3+(3+)	-	-	-	-	-

2月10日採取し、2月15日に検鏡した。
表内の1+は菌泥噴出程度が遠程で軽、2+は中、3+は多い、-は認めないを表す。
()内は同一葉で違う箇所を切り検鏡した結果を表す。

表2 赤焼病発生調査結果

		永留6団地			郷1団地	島津2団地	三津団地	坂野団地
		やぶきた	おくひかり	おくみどり	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた
2007	7/9	0	0	1	4	0	0	0
	8/1	0	0	0	0	0	0	0
	9/11	0	0	0	0	0	0	0
	10/12	0	0	0	0	0	0	0
	10/29	0	0	0	0	0	0	0
	11/14	0	0	0	0	0	0	0
	11/28	0	0	0	0	0	0	0
	12/20	0	6	0	0	0	0	0
2008	1/16	14	142	0	4	0	131	0
	3/11	169	370	110	107	92	400	159
	4/11	0	62	2	0	0	4	-
	4/23	3	60	1	11	0	34	-
	5/7	73	10	44	11	2	32	-
	5/23	1	2	0	0	0	0	-
	6/10	27	0	11	0	0	0	-
	7/11	0	0	0	0	0	0	-
	8/8	0	0	0	0	0	0	-
	9/9	0	0	0	0	0	0	-
	10/7	0	0	0	0	0	0	-
	10/28	0	0	0	0	0	0	-
	11/13	0	0	0	0	0	0	-
	11/26	0	0	0	0	0	0	-
12/15	0	0	0	0	0	0	-	
12/25	0	0*	0	0	0	0	-	
2009	1/6	0	0*	0	0	0	0	-
	1/27	0	0*	0	0	0	0	-
	2/2	0	11	0	0	0	0	-
	3/5	0	0*	0	0	0	0	-
	3/24	0	0*	0	0	0	0	-
	**11/5	0	0	0	0	0	0	-
	**11/25	0	0	0	0	0	0	-
	**12/14	0	0	0	0	0	0	-
	**12/24	0	0	0	0	0	0	-
	**1/29	0	0	0	0	0	0	-
2010	**2/10	***	0	***	***	***	***	-

* 調査枠外で発生を認めた

** 2009年11月以降調査方法を変更した。

*** 表3参照

(調査方法)

2009. 3まで: 任意の8カ所の枠調査(25cm×50cm)合計1㎡を行い発病葉数を計数

2009. 11から: 任意の4畝を選び、1畝当たり2m区画で7~8箇所(合計30箇所)の発病の有無を目視で調査

4. 結果の要約

丹後地域の赤焼病は2007年12月に発病を認めて以来、2007年から冬から春にかけて発病が確認されてきた。

2009年の11月以降については、2010年2月10日に採取した葉から菌泥が確認され、病徴及び検鏡結果から初発と考えられた。

[キーワード] 京丹後市、茶、赤焼病、発生調査

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

- 4℃の低温で氷核細菌による凍害が起こり、赤焼病が助長されることが報告されている。このため、現地での凍害程度を簡易に診断する方法が求められる。

6. 結果の発表、活用 未定

実施課題名：チャにおけるミカントゲコナジラミの分布調査

担当者名：上山 博

協力分担：京都農技セ 農林セ 茶業研究所

1. 目的

2004年8月に宇治市において、国内では初めてミカントゲコナジラミ *Aleurocanthus spiniferus* (Quaintance) がチャで発生が確認された。本種は、成虫および幼虫による吸汁害と、幼虫の分泌物により多発生時にはすす病を併発している。また、摘採時には作業者が吸引するなど不快害虫としての問題もある。

近年は、宇治市だけでなく府内全域に本種の分布が広がってきている。2007年に調査方法が統一されことを機会に、継続的な分布調査を実施する。

2. 方法

(1) 調査期間および調査場所

2009年10月30日から11月5日に京都府内の主要産地を中心に43箇所、84茶園で調査した。

(2) 調査方法

20箇所／1ほ場で、茶株のすそ部の古葉が着生している部分の枝条を、葉裏が見えるように手でめくりあげ、葉裏のミカントゲコナジラミ寄生葉を見取りによって、4段階（A：半数以上の葉に寄生が見られ、かつ20匹以上／葉の場合が多い、B：概ね半数以上の葉に寄生が見られる、C：概ね半数以下の葉に寄生が見られる、D：寄生が見られない）で寄生程度判断し、 $(nA \times 3 + nB \times 2 + nC) / (20 \times 3) \times 100$ によって得られた数値を園の寄生度とした。（ nA 、 nB 、 nC は、それぞれA、B、Cの個体数）
とりまとめは、市町村単位で、寄生ほ場率および個々の茶園の寄生度を平均化した。

3. 結果の概要

山城地域の寄生ほ場率は宇治市で67%、城陽市で50%あったが、他の市町村は全て100%であった。寄生度は、宇治市が7.2、城陽市が5.0で低い値であった。2008年と比較するとほぼ全ての市町村で減少していた。

丹波・丹後地域の寄生ほ場率は、南丹市、京丹波町が100%であった。寄生ほ場率は過去3年の間に徐々に増加しており、特に舞鶴市は本年初めて寄生が確認された。寄生度は山城地域に比較すると低いが、ほ場によっては80以上の高い寄生度の茶園も確認した。

府内全域の寄生度は、山城地域は横ばいあるいは減少傾向にあるが、丹波・丹後地域は増加傾向である。

表1 ミカントゲコナジラミの市町村別寄生ほ場率および寄生度

	ほ場数		寄生ほ場率 [※]			寄生度 ^{※※}	
	調査ほ場	寄生ほ場	2009年	2008年	2007年	2009年	2008年
宇治市	6	4	67	67	83	7.2	16
城陽市	2	1	50	50	100	5.0	2
八幡市	1	1	100	100	100	33.3	40
京田辺市	2	2	100	100	100	58.3	73
木津川市	6	6	100	100	100	41.7	56
井手町	1	1	100	100	100	65.0	65
宇治田原町	6	6	100	100	100	40.0	52
和束町	7	7	100	100	100	41.0	58
南山城村	8	8	100	100	100	38.8	59
福知山市	12	3	25	17	0	11.0	4
舞鶴市	6	1	17	0	0	0.3	0
綾部市	11	6	55	9	0	6.8	3
京丹後市	10	7	70	30	33	22.7	7
南丹市	2	2	100	100	0	25.8	18
京丹波町	4	4	100	100	100	54.5	28

※ は2007年は寄生ほ場率のみ調査した。

※※ は4段階で(A:半数以上の葉に寄生が見られ、かつ20匹以上／葉の場合が多い、B:概ね半数以上の葉に寄生が見られる、C:概ね半数以下の葉に寄生が見られる、D:寄生が見られない)寄生程度判断し、 $(nA \times 3 + nB \times 2 + nC) / (20 \times 3) \times 100$ によって得られた数値を園の寄生度とし、市町村単位で園の寄生度を平均化した。

4. 結果の要約

2009年は全ての調査市町村で寄生が確認された。山城地域の寄生は横ばいあるいは減少傾向であるが、丹波・丹後地域は増加傾向である。

〔キーワード〕 茶、ミカントゲコナジラミ、寄生ほ場率、寄生度

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

防除方法の検討

寄生度が下がった茶園の管理状況の把握

6. 結果の発表、活用

実施課題名：ハウレンソウケナガコナダニ被害現地調査（予備調査）

担当者名：上山 博、林田吉王

協力分担：各農業改良普及センター（現地調査 京都乙訓農業改良普及センター）

1. 目的

ハウレンソウケナガコナダニ（以下「コナダニ」）による被害は、ハウス栽培を中心に全国的に大きくなっており、特に、早春と晩秋の被害が大きいことが報告されているが、本府では、府内全域での被害実態については、明らかにされていない。そこで、各農業改良普及センター（以下「センター」）に対するアンケートおよび現地調査によって被害実態を捉え、今後の防除対策の一助とする。

2. 調査方法

- (1) 平成21年10月にコナダニによるハウレンソウ被害の実態を、各センターにアンケートを実施した。アンケート内容は、ハウレンソウの栽培面積、コナダニの被害面積、時期、栽培形態、被害の拡大状況、防除指導の内容等とした。
- (2) 平成21年11月末の段階でコナダニ被害が確認されていた京都市右京区嵯峨の露地栽培ほ場（10月11日は種、品種タキシード7）において、12月7日に被害発生の著しい箇所と被害が軽微な場所の合計2箇所を被害調査を実施した。調査は日本植物防疫協会農業試験方法に準拠して中心部展開4葉及び芯部について被害程度を調査し、被害度を算出した*。
※ 被害度 = $(D \times 5 + C \times 3 + B \times 0.5 + A \times 0) / (\text{調査株数} \times 5) \times 100$
A：被害なしの株数
B：コナダニによる奇形葉2枚以内の株数
C：コナダニによる奇形葉3～4枚で芯部褐変なしの株数
D：奇形葉の数に関わらず芯部が褐変し芯止まりの株数
- (3) 被害程度別にそれぞれ3株づつ持ち帰り、株元を実体顕微鏡で検鏡し寄生数を計数した。
- (4) 被害発生の著しい箇所と被害が軽微な箇所のハウレンソウ株際から、表層土を2箇所採取し、春日法によって個体数調査を行った。なお、同調査方法の通常トラップ設置時間は3日程度とされているが、今回は50時間で個体数調査を実施した。

3. 結果の概要

(1) アンケート結果（表1）

- ① 10月に実施したアンケートでは、ケナガコナダニの被害は丹後センターを除く、各センター管内で確認されていたが、その後2月に丹後センター管内においても被害が確認された。
- ② 被害が確認されているセンターでは全て3～6月の間に被害を確認し、京都乙訓センターでは7月に入ってから確認されている。京都乙訓、南丹、中丹西センターでは秋期にも被害が確認されている。
- ③ 被害を確認した栽培形態は、ほとんどハウス栽培、雨除け栽培であったが、京都乙訓センター管内では露地栽培でも被害が確認されている。
- ④ 被害の程度は、ほとんどが「一部収穫ができなかった」と回答している。
- ⑤ 被害の拡大は、京都乙訓、中丹東センターは「問題なし」と回答している。また、山城北、山城南、南丹の各センターでは「特定のほ場に被害が集中している」と回答している。その一方で、中丹西センターは「被害が拡大している」と回答している。
- ⑦ 防除指導は、デス、カスケード、ネマモール等の薬剤による防除が指導されている。

(2) 現地調査および室内調査結果

- ① 現地ほ場での、被害の著しい箇所、軽微な箇所の被害度は、それぞれ24.8と14.0であった。いずれの箇所も調査株による被害程度のばらつきは大きかった。また、被害の著しい箇所は被害程度BとCの株が多く、被害の軽微な箇所は被害程度AとBの株が多かった（表2）。
- ② 被害程度別のコナダニの平均寄生虫数は、被害程度が高くなる程多くなったが、最も被害程度高

いDの株の寄生虫数はバラツキが著しかった（表3）。

- ③ 被害発生 of 著しい箇所の土壌からは、100ml 当たり 1 頭、2 頭が確認されたが、被害が軽微な箇所の土壌からはコナダニの個体は確認されなかった（表4）。

表1 普及センター別のハウレンソウケナガコナダニ被害アンケート調査結果

質問項目	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後
被害の確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	未確認
被害確認月	4～7月 10～11月	3～4月	3～5月	3～4月 10～12月	3月	5月、9月	
被害を確認した栽培形態	ハウス 露地	ハウス	雨除け	ハウス	ハウス	ハウス	
被害程度	一部収穫できず	一部収穫できず	一部収穫できず	一部収穫できず	影響なし	一部収穫できず	
被害の拡大	被害は確認しているが問題はない	特定ほ場に集中	特定ほ場に集中	特定ほ場に集中	被害は確認しているが問題はない	被害が拡大	
防除指導の内容	デス カスケード ネマモル粒			は種前のネマモル 粒剤の土壌混和処 理＋生育中のDDV P乳剤の散布および 夏季の太陽熱土壌 消毒を指導 DDVP乳剤の代替 剤として、カスケード 乳剤を指導			

表2 現地ほ場における見取り調査結果

	被害程度				被害度
	A	B	C	D	
被害が著しい箇所	3	14	8	0	24.8
被害が軽微な箇所	14	7	3	1	14.0

A: 被害なしの株数 B: コナダニによる奇形葉2枚以内の株数

C: コナダニによる奇形葉3～4枚で芯部褐変なしの株数 D: 奇形葉の数に関わらず芯部が褐変し芯止まりの株数

被害度 = (D × 5 + C × 3 + B × 0.5 + A × 0) / (調査株数 × 5) × 100

表3 被害程度別のコナダニ寄生虫数

	被害程度			
	A	B	C	D
1	0	13	12	117
2	0	7	35	8
3	0	10	55	1
平均	0.0	10.0	34.0	42.0

表4 被害程度の違いによる土壌虫数(土壌100ml当たり)

地点	項目	サンプル1	サンプル2
		被害が著しい箇所	確認個体数
	含水率(%)	20.5	15.1
被害が軽微な箇所	確認個体数	0	0
	含水率(%)	17.6	20.1

4. 結果の要約

本府でのハウレンソウケナガコナダニ被害は、府内全域に及んでいる。ほ場内、株での発生密度にバラツキが大きい

[キーワード] ハウレンソウケナガコナダニ、ハウレンソウ、被害

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

春期における現地調査と被害ほ場における発生状況の確認方法の確立

6. 結果の発表、活用

未定

実施課題名：京都府でのプラタナスグンバイによる被害分布

担当者名：上山 博、川戸直子（京都農技セ）

協力分担：なし

1. 目的

2006年10月に京都市内のプラタナスで侵入害虫プラタナスグンバイ *Corythucha ciliate* (Say) の発生が確認された。本種は、プラタナスの葉裏に生息し、成虫及び幼虫が葉を吸汁することにより葉を脱色させ、加害が激しい場合はプラタナスの樹冠部全体を白化させ、美観を著しく損ねる。また本種は、成虫がプラタナスに隣接した住宅のテラスに干した洗濯物や布団に飛来するため不快害虫となっている。本種の発生生態及び防除に関する知見は、非常に少ないため、京都府内における本種の被害実態を調査し、今後の防除対策等の資料とする。

2. 方法

(1) 調査地点

2009年8月3日に京都市、向日市および亀岡市においてプラタナスが植栽されている街路33地点を調査した。

(2) 調査方法

1 地点10本程度の樹を目視によって5段階（A：樹全体の被害葉が100%～76%、B：同75%～51%、C：同50%～26%、D：同25%～1%、E：0%）で被害程度を判断し、 $((nA \times 4 + nB \times 3 + nC \times 2 + nD) / \text{全調査樹} \times 4) \times 100$ によって被害度を算出した。

3. 結果の概要

(1) 京都市域

- ① 調査した樹の70%で被害が確認された（2008年は75%、2007年は94%、2006年は97%）。市域全体の被害度は、2006年から減少してきている。これは、調査時期が早くなったためと、本種が発生してから時間が経過し、街路樹管理の担当部署によって早期に防除されたためと考えられる。
- ② 調査地点別では、烏丸通東（高辻→南）、烏丸通東（四条→北）、外環状線北（府道淀守口→東）、七条通南（新千本→西）、西大路通東（六角→南）七本松通西（花屋町→リサーチP前）で、被害度50以上の値であった。
- ③ プラタナス樹全体では、街路によって違いはあるもの、2009年の被害程度Aの樹は6%、Bは11%、Cは20%、Dは32%、Eは31%であった（2008年はそれぞれ、8%、10%、23%、35%、24%、2007年はそれぞれ、14%、24%、34%、22%、6%、2006年は51%、17%、12%、17%、3%）。

(2) 京都市域外

向日市、亀岡市で被害が確認された。亀岡市では、被害度が増加傾向である。

表1 2009年(8月3日)プラタナス街路樹被害程度

	通り名	調査場所 調査サイド(調査始点→調査方向)	被害程度別樹数					被害度	2008年	2007年	2006年	
			A	B	C	D	E		7,8月	8,9月	10月	
京都市域	今出川通(北白川付近)	南(北白川→西)	1	2	2	1	4	37.5	40.0	35.0	47.5	
	今出川通	南(京大工学部前B S→西)	0	0	4	3	3	27.5	35.0	62.5	47.5	
	二条通	北(川端→東)	0	0	4	4	2	30.0	32.5	52.5	65.0	
	四条通	南(大宮→西(壬生川手前3本目))	0	0	0	5	5	12.5	37.5	42.5	98.8	
	四条通	北(御前→東)	0	2	2	5	1	37.5	37.5	52.5	98.8	
	七条通(西大路~七本松)	南(新千本→西)	2	1	3	4	0	52.5	30.0	65.0	100.0	
	八条通	南(烏丸→西)	0	0	1	3	6	12.5	9.4	50.0	45.0	
	東山通	西(丸太町→北) 9本	0	0	0	4	5	11.1	27.3	29.5	—	
	東山通	西(今出川→北)	1	1	3	1	4	35.0	22.5	50.0	—	
	東山通(元田中付近)	西(元田中踏切→北)	0	1	0	5	4	20.0	30.0	42.5	85.0	
	烏丸通	東(七条→南)	0	0	1	4	5	15.0	17.5	60.0	—	
	烏丸通	西(新花屋町→北)	0	1	0	1	8	10.0	12.5	25.0	49.2	
	烏丸通	西(高辻→南)	1	0	0	3	6	17.5	47.5	92.5	49.2	
	烏丸通	東(高辻→南)	2	3	2	3	0	60.0	100.0	62.5	49.2	
	烏丸通	東(四条→北)	5	2	1	1	1	72.5	80.0	95.0	59.1	
	烏丸通	東(丸太町→南)	0	1	3	2	4	27.5	20.0	57.5	59.1	
	七本松通	東(松原→南)						—	—	75.0	100.0	
	七本松通	東(リサーチP前→南)	0	1	4	5	0	40.0	64.3	78.6	100.0	
	七本松通	西(花屋町→リサーチP前)	0	4	2	4	0	50.0	42.5	87.5	100.0	
	西大路通	西(九条→北)	1	0	2	2	5	25.0	20.0	72.5	97.5	
	西大路通	東(七条→南)	0	1	2	5	2	30.0	17.5	35.0	91.7	
	西大路通	西(松原→北)	0	3	1	3	3	35.0	37.5	45.0	87.5	
	西大路通	東(六角→南)	2	2	2	3	1	52.5	45.0	67.5	87.5	
	西大路通	東(太子道→南)	1	0	3	3	3	32.5	27.5	40.0	86.3	
	葛野大路	東(四条→南)	1	3	2	1	3	45.0	22.5	45.0	87.5	
	深草名神高架沿い	北(竹田出橋→東)	0	1	2	0	7	17.5	20.0	25.0	40.0	
	24号線	西(観月橋北詰→北) 9本	0	1	2	3	3	27.8	17.5	42.5	33.8	
	24号線	東(丹波橋通→北) 8本	0	0	0	7	1	21.9	45.0	52.5	33.8	
	醍醐(新奈良街道)	東(信号→南)	0	1	3	3	3	30.0	32.5	47.5	—	
	外環状線	北(府道淀守口→東)	1	2	6	1	0	57.5	55.0	65.0	77.5	
山科(外環状線)	西(1号越えて信号1つ目→西友前)	0	0	1	6	3	20.0	32.5	32.5	—		
2009年京都市被害樹合計			18	33	58	95	92	32.3	—	—	—	
2008年京都市被害樹合計			23	30	69	106	73	35.4	—	—	—	
2007年京都市被害樹合計			43	77	108	69	18	54.6	—	—	—	
2006年京都市被害樹合計			176	59	41	57	10	74.3	—	—	—	
京都市域外	向日市(外環状線)	北(一文橋→東) (全樹剪定済)	0	0	7	3	0	42.5	65.0	50.0	22.5	
	向日市(市役所付近)	北(市役所角→東)	0	0	1	6	3	20.0	12.5	12.5	—	
	福知山市(9号線)	北行(長田野高架下→福知山)						—	7.5	10.0	0.0	
	亀岡市(つっじヶ丘)	公園信号(学校→下り方向) 12本	2	4	6	0	0	66.7	41.7	22.5	0.0	
	2009年京都市以外の被害樹合計			2	4	14	9	3	44.5	—	—	—
	2008年京都市以外の被害樹合計			1	6	8	11	13	31.4	—	—	—
2007年京都市以外の被害樹合計			0	2	7	18	13	23.8	—	—	—	

1 地点10本程度の樹を目視によって5段階(A:樹全体の被害葉が100%~76%、B:同75%~51%、C:同50%~26%、D:同25%~1%、E:0%)で被害程度を判断し、 $(nA \times 4 + nB \times 3 + nC \times 2 + nD) / (nA \times 4 + nB \times 3 + nC \times 2 + nD) / (全調査樹 \times 4) \times 100$ によって被害度を算出した。

4. 結果の要約

2009年のプラタナス街路樹被害は、京都市内で調査樹の70%、京都市以外の市町村で調査樹の91%に被害が確認された。京都市域の被害は低下したが、亀岡市の被害は増加してきている。

[キーワード] プラタナスグンバイ、プラタナス街路樹、被害度

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

本種の防除方法の検討

6. 結果の発表、活用

第54回日本応用動物昆虫学会小集会で報告

実施課題名：夏期におけるプラタナスグンバイによる被害と樹皮裏虫数の関係

担当部署名：京都防除所

担当者名：上山 博

協力分担：なし

1. 目的

2006年10月に京都市内のプラタナスで侵入害虫プラタナスグンバイ *Corythucha ciliate* (Say)の発生が確認された。本種は、プラタナスの葉裏に生息し、成虫及び幼虫が葉を吸汁することにより葉を脱色させ、加害が激しい場合はプラタナスの樹冠部全体を白化させ、美観を著しく損ねている。また本種は、成虫がプラタナスに隣接した住宅のテラスに干した洗濯物や布団に飛来するため不快害虫となっている。これまでの調査から、本種はプラタナスの鱗片状の樹皮裏で越冬することを確認しているが、樹によっては、夏期にも樹皮裏に移動し集団を形成することが見られる。

そこで、夏場での樹の状態と樹皮裏での本種の状況確認し、生態を解明することによって防除対策の資料とする。

2. 方法

(1) 2009年9月7日に京都府亀岡市つつじヶ丘のプラタナス街路樹のうち、目視によってプラタナスグンバイによる被害が大きい樹と少ない樹をそれぞれ2本ずつ選び、被害の状況をデジタルカメラ (FUJIFILM FinePix F406) で撮影した。

なお、目視による被害程度も(4)で述べた被害分布調査の基準で記録した。

(2) 撮影した樹の樹高1～2mの部位にある鱗片状樹皮を20片(2～5cm四方)を剥がし、樹皮裏の成虫数及び性比を調査した。

(3) 撮影した被害状況をパソコン上で100メッシュの方眼に重ね合わせ、1メッシュ毎の被害程度を5段階(A：撮影された画像の1メッシュ当たりの葉面積のうち黄白化した面積が100%～76%、B：同75%～51%、C：同50%～26%、D：同25%～1%、E：0%)で分類し、以下の式によって樹の被害度を算出した。

$$\text{被害度} = ((nA \times 4 + nB \times 3 + nC \times 2 + nD) / \text{全調査樹} \times 4) \times 100$$

3. 結果の概要

(1) プラタナス樹の被害を目視による被害程度とデジカメによる被害度によって確認したところ、目視による被害程度がDの樹No. 1と2のデジカメによる被害度は、それぞれ0.23、0.22、目視による被害程度がBの樹No. 3と4のデジカメによる被害度は、それぞれ0.54、0.89で、目視とデジカメによる被害判断は、ほぼ一致していた。

(2) 被害が軽微な樹No. 1と2の樹皮裏成虫は1片当たりの平均が0.95、10.35匹、被害が甚大な樹No. 3と4の樹皮裏成虫は1片当たりの平均虫数が32.50、26.95匹で、被害程度が大きい樹で樹皮裏成虫数が多くなった。

(3) 樹皮裏成虫の性比は、樹によってバラツキはあるが雄成虫の比率が、22.2%から47.2%でいずれも雄の方が少なかった。

第1表 夏期におけるプラタナスグンバイによる被害と樹皮裏虫数

樹No.	樹の被害		樹皮裏成虫			
	目視(被害程度)	デジカメ(被害度)	合計虫数	1片当たり平均虫数	性比	
1	D	0.23	19	0.95	♂ 4	♀ 14
2	D	0.22	207	10.35	♂ 27	♀ 37
3	B	0.54	650	32.50	♂ 31	♀ 77
4	B	0.89	539	26.95	♂ 57	♀ 68

デジカメ(被害度) A:撮影された画像の1メッシュ当たりの葉面積のうち黄白化した面積が100%~76%、B:同75%~51%、C:同50%~26%、D:同25%~1%、E:0%)で分類し、被害度= $(nA \times 4 + nB \times 3 + nC \times 2 + nD) / \text{全調査樹} \times 4) \times 100$ で算出した。

4. 結果の要約

- (1) プラタナス樹の目視とデジカメによる被害判断はほぼ一致していた。
- (2) 樹皮裏成虫密度は、被害が軽微な樹の方が被害が甚大な樹の密度に比較すると、低かった。
- (3) 樹皮裏の成虫の性比は雄の方が少なかった。

[キーワード] プラタナスグンバイ、プラタナス街路樹、夏期被害、樹皮

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

夏期におけるプラタナスグンバイによる被害が大きい樹に寄生する本虫が、樹皮裏に移動し成虫密度が高くなる原因の解明。

6. 結果の発表、活用

実施課題名：プラタナスグンバイに対するチアメトキサム剤の効果試験
担当者名：上山 博、川戸直子（京都農技セ）
協力分担：井筒屋化学産業株式会社

1. 目的

2006年10月に京都市内のプラタナスで侵入害虫プラタナスグンバイ *Corythucha ciliate* (Say)の発生が確認されて以降、プラタナス葉を成虫及び幼虫が吸汁することにより脱色させ景観を悪化させる。また本種は、成虫がプラタナスに隣接した住宅のテラスに干した洗濯物や布団に飛来するため不快害虫となっている。本種の防除薬剤に関しては、現在合計3剤が登録されている。このうちチアメトキサム剤については、昨年の現地試験の結果、防除効果が非常に高く、また長期に及んだことから、本年は、標準量の半量処理による効果を検討する。

2. 方法

- (1) 試験場所：京都府京都市下京区中堂寺庄ノ内町
- (2) 樹種・供試樹数・樹高：街路樹プラタナス・6本・樹高約10m
- (3) 試験区：1区1本、3反復（チアメトキサム液剤200ml/m³注入処理樹*：3本、無処理樹：3本）

*チアメトキサム液剤（60ml容器入り）の使用量は、幹材積1m³当り400mLを標準としており、簡易的に樹幹部の直径から注入液量（使用本数）を決定している。今回の処理では、樹幹部直径を測定した結果から必要とされる標準使用本数を求め、その半分の本数を注入した。

(4) 処理日及び処理量

- ① 処理日：2009年6月9日
- ② 処理方法：チアメトキサム液剤（成分：チアメトキサム4%）：地上80cmの幹周囲に、電動ドリルを用いて穴（孔径4mm～6mm、孔深5cm程度）を斜め下方に開け、上述の基準によって原液注入した。

(5) 調査方法：各区任意の10葉（地上約3m）を対象にプラタナスグンバイ成虫の寄生数を調査した。防除効果は、処理3日から55日後の合計虫数の補正密度指数： $\left(\frac{\text{処理区の日後虫数}}{\text{処理区の前処理虫数}}\right) \times \left(\frac{\text{無処理区の前処理虫数}}{\text{無処理区の日後虫数}}\right) \times 100$ から判定した。調査は処理直前（6月9日）、処理3日後（6月12日）、処理9日後（6月18日）、処理24日後（7月3日）、処理44日後（7月23日）及び処理55日後（8月3日）の合計6回。

3. 結果の概要

基準量の半量である200ml/m³処理区の虫数は、調査日による差が著しく、無処理区と比較して処理3日後（補正密度指数23）、処理9日後（同11）および処理44日後（同9）の密度は低かったが、処理24日後（同1020）および処理55日後（同100）の密度の低下は認められなかった。処理3日後～処理55日後のいずれの調査日においても、処理区で寄生が確認された。

以上のことから、半量処理の効果は判然とせず、また、いずれの調査日でも寄生が確認されたことから実用性は低いと考える。なお、葉害は認められなかった。

表1 チアメトキサム液剤半量処理によるプラタナスグンバイ寄生虫数

供試薬剤	処理方法	区制	処理直前	処理3日後		処理9日後		処理24日後		処理44日後		処理55日後	
			6月9日	6月12日	6月12日	補正密度 指数	6月18日	補正密度 指数	7月3日	補正密度 指数	7月23日	補正密度 指数	8月3日
アトラック液剤	200ml/m ³	I	46	29		7		36		5		73	
		II	0	0		0		0		0		0	
チアメトキサム	原液 4% 樹幹注入	III	92	9		2		8		1		—	
		合計	138	38	23	9	11	44	1020	6	9	73	100
無処理		I	0	0		9		0		5		24	
		II	63	55		13		2		0		10	
		III	1	23		16		0		26		—	
		合計	64	78	100	38	100	2	100	31	100	34	100

補正密度指数 = ((処理区の○日後虫数 / 処理区の処理前の虫数) × (無処理区の処理前の虫数 / 無処理区の処理○日後の虫数)) × 100

(参考)

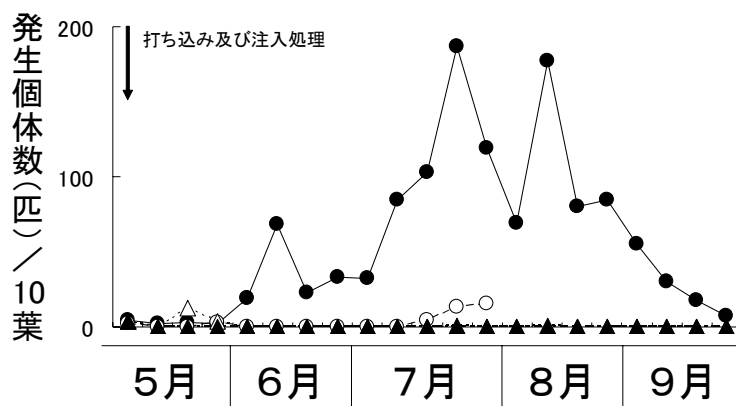


図1 各処理樹におけるプラタナスグンバイ成・幼虫数の季節的推移
▲:チアメトキサム600ml/m³, △:チアメトキサム400ml/m³, ○:アセフェート, ●:無処理区

徳丸ら (2008)

4. 結果の要約

京都市内のプラタナスにおいて、チアメトキサム液剤の基準量の半量処理によるプラタナスグンバイに対する防除効果試験を行った。

この結果、半量処理では、本種に対する防除効果は判然とせず、いずれの調査日でも寄生が確認されたことから実用性は低い。

[キーワード] プラタナスグンバイ、チアメトキサム、半量、防除

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

6. 結果の発表、活用等 (予定を含む)

特になし。

研究課題:チアメキサム剤処理後の緑化樹葉中のチアメキサム、クロチアニジンの残留調査
担当者名:川戸 直子(京都農技セ)、上山 博
協力分担:なし

1. 目的

2006年から京都府内でプラタナスグンバイによる緑化樹の被害が報告されている。

このため、農作物などに広く使用されているネオニコチノイド系殺虫剤チアメキサムについて、緑化樹害虫防除の実用化検討の一助として、薬剤の飛散がない樹幹注入処理剤において、緑化樹葉中のチアメキサムとその代謝物クロチアニジンの残留性を調査した。なお、昨年、現地試験の結果では防除効果が高く長期に及んだことから、本年は標準量の半量処理による調査を実施した。

2. 方法

- (1) 試料採取地 京都府京都市下京区中堂寺庄ノ内町
- (2) 樹種・供試樹数・樹高 街路樹プラタナス・12本(処理樹各3、無処理樹3)・樹高約12m
- (3) 供試農薬 チアメキサム4.0%液剤(商品名 アトラック液剤)
- (4) 処理日及び処理量 ①2008年5月7日、400mL/m³(3本)、600mL/m³(3本)
②2009年6月9日、200mL/m³(3本)、樹幹注入、1回処理
- (5) 試料採取 高枝切りバサミ等を用いて樹高約3m付近の樹葉約50枚を採取し、試料とした。①処理1年後(6月9日)に実施。
②処理3日後(6月12日)、24日後(7月3日)、44日後(7月23日)に実施。
無処理樹は、処理3日後に併せて採取。
いずれも有姿のまま分析日まで-20℃以下で冷凍保存。
- (6) 分析法 樹葉のホモジナイズ試料にアセトンを加え抽出ろ過、定容。試料の一部を取り、酢酸エチル転溶後、グラファイトカーボンミニカラム、シリカゲルミニカラムで精製し、高速液体クロマトグラフ(HPLC/UV)で定量した。

高速液体クロマトグラフ操作条件

LC:島津製作所製 LC4A(LC20AD)
検出器:島津製作所製
UV:258nm
カラム:L-column ODS(化学物質評価機構)
内径4.6mm、長さ250mm
カラム温度:40℃
注入量:10μL
流速:1.0mL/min
移動相:アセトニトリル:水=20:80
保持時間:チアメキサム 7.8min、クロチアニジン 10.7min
データ処理装置:クロマトパックCR-7A Plus

3. 結果の概要

- (1) 無処理区試料を用いた添加回収試験では、回収率はいずれも70~120%の範囲内であった(表1)。
- (2) プラタナス樹葉試料では、シリカゲルミニカラムを用いてチアメキサムとクロチアニジンを分離精製する方法が効果的であった。
- (3) チアメキサム及びクロチアニジンの残留濃度(平均値)は、無処理樹では定量限界値未満であった。
- (4) 昨年防除効果の高かった400mL/m³、600mL/m³処理樹の処理1年後に採取した樹葉の残留濃度は、600mL/m³の処理樹1本の樹葉から平均2.3ppmのチアメキサムを確認したが、その他の処理樹の残留濃度は定量限界値(チアメキサム0.5ppm、クロチアニジン1ppm)未満であった。
- (5) チアメキサム剤の標準量の半量処理樹では、処理44日後までチアメキサム及びその代謝物クロチアニジンの残留を確認した(図2)。

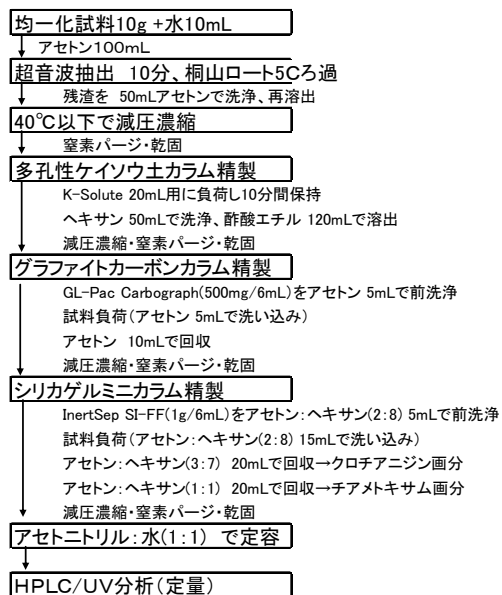


図1 チアメトキサム、クロチアニジン分析フロー

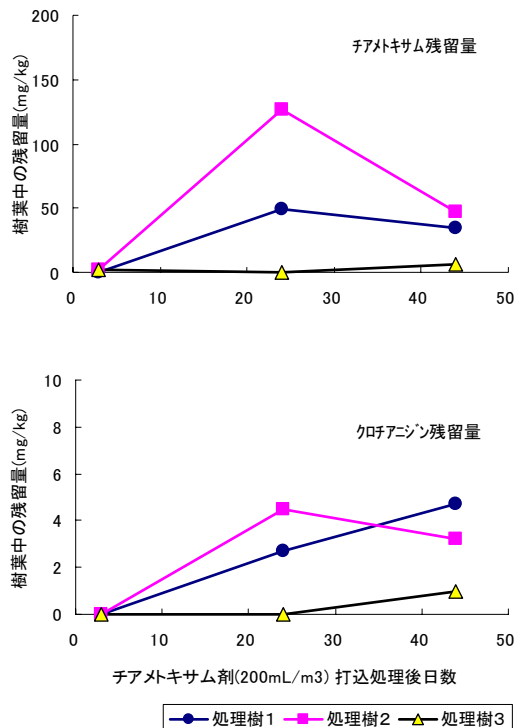


図2 チアメトキサム剤(標準量の半量)処理後の樹葉中の農薬残留量の推移

表1 添加回収試験

	添加濃度 (mg/kg)	添加回収率(%)			平均 (%)	変動係数 (%)
チアメトキサム	2.5	103	100	99	101	2
クロチアニジン	2.5	104	98	96	99	4

4. 結果の要約

添加回収試験は70~120%の回収率に収まった。

チアメトキサム剤 600mL/m³ の処理樹 3本のうち1本のプラタナス樹葉中で、処理1年後にチアメトキサムの残留を確認した。(定量限界値:チアメトキサム 0.5ppm、クロチアニジン 1ppm)

チアメトキサム剤の標準量の半量(200mL/m³)処理後のプラタナス樹葉中で、処理44日後までチアメトキサム及びクロチアニジンの残留を確認した。

[キーワード] 農薬分析、チアメトキサム、クロチアニジン、緑化樹、プラタナス

5. 今後の問題点と次年以降の計画

特になし

6. 結果の発表、活用等

未定

実施課題名：病害虫防除所が発信する情報の活用状況

担当者名：上山 博

協力分担：各農業改良普及センター普及指導員、病害虫調査協力員

1. 目的

京都府病害虫防除所が発信する情報は、主として病害虫発生予察情報、技術情報として防除所ニュースおよび巡回調査の結果をまとめた調査速報と病害虫発生予察月報である。これらの情報を普及センターやJA等の関係機関に発信している（調査速報と予察月報は普及センターおよび研究機関のみ）。また、発信情報の一部をホームページ、テレホンサービスによっても提供している。

これまで、当所が発信している情報の活用状況については調査されていない。そこで、普及センター職員（以下「普及指導員」）、JA営農指導員で地域における病害虫発生状況調査等に協力していただいている病害虫調査協力員（以下「協力員」）を対象にアンケートを実施し活用状況を調査した。

2. 調査方法

アンケートは2007年12月に、普及指導員119名に対しては電子メールを、協力員23名に対してはFAXを用いて配信・回収した。そのうち、回答期限内に返信されたものを有効回答とした。

調査（設問）内容は、普及指導員に対しては当所が発信している情報の認知程度と活用程度、活用方法を、協力員に対しては、発生予察情報および防除所ニュースの活用程度と活用方法とした。

3. 結果の概要

有効回答は、普及指導員79（回収率66%）、協力員19（同83%）であった。

（1）発信された情報に対する普及指導員の認知程度

発生予察情報は回答者全員が認知し、防除所ニュースおよび発生予察月報についても、96.2%が認知していた。一方、調査速報およびホームページの認知割合はそれぞれ70.9%、57.0%、テレホンサービスは26.6%であった（第1表）。特に認知割合が低いホームページとテレホンサービスについては、発信情報の活用程度および活用方法の分析から除外した。また、年齢による各情報の認知割合に明確な違いは認められなかったため、分析に当たっては、年齢を考慮しなかった。

（2）発信情報の活用程度

普及指導員に対して、認知している発信情報の活用程度を4段階で尋ね、活用度を算出した（第2表）。この結果、発生予察情報、発生予察月報、防除所ニュース、調査速報の順に活用度が高いことがわかった。

協力員の発生予察情報および防除所ニュースの活用度について、普及指導員と同様に算出したところ、いずれも70前後の高い値であった（第2表）。

普及指導員の発生予察情報および防除所ニュースの活用度は、協力員と比較していずれも低かった。これは、普及指導員には、生産振興に直接携わらない担い手育成や地域振興等を主とした業務とする職員、管理的な業務を担当する職員も調査対象に含まれるためと考えられる。

（3）発信情報の活用方法

発信情報の活用方法を、指導資料として活用される場合を「直接的な活用」、記憶等に留め農家指導の際の情報とされる場合を「間接的な活用」とした。普及指導員についてみると、発生予察情報の直接的な活用割合が他の情報に比較して高かった（第3表）。協力員では、発生予察情報の直接的な活用割合は、普及指導員と同程度であった。しかし、防除ニュースについては、普及指導員と比較すると高い割合であった（第3表）。

第1表 発信された情報に対する普及指導員の認知程度

年齢区分	回答者数	発生予察情報	防除所ニュース	病害虫発生予察月報	調査速報	ホームページ	テレホンサービス
20歳代・30歳代	100.0 (21)	100.0 (21)	95.2 (20)	100.0 (21)	76.2 (16)	61.9 (13)	14.3 (3)
40歳代	100.0 (44)	100.0 (44)	97.7 (43)	93.2 (41)	65.9 (29)	59.1 (26)	31.8 (14)
50歳代	100.0 (12)	100.0 (12)	91.7 (11)	100.0 (12)	75.0 (9)	50.0 (6)	25.0 (3)
年齢未回答	100.0 (2)	100.0 (2)	100.0 (2)	100.0 (2)	100.0 (2)	0.0 (0)	50.0 (1)
全体	100.0 (79)	100.0 (79)	96.2 (76)	96.2 (76)	70.9 (56)	57.0 (45)	26.6 (21)

数値は年齢別の回答者数に対する割合を、()内の数値は回答者数を表す。

第2表 発信情報の活用程度

	発生予察情報		防除所ニュース		病害虫発生予察月報*	調査速報*
	普及指導員	調査協力員	普及指導員	調査協力員		
毎月活用	4	7	8	6	1	0
しばしば活用	35	9	13	8	31	10
目だけ通している	37	3	50	5	42	40
活用していない・見たことがない・未回答	3	0	8	0	5	29
活用度	50.2	73.7	42.2	68.4	45.1	25.3

活用指数 3:毎月活用
2:しばしば活用
1:目だけ通している
0:活用していない・見たことがない・未回答

活用度 = $100 \times \Sigma(\text{活用指数} \times \text{回答者数}) / (3 \times \text{回答者総数})$

活用度を除く各数値は回答者数を表す。

*は普及指導員のみを対象とした。

第3表 発信情報の活用方法

活用方法	発生予察情報		防除所ニュース		病害虫発生予察月報*	調査速報*		
	普及指導員	協力員	普及指導員	協力員				
直接的な活用	全部または一部をコピーし、農家指導等の資料として配付		2.5 (2)	9.5 (2)	2.9 (2)	10.0 (2)	2.7 (2)	0.0 (0)
	指導資料作成の一部として活用		29.6 (24)	28.6 (6)	17.1 (12)	30.0 (6)	18.9 (14)	9.8 (5)
	小 計		32.1 (26)	38.1 (8)	20.0 (14)	40.0 (8)	21.6 (16)	9.8 (5)
間接的な活用	ファイルを保存するなど整理し、農家指導等の情報としている		6.2 (5)	28.6 (6)	5.7 (4)	25.0 (5)	5.4 (4)	2.0 (1)
	気にかかる部分のみ記憶し、農家指導等の情報としている		60.5 (49)	33.3 (7)	70.0 (49)	35.0 (7)	70.3 (52)	82.4 (42)
	小 計		66.7 (54)	61.9 (13)	75.7 (53)	60.0 (12)	75.7 (56)	84.3 (43)
その他		1.2 (1)	0.0 (0)	4.3 (3)	0.0 (0)	2.7 (2)	5.9 (3)	

複数回答を可とした。数値は情報の種類別の回答総数に対する割合を、()内の数値は回答数を表す。

4. 結果の要約

- (1) 防除所が発信する情報の普及指導員の認知程度は、発生予察情報は全員が認知し、以下、防除所ニュース・発生予察月報、調査速報、ホームページ、テレホンサービスの順であった。
- (2) 普及指導員の情報活用度は、発生予察情報、発生予察月報、防除所ニュース、調査速報の順に高かった。協力員の発生予察情報および防除所ニュースの活用度は、いずれも普及指導員より高い値であった。
- (3) 発生予察情報は、引用するなど直接的な活用割合が他の情報に比較して高かった。
〔キーワード〕 病害虫防除所、発信情報、情報活用、普及センター、JA、アンケート

5. 今後の問題点と次年度以降の計画

発信する情報のPR等を通じて認知を向上させる必要がある。また、活用方法に応じた効果的な図表を作成するなど、利用しやすい情報づくりの努力が必要である。

6. 結果の発表、活用

関西病虫害研究会報 52号投稿中、第92回関西病虫害研究会で発表予定

IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施

- | | |
|------------------------------|---------|
| 1 国の行う緊急防除（法第17条）への協力 | 本年度該当なし |
| 2 『防除計画』（法第24条）に基づき府が行う防除の指導 | 本年度該当なし |
| 3 府の行う防除（法第29条）の指導等 | 本年度該当なし |

V 情報提供サービスの実施

(I) 情報提供の概要

1 テレホンサービス

- 1) 設置場所及びサービス開始・終了時期
 - (1) 設置場所：病虫害防除所（TEL 0771-23-6442）
 - (2) サービス開始：昭和60年12月
 - (3) サービス終了：平成22年3月
- 2) 情報の概要及び更新時期
 - (1) 内容：地域別・時期別に病虫害の防除対策等の情報を提供
 - (2) 更新時期：毎月月下旬

2 病虫害防除所ホームページ

- 1) 設置場所及びサービス開始時期
 - (1) 設置場所：京都府のホームページ『おこしやす京都』
(アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)
 - (2) サービス開始：平成10年4月
- 2) 情報の概要及び更新時期
 - (1) 内容：
 - ① 病虫害発生予察コーナー
 - ② 病虫害発生状況（フェロモントラップ誘殺数）
 - ③ 巡回調査結果
 - ④ 水稻いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果
 - ⑤ 防除所ってナニ？
 - ⑥ 病虫害ワクワクツアー
 - ⑦ 家庭菜園で見られる病虫害（Web病虫害辞典）
 - (2) 更新時期：毎月下旬及び必要に応じて随時更新

(II) 情報の内容と利用の状況

1 病害虫テレホンサービス（平成21年4月～平成22年3月）

提供期間	平成21年着信度数（20年）	対象作物
平成21年4月	7（2）	水稲、茶、野菜、果樹、ムギ
5月	8（6）	水稲、茶、野菜、果樹、ムギ
6月	5（5）	水稲、茶、野菜、果樹
7月	9（8）	水稲、茶、野菜、果樹、大豆、小豆
8月	5（3）	水稲、茶、野菜、果樹、黒大豆
9月	8（11）	水稲、茶、野菜、果樹、大豆、小豆
10月	5（9）	茶、野菜、黒大豆
11月	3（6）	茶、野菜
12月	7（8）	茶、野菜、果樹
平成22年1月	5（5）	水稲、茶、野菜、果樹
2月	4（7）	水稲、茶、野菜、果樹
3月	10（2）	水稲、茶、野菜、果樹
合計	76（72）	

2 病害虫防除所ホームページ (アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

(1) 京都府ホームページ「おこしやす京都」の防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・掲載日等は表のとおり。

①病害虫発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

②病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）

- ・宇治市、綾部市に設置しているチャノコカクモンハマキ、チャノホソガのフェロモントラップの誘殺数（グラフ）を更新

③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギの調査結果をPDFファイルで掲載

④水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果

- ・アメダスJPPネットを通じて府内8箇所のいもち病の発生を予測されたものを掲載

⑤防除所ってナニ？

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

⑥病害虫ワクワクツアー

- ・農作物の病害虫の生態や防除法などの写真等を常時掲載

⑦家庭菜園で見られる病害虫（Web病害虫辞典）

- ・夏野菜に見られる病害虫の写真を常時掲載

(2) 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

②「各種データ（巡回調査結果、フェロモン誘殺数等）」のコンテンツでは、病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）、巡回調査結果、水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果の各データとリンク

③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第3号	平成21年4月24日
	病害虫発生予報第4号	平成21年5月22日
	病害虫発生予報第5号	平成21年6月26日
	病害虫発生予報第6号	平成21年7月27日
	病害虫発生予報第7号	平成21年8月20日
	病害虫発生予報第8号	平成21年9月29日
	病害虫発生予報第9号	平成21年10月20日
	病害虫発生予報第1号	平成22年3月1日
病害虫発生予報第2号	平成22年3月26日	
注意報	公表なし	
特殊報	発生予察特殊報第1号:イチジクヒトリモドキ	平成21年10月5日
防除所 ニュース	防除所ニュース第2号:斑点米カメムシ類	平成21年7月27日
	防除所ニュース第3号:トビイロウンカ情報	平成21年8月28日
	防除所ニュース第4号:ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガにつ	平成21年9月10日
	防除所ニュース第5号:トビイロウンカ情報	平成21年10月2日
	防除所ニュース第6号:カンザワハダニ情報	平成21年10月23日
	防除所ニュース第7号:ミカントゲコナジラミ発生調査結果	平成21年11月17日
	防除所ニュース第8号:トマト黄化葉巻病	平成21年11月26日
	防除所ニュース第9号:タバコナジラミ	平成21年11月26日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載月日
4月の巡回調査結果(茶、ネギ)	平成21年4月24日
5月の巡回調査結果(水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ)	平成21年5月22日
6月の巡回調査結果(水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ)	平成21年6月26日
7月の巡回調査結果(水稲、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ)	平成21年7月27日
8月の巡回調査結果(水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ)	平成21年8月20日
9月の巡回調査結果(水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ)	平成21年9月29日
10月の巡回調査結果(黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ)	平成21年10月20日

【その他】

種 類	更新月(更新回数)
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ(宇治市)	平成21年4月～11月 (17回)
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ(綾部市)	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ(宇治市)	
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ(綾部市)	
水稲いもち病発生予察システム(BLASTAM)の結果	平成21年6月～8月 (11回)

VI 病害虫調査協力員の活動状況

(I) 病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を23名設置した。

(II) 報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用するとともに、指導資料に活用いただくため協力員にフィードバックした。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月11日	①水稲の品種 ②水稲の苗、田植について ③いもち病の発生（補植用苗と本田） ④その他の作物の目立つ病害虫	20
7月10日	①水稲の生育状況 ②葉いもちについて ③斑点米カメムシ類について ④ウンカについての情報 ⑤その他作物のアブラムシ類の発生と目立つ病害虫	20
8月10日	①水稲の生育状況 ②いもち病について ③斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④ウンカ、コブノメイガ、フタオビコヤガの情報 ⑤その他作物のハスモンヨトウ、アブラムシ類の発生及び目立つ病害虫	21
9月15日	①水稲の生育状況 ②倒伏について ③穂いもちの発生状況 ④早生品種の斑点米等の被害粒の発生状況 ⑤水稲での目立った病害虫 ⑥豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑦その他作物のカメムシ類の発生及び目立つ病害虫	14
11月12日	①水稲について（1等米比率、斑点米の発生状況、カメムシの防除対策等） ②今年度地域で問題となった病害虫及び指導・対応状況 ③防除所からの情報利用について ④その他（防除所への要望、研修会のテーマ等）	15

(III) 協力員研修の概要

植物防疫セミナーへ参加願ひ、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

(1) 開催日 平成21年2月17日

(2) 参加者 26名（うち協力員9名）

(3) 内 容

- ① 基礎講座 ・ 農作物の病害虫と防除の基礎
- ② 実践講座 ・ 平成21年の病害虫等発生状況について
- ・ 地域における農薬適正使用の推進について
- ・ 近年問題となっている病害虫の発生と防除対策について

Ⅶ 会議・講演・研修等の実施

1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
植物防疫企画会議	4月21日	農業総合研究所
プラムポックスウイルスの発生調査の実施に係る説明会	4月16日	近畿農政局
発生予察に関する技術検討会	6月16日	農林水産省
第15回農作物病害虫防除フォーラム	6月17日	農林水産省
農薬担当者会議及び植物防疫担当者会議	7月1日	近畿農政局
近畿ブロック防除所長会議	7月1日	近畿農政局
発生予察事業に関する技術検討会	9月4日	農林水産省
シンポジウム「防除と農薬をめぐる新たな検討課題」	9月11日	日本教育会館
平成21年度近畿中国四国農業試験研究推進会議問題別研究会	10月5～6日	山口県農業試験場
平成21年度東海・近畿地区植物防疫事業検討会	11月12～13日	ルビノ京都堀川
植防全国協議会近畿地区研修会	11月13日	近畿農政局
全国防除所長会議	3月18日	農林水産省
平成21年度近畿中国四国農業試験研究問題別研究会（虫害分科会）	3月2～4日	中国四国農政局
ミカントゲコナジラミ防除対策検討会議	3月5日	名古屋能楽堂
難防除病害虫対策技術検討会（アザミウマ類）	3月8日	中国四国農政局

2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開 催 日	開 催 場 所	講師等
関西病虫害研究会（兵庫大会）	9月11日	兵庫県中央労働センター	上山主査
環境動物昆虫学会（一般講演発表）	11月15日	大阪青山大学	上山主査
営農指導員認定講習会（防除）に係る講義	1月26日	京都JA会館	上山主査
農薬管理指導士養成研修会講師	2月4日	福利厚生センター	上山主査 林田主研
応用動物昆虫学会小集会講演	3月28～29日	千葉大学	上山主査

3 植物防疫に関する職員の研修

月 日	研 修 名	主 催	開催場所	受講者
12月14日 ～17日	病虫害防除所職員等中央研修	農林水産省	横浜市(植物防疫所研修センター)	今井主研

Ⅷ 普及センター等との連携の推進

1 植物防疫セミナーの開催

I P M（総合的病害虫・雑草制御技術）を推進するため、病害虫の基礎知識を踏まえた上で、農薬の適正な使用や天敵などを活用した幅広い防除に関する知識を習得するため、植物防疫セミナーを開催した。

① 開催日 平成21年2月17日

② 参加者 26名（うち普及センター職員7名）

③ 内容

ア 基礎講座 ・農作物の病害虫と防除の基礎

イ 実践講座 ・平成21年の病害虫等発生状況について

・地域における農薬適正使用の推進について

・近年問題となっている病害虫の発生と防除対策について

2 病害虫情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、研究普及ブランド課及び防除所等が病害虫発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病害虫情報共有化シートを設置した。21年度の書き込み件数は下表のとおりである。

	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後	丹後農研	合計
4月	4	1	2	3	2	0	7	0	19
5月	0	6	1	3	3	1	13	1	28
6月	14	9	1	12	5	1	35	6	83
7月	0	8	1	17	3	0	15	0	44
8月	0	5	0	4	1	5	20	0	35
9月	0	8	0	4	0	0	14	0	26
10月	0	1	0	3	1	0	21	0	26
11月	0	0	1	5	0	0	9	0	15
12月～3月	0	0	0	10	2	0	19	0	31

3 調査速報

巡回調査終了直後に、巡回調査ほ場を所管する各農業改良普及センター、各研究所及び本庁関係課に、主立った病害虫の発生状況等を調査速報としてメール配信し、調査結果の速やかな活用を努めた。

4 丹後国営農地におけるチャ赤焼病調査

丹後国営農地において発生している茶赤焼病の発病状況を、4団地6ほ場で冬期（11月～2月の間延7回）に調査し、結果を行政支援システムを活用して掲載することにより、関係公所の情報共有化に努めた。

参考資料

平成21年の気象の概要及び半旬別気象表・グラフ

気象の概要

1 平均気温

2月は期間を通じて平年比高く、1～6月と10月はおおむね平年比高く推移した。前半が平年比高く、後半はおおむね平年並の年であった。

2 降水量

1～2月と7月、11月は平年比多く、4～6月はおおむね平年比少なく、9月は期間を通して平年比少なかった。平年比多い月と少ない月が目立った年であった。

3 日照時間

4月、6月、9～10月、12月はおおむね平年比多かった。7月と11月はおおむね平年比少なかった。全般的には、平年比多い年であった。

気象経過（平成21年1～12月、京都）

月	平均気温(℃)				降水量(mm)				日照時間(h)			
	上旬	中旬	下旬	月間	上旬	中旬	下旬	月間	上旬	中旬	下旬	月間
1	並	並	高	高	並	並	多	多	並	多	並	並
2	高	高	高	高	並	多	多	多	多	並	少	並
3	高	高	低	高	並	多	少	並	少	並	多	並
4	並	高	低	高	少	少	多	少	多	多	並	多
5	並	高	並	高	並	少	並	少	少	多	少	並
6	低	高	高	高	少	少	並	少	少	多	多	多
7	並	高	低	並	少	並	多	多	少	並	少	少
8	並	並	低	低	多	少	少	並	少	多	少	並
9	並	低	高	並	少	少	少	少	多	多	並	多
10	並	並	高	高	多	少	少	並	少	多	多	多
11	並	並	高	並	多	多	並	多	並	少	並	少
12	高	並	並	並	多	多	並	並	並	並	多	多

〔京都地方気象台発行「京都府の気象」より作成〕

平 年 値 最高・最低気温、降水量 ……1971～2000年の平均値

” 平均気温 ……1993～2004年の平均値

” 日照時間 ……1971～1996年の平均値

京都府農業総合研究所(亀岡市)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	1	7.8	8.5	0.9	-1.0	3.5	3.7	2.5	9.8	8.2	14.7
	2	9.0	8.5	-0.1	-0.9	3.6	3.5	7.5	7.1	20.5	16.1
	3	6.0	7.5	-2.4	-1.3	1.2	3.8	2.0	8.2	26.5	15.9
	4	9.8	8.0	-2.2	-1.7	2.8	3.6	7.0	8.6	19.4	16.7
	5	7.0	7.3	-0.7	-1.5	3.1	2.6	16.0	8.9	15.8	17.1
	6	11.8	7.3	-0.4	-2.2	5.2	2.2	51.5	8.7	23.1	21.4
	平均・計		8.7	7.8	-0.8	-1.5	3.3	3.2	86.5	51.2	113.5
2	1	8.8	6.8	-0.3	-2.5	3.9	2.1	4.0	9.3	23.6	17.6
	2	10.4	7.8	-2.2	-2.0	3.8	3.0	5.5	9.7	32.2	17.4
	3	15.9	8.7	2.3	-1.0	8.7	3.4	40.0	8.4	18.9	15.8
	4	7.7	8.5	-0.5	-0.8	3.6	3.6	34.0	16.7	16.0	15.8
	5	9.6	8.2	1.5	-0.6	5.9	4.5	54.5	17.2	8.3	18.2
	6	10.8	9.4	2.8	-1.1	6.6	5.2	4.5	8.8	17.9	13.2
	平均・計		10.5	8.2	0.4	-1.3	5.3	3.5	142.5	70.1	116.9
3	1	10.3	9.7	0.7	-0.4	5.1	5.0	5.0	14.5	20.9	18.5
	2	13.3	11.1	3.5	0.1	8.0	5.6	24.0	11.9	20.3	21.8
	3	11.6	11.5	-0.7	0.6	5.3	6.3	62.0	16.2	23.9	22.2
	4	19.6	12.3	3.3	1.3	11.4	7.4	4.5	17.3	33.9	22.0
	5	14.7	12.5	2.4	2.3	8.3	7.9	11.5	21.9	25.7	19.7
	6	12.5	14.5	-0.3	3.2	5.8	9.1	0.0	24.9	42.9	26.2
	平均・計		13.6	12.0	1.4	1.2	7.3	7.0	107.0	106.8	167.6
4	1	14.3	15.7	2.3	3.4	7.8	9.6	12.0	14.2	29.2	28.8
	2	23.5	17.1	2.3	5.6	12.3	11.4	0.0	28.4	54.8	24.4
	3	23.3	18.3	8.0	6.0	15.6	12.1	14.5	24.6	35.2	25.1
	4	22.6	19.4	7.1	7.0	14.9	14.2	0.5	17.3	26.5	27.1
	5	19.3	20.3	8.4	7.8	14.3	15.0	51.0	17.5	21.4	27.4
	6	18.8	21.8	4.4	8.9	11.0	15.3	2.5	20.0	36.0	29.9
	平均・計		20.3	18.8	5.4	6.5	12.7	12.9	80.5	122.1	203.1
5	1	23.4	21.6	9.8	10.1	16.4	17.2	2.5	21.6	27.3	24.9
	2	23.4	23.1	11.8	10.2	16.9	17.8	31.5	20.3	21.1	31.4
	3	25.6	23.0	8.4	11.7	17.2	17.8	9.0	37.6	48.9	25.5
	4	25.0	23.3	12.2	11.8	18.2	18.1	14.0	28.4	26.2	28.0
	5	23.2	24.4	14.9	12.7	18.8	18.9	6.0	15.6	10.8	30.5
	6	25.6	25.2	14.6	13.9	19.7	19.9	30.5	20.1	23.0	34.2
	平均・計		24.4	23.5	12.0	11.8	17.9	18.3	93.5	143.7	157.3
6	1	25.4	26.1	15.1	15.2	20.1	20.4	9.5	22.7	24.3	29.5
	2	24.5	26.3	16.7	15.9	19.8	20.9	7.0	29.9	9.0	25.3
	3	28.4	26.5	15.1	16.9	21.5	21.5	4.5	19.9	34.2	23.7
	4	30.2	26.7	17.2	17.9	23.2	22.6	2.0	38.3	35.7	19.7
	5	31.2	26.4	21.3	18.7	25.2	22.5	47.0	43.6	21.1	15.7
	6	30.8	27.4	18.9	19.5	24.6	23.9	38.0	54.3	20.1	17.6
	平均・計		28.4	26.6	17.4	17.4	22.4	22.0	108.0	208.7	144.4

2005年4月1日以降、ジョルダン式日照計から太陽電池式日照計による観測方式に変更

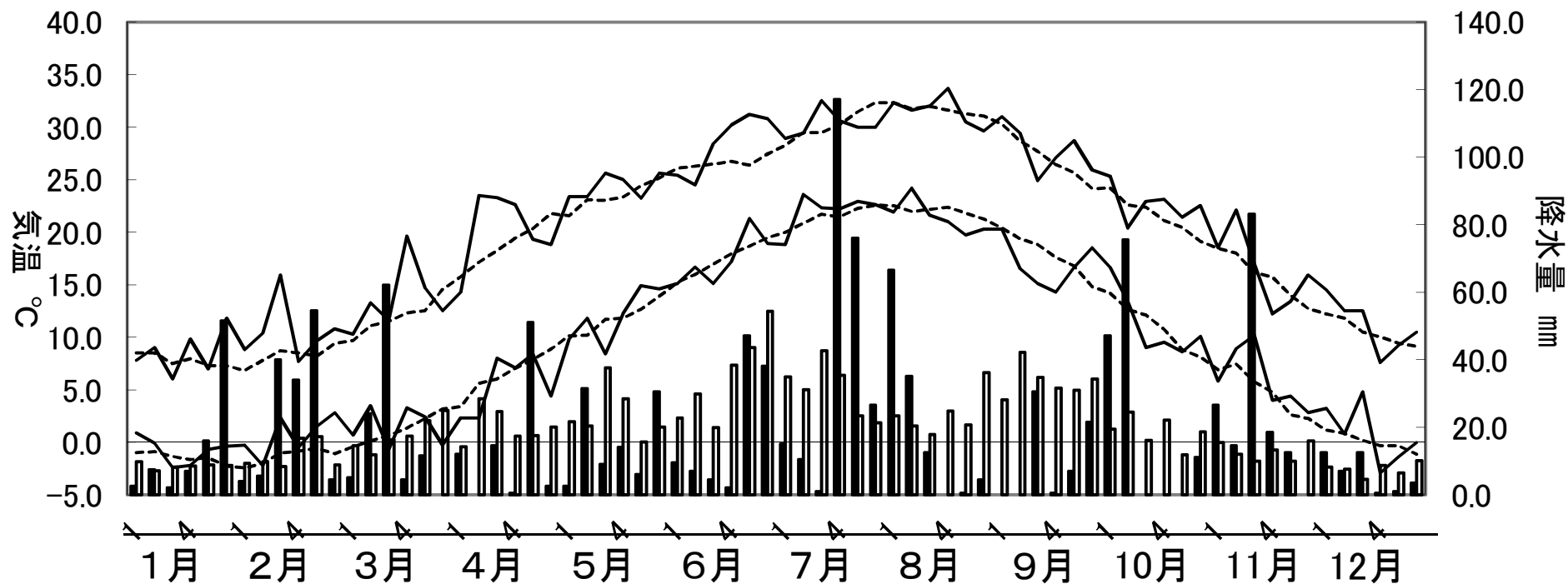
平 年 値 最高・最低気温、降水量 ……1971～2000年の平均値

” 平均気温 ……1993～2004年の平均値

” 日照時間 ……1971～1996年の平均値

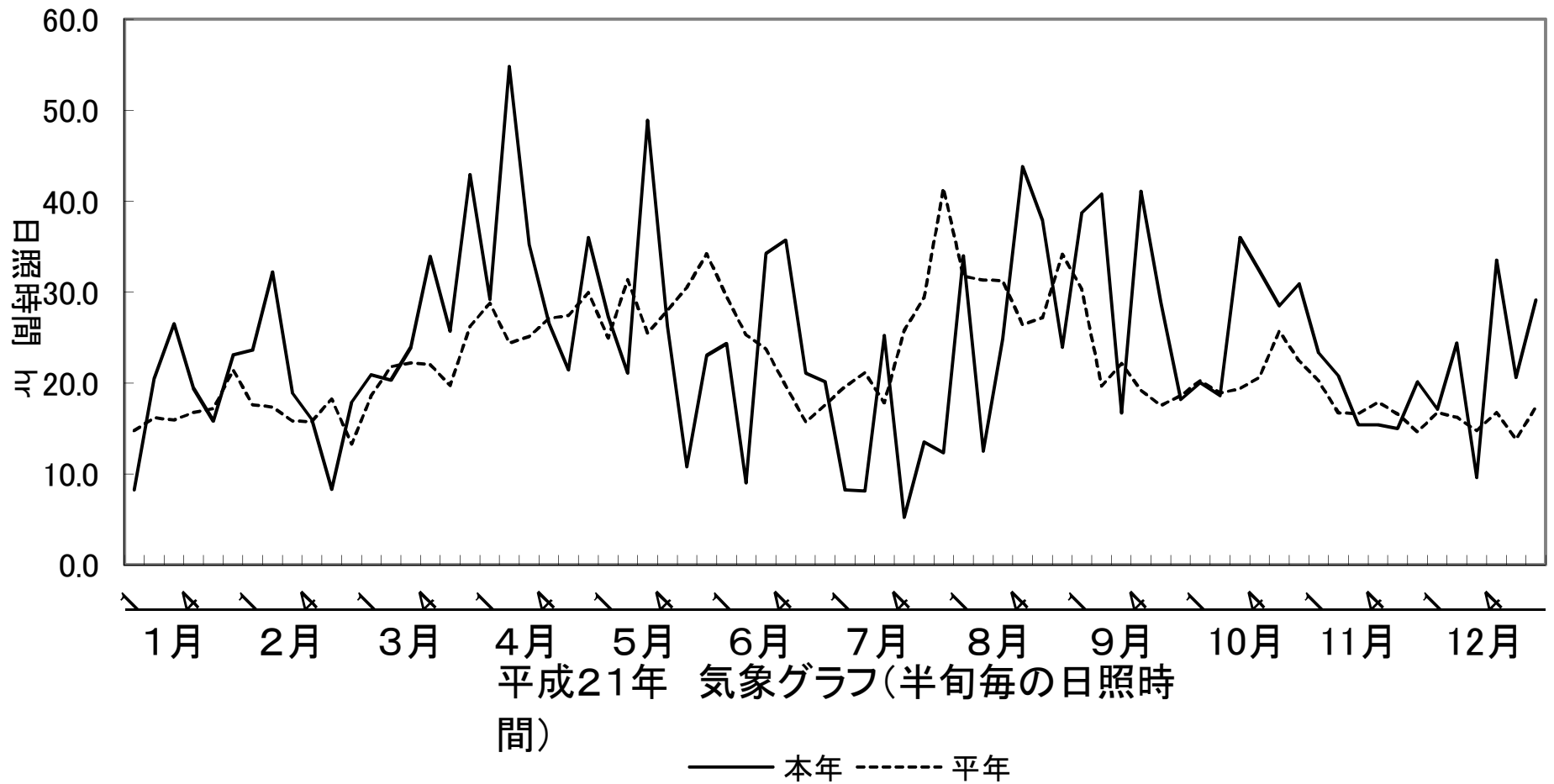
京都府農業総合研究所(亀岡市)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7	1	28.9	28.2	18.8	20.0	23.3	25.0	15.0	34.9	8.2	19.6
	2	29.4	29.5	23.6	20.8	26.1	25.3	10.5	31.1	8.1	21.1
	3	32.5	29.4	22.3	21.7	27.2	25.6	1.0	42.6	25.2	17.8
	4	30.6	30.2	22.2	21.5	25.7	25.6	117.0	35.3	5.2	25.7
	5	30.0	31.5	22.9	22.2	25.6	27.2	76.0	23.3	13.5	29.4
	6	30.0	32.3	22.6	22.6	25.6	27.3	26.5	21.3	12.3	41.4
平均・計		30.2	30.3	22.1	21.5	25.6	26.0	246.0	188.5	72.5	155.2
8	1	32.3	32.3	21.9	22.5	26.3	27.7	66.5	23.4	34.0	31.7
	2	31.6	31.8	24.2	21.9	27.3	27.3	35.0	20.3	12.5	31.3
	3	32.0	31.9	21.6	22.2	26.3	26.6	12.5	17.8	24.8	31.3
	4	33.7	31.6	21.0	22.4	26.8	26.8	0.0	24.8	43.8	26.4
	5	30.5	31.3	19.7	21.8	24.4	26.0	0.5	20.7	37.9	27.2
	6	29.6	31.1	20.3	21.2	24.3	25.8	4.5	36.2	23.9	34.2
平均・計		31.6	31.6	21.4	22.0	25.8	26.7	119.0	143.4	176.9	182.0
9	1	31.0	30.3	20.3	20.4	25.0	24.7	0.0	28.1	38.7	30.3
	2	29.4	28.7	16.5	19.3	22.2	24.0	0.0	42.2	40.8	19.6
	3	24.9	27.7	15.1	18.8	19.4	23.7	30.5	34.7	16.7	22.2
	4	27.1	26.4	14.3	17.6	20.3	22.7	0.5	31.6	41.1	19.2
	5	28.7	25.6	16.6	16.8	21.8	20.9	7.0	31.0	28.8	17.5
	6	25.9	24.2	18.5	14.8	21.9	19.7	21.5	34.3	18.2	18.6
平均・計		27.8	27.1	16.9	18.0	21.8	22.6	59.5	201.8	184.3	127.4
10	1	25.3	24.2	16.6	14.2	20.2	19.0	47.0	19.5	20.0	20.2
	2	20.4	22.6	13.4	12.6	16.5	17.5	75.5	24.4	18.6	18.9
	3	22.9	22.4	9.0	12.1	14.7	17.7	0.0	16.0	36.0	19.4
	4	23.1	21.1	9.5	10.7	15.6	15.6	0.0	22.1	32.3	20.6
	5	21.4	20.4	8.6	8.8	14.6	14.8	0.0	11.8	28.5	25.7
	6	22.5	19.1	10.1	8.1	14.9	13.4	11.0	18.7	30.9	22.4
平均・計		22.6	21.5	11.2	11.0	16.0	16.2	133.5	112.5	166.3	127.2
11	1	18.5	18.5	5.8	6.9	10.7	12.6	26.5	15.5	23.3	20.3
	2	22.1	18.0	8.9	7.4	13.7	12.0	14.5	12.0	20.8	16.7
	3	17.0	16.2	10.2	5.7	13.6	11.7	83.0	10.0	15.4	16.6
	4	12.2	15.7	4.0	4.7	7.7	9.8	18.5	13.2	15.4	17.9
	5	13.4	14.0	4.4	2.6	8.3	8.3	12.5	9.9	15.0	16.6
	6	15.9	12.7	2.8	2.3	8.3	8.1	0.0	15.9	20.1	14.6
平均・計		16.5	15.8	6.0	4.9	10.4	10.4	155.0	76.5	110.0	102.7
12	1	14.5	12.2	3.2	1.1	7.8	7.5	12.5	8.2	17.1	16.8
	2	12.5	11.8	0.8	0.9	6.4	5.8	7.0	7.5	24.4	16.2
	3	12.5	10.5	4.8	0.2	8.1	5.0	12.5	4.5	9.6	14.7
	4	7.6	10.0	-2.9	-0.3	1.9	5.0	0.5	8.7	33.5	16.8
	5	9.2	9.4	-1.4	-0.3	3.0	4.0	1.0	6.5	20.6	13.8
	6	10.5	9.1	0.0	-1.1	4.5	3.5	3.5	10.1	29.1	17.3
平均・計		11.1	10.5	0.7	0.0	5.3	5.1	37.0	45.5	134.3	95.6
年平均・計		20.5	19.5	9.6	9.3	14.5	14.6	1368.0	1470.8	1747.1	1589.3



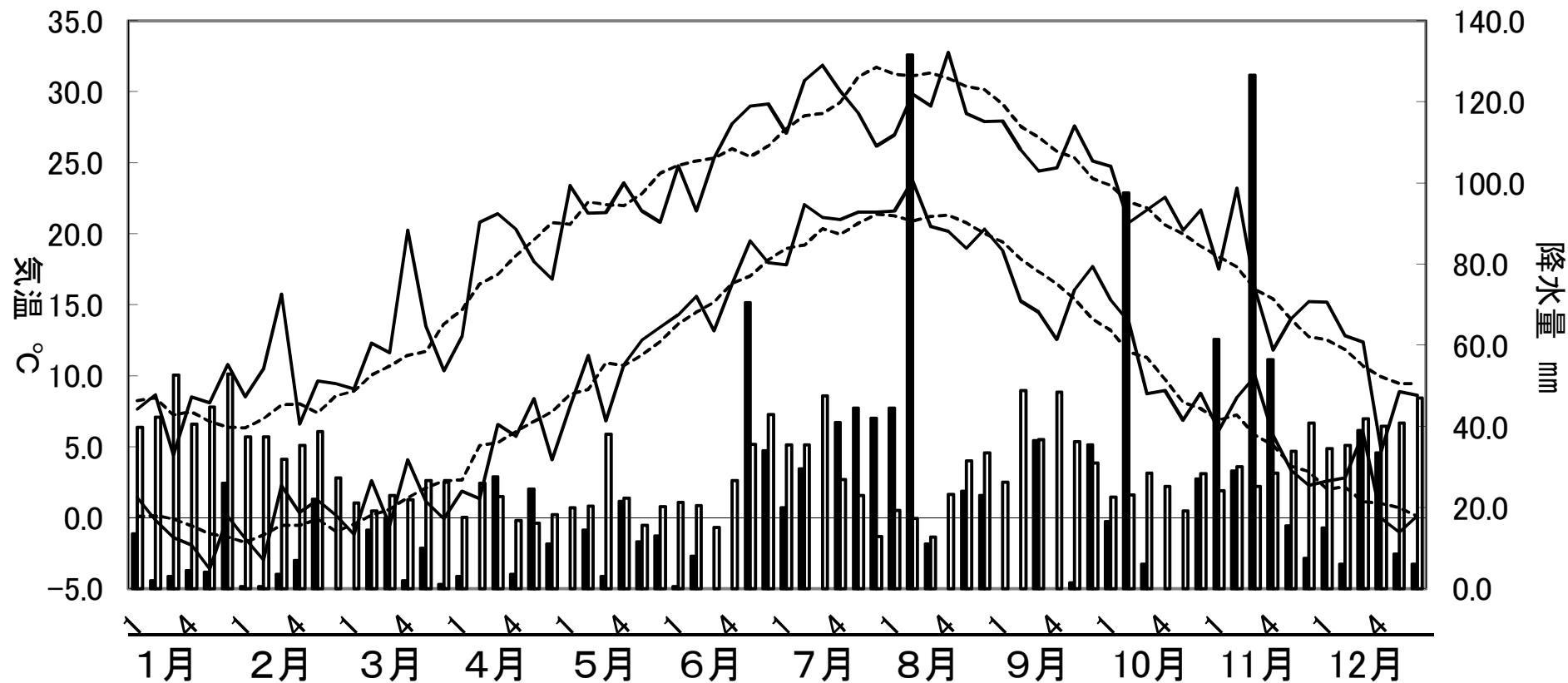
平成21年 気象グラフ(半旬毎の最高、最低気温・降水)

■ 降水量(本年) □ 降水量(平年) — 気温(本年) - - - 気温(平年)



月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	1	7.6	8.2	1.4	0.1	4.5	4.2	13.5	39.8	3.3	8.3
	2	8.6	8.4	-0.2	0.1	4.2	4.3	2.0	42.2	13.0	8.7
	3	4.4	7.2	-1.4	-0.1	1.5	3.6	3.0	52.6	12.6	7.5
	4	8.5	7.4	-1.9	-0.6	3.3	3.4	4.5	40.6	8.3	9.1
	5	8.1	6.8	-3.6	-1.1	2.2	2.8	4.0	44.8	15.1	8.4
	6	10.8	6.4	0.1	-1.4	5.4	2.5	26.0	52.9	20.9	11.3
	平均・計	8.1	7.4	-0.9	-0.5	3.6	3.4	53.0	272.9	73.2	53.2
2	1	8.5	6.3	-1.5	-1.8	3.5	2.3	0.5	37.5	10.4	8.6
	2	10.4	7.0	-3.0	-1.2	3.7	2.9	0.5	37.4	19.9	11.0
	3	15.8	7.9	2.3	-0.5	9.0	3.7	3.5	31.9	14.3	11.4
	4	6.6	8.0	0.4	-0.5	3.5	3.7	7.0	35.3	4.7	11.0
	5	9.6	7.4	1.2	-0.1	5.4	3.6	22.0	38.8	4.9	11.4
	6	9.4	8.6	0.2	-1.0	4.8	3.8	0.0	27.3	13.4	11.4
	平均・計	10.1	7.5	-0.1	-0.8	5.0	3.3	33.5	208.1	67.6	64.8
3	1	9.1	8.9	-1.2	-0.5	4.0	4.2	0.0	21.1	13.3	15.4
	2	12.3	10.1	2.6	0.2	7.5	5.1	14.5	19.2	12.5	18.2
	3	11.6	10.7	-0.5	0.6	5.6	5.6	17.5	22.9	13.4	19.5
	4	20.2	11.4	4.1	1.4	12.2	6.4	2.0	21.9	34.6	19.8
	5	13.5	11.7	1.1	2.1	7.3	6.9	10.0	26.6	14.7	17.9
	6	10.3	13.6	-0.1	2.6	5.1	8.1	1.0	26.3	28.9	25.0
	平均・計	12.8	11.2	1.0	1.1	6.9	6.1	45.0	138.1	117.4	115.7
4	1	12.8	14.7	1.9	2.7	7.3	8.7	3.0	17.6	17.9	26.9
	2	20.8	16.5	1.3	5.1	11.1	10.8	0.0	25.9	53.3	22.6
	3	21.4	17.1	6.5	5.3	14.0	11.2	27.5	22.7	36.0	25.7
	4	20.3	18.4	5.7	6.1	13.0	12.2	3.5	16.8	29.1	31.1
	5	18.0	19.6	8.4	6.8	13.2	13.2	24.5	16.1	15.8	28.7
	6	16.8	20.8	4.1	7.5	10.4	14.1	11.0	18.3	36.2	29.2
	平均・計	18.4	17.8	4.7	5.6	11.5	11.7	69.5	117.4	188.3	164.2
5	1	23.4	20.7	7.9	8.7	15.6	14.7	0.0	20.0	28.2	25.8
	2	21.5	22.2	11.4	9.0	16.5	15.6	14.5	20.4	20.6	32.4
	3	21.5	22.1	6.8	10.9	14.2	16.5	3.0	38.1	43.6	26.3
	4	23.6	22.0	10.8	10.7	17.2	16.3	21.5	22.3	31.4	28.2
	5	21.6	22.8	12.5	11.5	17.1	17.2	11.5	15.6	2.2	30.7
	6	20.8	24.3	13.4	12.4	17.1	18.3	13.0	20.3	12.8	34.6
	平均・計	22.0	22.4	10.6	10.6	16.3	16.5	63.5	136.6	138.8	178.1
6	1	24.8	24.8	14.3	13.6	19.5	19.2	0.5	21.3	19.0	28.3
	2	21.6	25.1	15.6	14.5	18.6	19.8	8.0	20.5	2.9	25.6
	3	25.3	25.3	13.1	15.2	19.2	20.3	0.0	15.1	29.0	23.8
	4	27.8	26.0	16.5	16.5	22.1	21.2	0.0	26.6	33.9	20.9
	5	29.0	25.4	19.5	17.0	24.2	21.2	70.5	35.6	28.1	15.9
	6	29.1	26.2	17.9	18.1	23.5	22.2	34.0	42.9	23.4	15.7
	平均・計	26.3	25.5	16.2	15.8	21.2	20.7	113.0	162.0	136.3	130.1

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7	1	27.1	27.4	17.8	19.0	22.4	23.2	20.0	35.4	18.7	19.4
	2	30.8	28.3	22.0	19.2	26.4	23.8	29.5	35.5	13.7	21.8
	3	31.9	28.5	21.2	20.4	26.5	24.4	0.0	47.5	16.8	15.7
	4	30.1	29.2	21.0	19.9	25.5	24.6	41.0	26.9	3.2	26.1
	5	28.5	31.1	21.5	20.7	25.0	25.9	44.5	23.0	4.4	33.0
	6	26.2	31.7	21.5	21.4	23.8	26.5	42.0	12.9	1.8	42.8
平均・計		29.0	29.4	20.9	20.1	24.9	24.8	177.0	181.1	58.6	158.8
8	1	27.0	31.2	21.6	21.2	24.3	26.2	44.5	19.3	8.1	34.9
	2	29.8	31.1	23.7	20.9	26.8	26.0	131.5	17.3	8.3	31.4
	3	29.0	31.3	20.5	21.2	24.8	26.3	11.0	12.7	14.6	31.7
	4	32.8	30.9	20.2	21.3	26.5	26.1	0.0	23.3	43.9	28.9
	5	28.5	30.4	19.0	20.8	23.7	25.6	24.0	31.4	32.8	25.7
	6	27.9	30.2	20.3	20.0	24.1	25.1	23.0	33.4	19.9	35.4
平均・計		29.1	30.8	20.9	20.9	25.0	25.9	234.0	137.4	127.6	188.0
9	1	27.9	29.1	18.8	19.4	23.4	24.3	0.0	26.2	32.5	28.6
	2	25.9	27.6	15.2	18.2	20.6	22.9	0.0	48.8	35.0	19.7
	3	24.4	26.8	14.5	17.3	19.4	22.1	36.5	36.8	21.9	20.3
	4	24.6	25.8	12.5	16.5	18.6	21.1	0.0	48.4	34.0	20.2
	5	27.6	25.3	16.1	15.4	21.8	20.4	1.5	36.2	27.4	17.2
	6	25.1	23.9	17.7	14.0	21.4	18.9	35.5	31.0	14.9	17.9
平均・計		25.9	26.4	15.8	16.8	20.9	21.6	73.5	227.5	165.7	123.9
10	1	24.7	23.4	15.3	13.2	20.0	18.3	16.5	22.6	25.1	19.3
	2	20.8	22.2	13.8	11.7	17.3	16.9	97.5	23.1	11.0	20.3
	3	21.7	21.8	8.7	11.3	15.2	16.5	6.0	28.5	36.2	18.5
	4	22.6	20.6	8.9	9.7	15.8	15.2	0.0	25.2	30.8	20.8
	5	20.2	20.0	6.9	8.1	13.6	14.0	0.0	19.1	28.3	22.1
	6	21.7	19.1	8.8	7.7	15.2	13.4	27.0	28.3	35.9	23.3
平均・計		21.9	21.1	10.3	10.2	16.1	15.7	147.0	146.8	167.3	124.3
11	1	17.5	18.4	6.1	6.9	11.8	12.6	61.5	24.2	13.3	18.7
	2	23.2	17.7	8.5	7.2	15.8	12.4	29.0	30.1	25.0	16.7
	3	16.1	16.1	10.0	5.8	13.0	10.9	126.5	25.2	6.5	13.9
	4	11.8	15.4	5.8	5.1	8.8	10.3	56.5	28.4	3.6	14.0
	5	14.0	14.0	3.3	3.6	8.7	8.8	15.5	33.9	13.4	13.6
	6	15.2	12.7	2.3	3.2	8.8	8.0	7.5	40.8	16.2	11.2
平均・計		16.3	15.7	6.0	5.3	11.2	10.5	296.5	182.5	78.0	88.1
12	1	15.2	12.5	2.6	2.0	8.9	7.3	15.0	34.6	21.3	13.0
	2	12.8	11.8	2.8	2.2	7.8	7.0	6.0	35.3	12.1	12.6
	3	12.4	10.7	5.9	1.1	9.2	5.9	39.0	41.9	4.0	11.2
	4	4.7	9.9	-0.1	1.0	2.3	5.5	33.5	40.0	8.5	10.2
	5	8.9	9.4	-1.0	0.7	3.9	5.1	8.5	40.9	9.9	8.8
	6	8.6	9.4	0.1	0.1	4.4	4.8	6.0	47.1	6.4	12.7
平均・計		10.4	10.6	1.7	1.1	6.0	5.9	108.0	239.7	62.2	68.5
年平均・計		19.2	18.9	9.0	8.9	14.1	13.9	1413.5	2150.1	1381.0	1457.6



平成21年 気象グラフ(半旬毎の最高、最低気温、降水)

■ 降水量(本年) □ 降水量(平年) — 気温(本年) - - - 気温(平年)

